令和6年 予算特別委員会

(会議録 第1号)

1. 招集年月日 令和6年3月6日(水)

2. 招集の場所 熊野町議会議場

3. 開会年月日 令和6年3月6日(水)

4. 出席委員(14名)

1番 藤本健太	2番 世良将生
3番 水原耕一	4番 福垣内邦治
5番 光本一也	6番 中島数宜
7番 尺田耕平	8番 竹爪憲吾
9番 沖田ゆかり	10番 片川学
11番 民法正則	12番 荒瀧穂積
13番 大瀬戸宏樹	14番 時光良造

5. 欠席委員(0名)

なし

6. 説明のために出席した者の職氏名

町長	三村裕史
副町長	岩田秀次
教育長	平岡弘資
総務部長	西村隆雄
住民生活部長	西川伸一郎
健康福祉部長	時光良弘
建設農林部長	堂森憲治
教育部長	隼田雅治
総務部次長	西岡隆司
住民生活部次長	福嶋春樹

健康福祉部次長	西 村 ゆ り
建設農林部次長	宗 像 雅 充
建設農林部技術次長	寺垣内 栄 作
教 育 部 次 長	立 花 太 郎
財 務 課 長	多久見 良 数
政策企画課長	須 賀 雅 彦
産業観光課長	近 藤 光 宏
収納管理課長	堀 野 准
防災安全課長	花 岡 秀 城
生活環境課長	熊 野 孝 則
高齢者支援課長	井 原 志保里
子育て支援課長	佛 圓 至 裕
健康推進課長	桐 木 和 義
農林緑地課長	中 原 幸 成
都市整備課長	渡 部 貴 幸
会 計 課 長	福垣内 哲 治

~~~~~○~~~~~

7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	榎 並 正 和
議会事務局書記	尾 瀆 宏 教

~~~~~○~~~~~

8. 会議に付した事件

- 議案第22号 令和6年度熊野町一般会計予算について
- 議案第23号 令和6年度熊野町国民健康保険事業特別会計予算について
- 議案第24号 令和6年度熊野町後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第25号 令和6年度熊野町介護保険特別会計予算について
- 議案第26号 令和6年度熊野町下水道事業会計予算について

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(開会 14時45分)

○予算特別委員長（尺田） ただいまの出席委員は14名です。定足数に達しておりますので、ただいまから予算特別委員会を開会します。

お諮りします。予算特別委員会の議事録については公開とすることとしておりますが、閲覧用の会議録については、委託料・工事請負費の金額を非公開にしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算特別委員長（尺田） 異議がないようですので、閲覧用の会議録については、委託料・工事請負費の金額を非公開とすることに決定しました。

それでは、本委員会に付託されました、議案第22号から議案第25号までの令和6年度熊野町一般会計予算及び各特別会計予算、議案第26号、令和6年度熊野町下水道事業会計予算についてを議題とします。

初めに、審査の手順であります。お手元にお配りしております令和6年予算特別委員会進行方法（案）を御覧ください。

まず、本委員会の進め方についてですが、2つの分科会を設置して審査を進めることとし、審査の分担については表に記載のとおりとします。

なお、それぞれの分科会には議員の皆さんどなたでも出席し、質疑できることとしたいと思います。

次に、各分科会の進行役ですが、それぞれの常任委員長を進行役とさせていただきます。また分科会は、本予算特別委員会の正副委員長のいずれかが出席しなければ開会できないこととさせていただきたいと思っております。

続いて、今後の審査の進め方についてですが、概要説明の後、第1委員会室へ移動し、順次、総務建設分科会、文教福祉分科会により審査を行っていただき、それぞれの費目・会計ごとに質疑の時間を設けたいと思っております。

分科会終了後、議場において本委員会を再開して、各分科会の報告をそれぞれの常任委員長からしていただいた後に、総括質疑を行い、委員会としての意見をまとめたいと思っております。

以上のような手順で審査を行いたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算特別委員長（尺田） 異議なしと認めます。

本委員会の審査手順については、以上のとおり決定しました。

それでは、早速、本日の審査に入りたいと思います。

予算の概要につきまして、一般会計予算、各特別会計及び企業会計予算について副町長から説明を受けたいと思います。

それでは、副町長から一般会計予算、各特別会計及び企業会計予算について説明を求めます。

岩田副町長。

~~~~~〇~~~~~

〇副町長（岩田） それでは、令和6年度各会計当初予算（案）につきまして、資料17、令和6年度歳入歳出予算説明資料により説明をさせていただきます。

資料17の1ページを御覧ください。

1ページには、各会計予算の規模を掲載しております。令和6年度の一般会計当初予算（案）は102億1,800万9,000円で、前年度と比べ6億6,157万7,000円、6.9%の増。

各特別会計予算（案）は、3つの特別会計全体で57億9,095万5,000円で、前年度に比べ1億3,016万6,000円、2.3%の増。

企業会計予算（案）は11億3,227万3,000円で、前年度に比べ2,042万6,000円、1.8%の増となっております。

2ページ及び3ページを御覧ください。

2ページには、一般会計当初予算の歳入について前年度比較をした表を、3ページには、上段に各歳入科目の前年度比較を棒グラフで表したものを、また下段には、令和6年度当初予算（案）の歳入構成を円グラフで表したものをそれぞれ掲載しております。

まず、2ページを御覧ください。歳入科目のうち主なものについて御説明させていただきます。

1款・町税は24億4,445万8,000円で、個人住民税などで増額が見込まれるものの、固定資産税において家屋の評価替えによる減により、前年度と比べ320万9,000円、0.1%の減を見込んでおります。

2款から9款及び11款の譲与税や各交付金につきましては、県から示された見込額を計上しております。

なお、7款・地方消費税交付金の社会保障財源化分につきましては、社会保障施策に要する経費に充てるものとされており、その用途を6ページに明示させていただいてお

ります。

続きまして、10款・地方交付税は27億6,800万円で、地方財政対策において地方交付税の総額が増加となったことや、過去の交付実績などから1億6,400万円、6.3%の増となっております。

14款・国庫支出金は18億346万2,000円で、体験交流施設を整備する筆の里工房周辺整備事業の財源となる都市公園事業交付金の増などにより、3億5,966万5,000円、24.9%の増でございます。

15款・県支出金は8億1,052万円で、扶助費の増に伴うに障害者自立支援等諸費県負担金の増などにより、4,278万7,000円、5.6%の増でございます。

17款・寄附金は3億4,761万2,000円で、ふるさと納税の増を見込み4,584万4,000円、15.2%の増でございます。

18款・繰入金は3億9,280万円で、財政調整基金からの繰入額減により、8,539万6,000円、17.9%の減となっております。

20款・諸収入は3億8,746万3,000で、派遣職員負担金の増などにより、1,538万円、4.1%の増でございます。

21款・町債は4億2,972万2,000円で、筆の里工房周辺整備事業などの財源となる公共事業等債の増などにより8,309万8,000円、24.0%の増でございます。

続きまして、3ページ上段の歳入科目ごとの棒グラフですが、左側の斜線が令和6年度、右側が令和5年度の当初予算額でございます。本町における主要な財源が町税、地方交付税、国庫支出金であることや、地方交付税、国庫支出金が前年度と比較して高くなっていることが分かります。

次に、下段の円グラフですが、右側が町税などの自主財源、左側の色の濃い部分が地方交付税などの依存財源でございます。

歳入の内訳では、依存財源の地方交付税が全体の27.1%で最も多く、次いで自主財源の町税が23.9%、依存財源の国庫支出金が17.7%と続いております。

次に、歳出につきまして御説明させていただきます。

4ページ及び5ページを御覧ください。

まず、4ページの歳出科目の主な増減について、歳入と同様に前年度比較で御説明いたします。

1 款・議会費は1 億5 8 万2, 0 0 0 円で、共済費の減などにより3 0 8 万5, 0 0 0 円、3. 0 %の減となっております。

2 款・総務費は1 4 億2, 1 0 9 万2, 0 0 0 円で、2 項・企画費において基幹業務システムの標準化対応に係る費用などを計上している行政情報化事業や、ふるさと納税の収入見込増に伴うふるさと納税事務事業の増などにより、総務費全体では1 億1, 0 2 1 万9, 0 0 0 円、8. 4 %の増でございます。

3 款・民生費は4 3 億5, 1 3 7 万2, 0 0 0 円で、1 項・社会福祉費において障害者総合支援事業が、3 項・児童福祉費において保育所等運営事業がそれぞれ利用者の増により増額となっており、民生費全体では2 億6, 7 9 1 万円、6. 6 %の増でございます。

4 款・衛生費は7 億9, 1 7 6 万1, 0 0 0 円で、2 項・清掃費において安芸地区広域ごみ焼却場事業負担金の減などにより、衛生費全体で2, 7 7 4 万3, 0 0 0 円、3. 4 %の減でございます。

5 款・農林水産業費は1 億1, 0 0 2 万9, 0 0 0 円で、1 項・農業費では農業基盤整備事業が、2 項・林業費では小規模崩壊地復旧事業がそれぞれ減少しており、投資的経費の減少により、農林水産業費全体では5 2 0 万2, 0 0 0 円、4. 5 %の減でございます。

6 款・商工費は1 億4, 8 0 1 万4, 0 0 0 円で、観光振興基盤育成事業の終了に伴う観光推進事業などの減などにより、8 4 9 万3, 0 0 0 円、5. 4 %の減となっております。

7 款・土木費は1 1 億8, 2 3 6 万9, 0 0 0 円で、4 項・都市計画費において体験交流施設を整備する筆の里工房周辺整備事業の増により、土木費全体で1 億8, 4 7 8 万円、1 8. 5 %の増でございます。

8 款・消防費は3 億6, 5 7 8 万1, 0 0 0 円で、総合防災訓練を計上している災害予防及び応急対策事業の増などにより2, 1 4 5 万2, 0 0 0 円、6. 2 %の増でございます。

9 款・教育費は9 億4, 7 6 8 万7, 0 0 0 円で、2 項・小学校費において新採択指導書購入に係る経費を計上している小学校教育振興事業の増額や、3 項・中学校費、5 項・社会教育費においても投資的経費を増加計上しており、教育費全体では1 億8 1 3 万4, 0 0 0 円、1 2. 9 %の増でございます。

1 1 款・公債費は7 億7, 2 7 4 万8, 0 0 0 円で、元金償還の増加により9 7 6 万1,

000円、1.3%の増でございます。

続きまして、5ページ上段の棒グラフですが、歳入と同様に左側が令和6年度、右側が令和5年度の当初予算額でございます。このグラフでも民生費の構成割合が大きいこと、民生費、土木費が前年度と比較して増加していることが確認できます。

次に、下段の円グラフですが、民生費の構成比率が42.6%、次いで総務費が13.9%、土木費が11.6%となっております。

以上、一般会計予算（案）につきまして、その概要を御説明させていただきました。

次に、7ページをお開きください。

各会計の10年間の当初予算の推移を掲載しております。下段のグラフを見ていただくと、一般会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計は増加傾向にあり、国民健康保険事業特別会計は減少傾向にあることが分かります。一般会計では、令和元年度、令和2年度は災害復旧費の計上があったことにより一時的に増加しております。近年は民生費が増加傾向にあり、令和6年度に100億円を超える過去最大の規模となりました。

なお、8ページに、一般会計の款別の5年間の推移を掲載しております。

続きまして、各特別会計の予算について御説明を申し上げます。

9ページをお開きください。

令和6年度国民健康保険事業特別会計予算（案）でございます。

予算総額は、歳入歳出それぞれ23億3,805万5,000円で、前年度と比べ6,830万1,000円、2.8%の減となっております。

歳入の主な内容でございますが、1款・国民健康保険税は3億7,832万円で、被保険者の減を見込み708万6,000円、1.8%の減。

3款・県支出金は17億8,677万9,000円で、普通交付金の減などにより9,187万3,000円、4.9%の減。

5款・繰入金は1億6,760万4,000円で、基金繰入金の増などにより3,237万4,000円、23.9%の増となっております。

続きまして、歳出でございますが、2款・保険給付費は17億2,070万9,000円で、6億2,543万5,000円、26.7%の減。

3款・国民健康保険事業費納付金は5億6,544万1,000円で、皆増となっております。これは厚生労働省の通知に基づき、2款・保険給付費の中の項と計上されてい

た国民健康保険事業費納付金が款として計上するよう変更したことによるものでございます。

2款・3款を合わせた額での前年度比較は5,999万4,000円、2.6%の減となります。

次に、10ページをお願いいたします。

令和6年度後期高齢者医療特別会計予算（案）でございます。

予算総額は、歳入歳出それぞれ9億7,010万1,000円で、前年度と比べ9,956万9,000円、11.4%の増となっております。

歳入の主な内容でございますが、1款・後期高齢者医療保険料は4億4,152万1,000円で、被保険者数の増により5,923万8,000円、15.5%の増。

3款・繰入金は5億2,752万9,000円で、4,033万1,000円、8.3%の増となっております。

続きまして、歳出でございますが、2款・後期高齢者医療広域連合納付金は9億6,542万2,000円で、9,986万9,000円、11.5%の増となっております。

次に、11ページを御覧ください。

令和6年度介護保険特別会計予算（案）でございます。

まず、保険事業勘定では、歳入歳出それぞれ24億6,731万5,000円で、前年度と比べ9,757万5,000円、4.1%の増となっております。

歳入の主な内容でございますが、1款・保険料は4億6,310万1,000円で、8,041万9,000円、14.8%の減。

3款・支払基金交付金から6款・繰入金につきましては、保険給付費に対するそれぞれの負担割合に応じた算定としており、保険給付費の増に伴い増加となっております。

歳出では、2款・保険給付費は23億4,975万7,000円で、介護サービス等諸費の増などにより9,287万6,000円、4.1%の増となっております。

次に、介護サービス事業勘定では、歳入歳出それぞれ1,548万4,000円で、前年度と比べ132万3,000円、9.3%の増となっております。

次に、12ページを御覧ください。

令和6年度下水道事業会計予算（案）でございます。

まず、収益的収入及び支出でございますが、下水道事業収益につきましては5億8,450万2,000円で、前年度と比べ675万1,000円、1.1%の減となっております。

ります。

1項・営業収益において下水道使用料が、2項・営業外収益において他会計補助金がそれぞれ減となっております。

次に、下水道事業費用につきましては5億7,013万円で、前年度と比べ1,492万5,000円、2.6%の減となっております。

1項・営業費用において、太田川流域下水道維持管理負担金が減となったものでございます。

続きまして、資本的収入及び支出でございます。

資本的収入につきましては3億7,819万6,000円で、前年度と比べ3,434万3,000円、10.0%の増となっております。

1項・企業債において資本費平準化債の対象が拡充され、借入予定額が増となったため、2項・他会計出資金が減となっております。

次に、資本的支出でございますが、5億6,214万3,000円で、前年度と比べ3,535万1,000円、6.7%の増となっております。

1項・建設改良費において、下水道台帳システムの導入に伴う増でございます。

以上、令和6年度の一般会計、3つの特別会計及び1つの企業会計予算（案）について、その概要を説明させていただきました。

なお、各予算の事業ごとの詳細につきましては、後ほど、予算書に沿って各課長から説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

私からの説明は、以上でございます。

~~~~~〇~~~~~

○予算特別委員長（尺田） 以上で予算の概要説明が終了しました。

以上をもちまして、予算特別委員会は散会とします。

再開は、2つの分科会の終了後とさせていただきます。

光本委員長、総務建設分科会の開会は何時からにしましょうか。

それでは、総務建設分科会は第1委員会室におきまして、15時半から開催します。

（散会 15時10分）

令和6年 予算特別委員会 総務建設分科会

(会議録 第1号)

1. 招集年月日 令和6年3月6日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和6年3月6日

~~~~~○~~~~~

4. 出席委員(14名)

1番 藤本健太	2番 世良将生
3番 水原耕一	4番 福垣内邦治
5番 光本一也	6番 中島数宜
7番 尺田耕平	8番 竹爪憲吾
9番 沖田ゆかり	10番 片川学
11番 民法正則	12番 荒瀧穂積
13番 大瀬戸宏樹	14番 時光良造

~~~~~○~~~~~

5. 欠席委員(0名)

なし

~~~~~○~~~~~

6. 説明のために出席した者の職氏名

町長	三村裕史
副町長	岩田秀次
教育長	平岡弘資
総務部長	西村隆雄
総務部次長	西岡隆司
財務課長	多久見良数
政策企画課長	須賀雅彦
産業観光課長	近藤光宏
都市整備課長	渡部貴幸
会計課長	福垣内哲治

~~~~~○~~~~~

7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	榎 並 正 和
議会事務局書記	尾 濱 宏 教

~~~~~○~~~~~

8. 会議に付した事件

議会費
総務費
民生費
衛生費
農林水産費
商工費
土木費
消防費
教育費
災害復旧費
公債費
諸支出金
予備費
国民健康保険事業特別会計
後期高齢者医療特別会計
下水道事業会計

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(開会 15時29分)

○総務建設分科会進行役（光本） 皆さん、そろわれましたので、ただいまから令和6年
予算特別委員会（総務建設分科会）を開催いたします。

それでは、令和6年度の事業ごとにおける歳入歳出予算について説明を受けたいと思
います。

初めに、総務部門といたしまして、議会費と総務費について説明をお願いします。

最初の説明者、多久見財務課長、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○財務課長（多久見） それでは、令和6年度一般会計予算（案）の総務部門の説明をさせていただきます。

予算書、62、63ページをお願いいたします。

1款議会費から説明をいたします。ページ右上、議会事務一般でございます。

この事業は、議員報酬などのほか、議会運営に要する事務費等を計上するもので、事務費全般で8,616万1,000円、本年度より342万4,000円、3.8%の減となっております。

減額の主な要因は、議員共済会給付費負担金の掛金の減額によるものです。

事業内容は、報酬や期末手当は条例に基づく所定の額を計上するほか、旅費は費用弁償及び特別旅費として381万3,000円を計上し、また、委託料は、本会議、全員協議会及び予算決算特別委員会の議事録反訳業務や、議会、インターネット中継業務の委託料などがございます。

64、65ページをお願いいたします。

中段の人件費でございます。

この人件費は職員給与でございます。

各科目に計上しております人件費におきましては、説明を省略させていただきます。

~~~~~○~~~~~

○総務部次長（西岡） 同じく64、65ページをお願いします。

第2款総務費、第1項総務管理費、第1目一般管理費、人事管理事業でございます。

この事業は、会計年度任用職員、産業医の報酬、給与システムの電算処理業務の委託料、職員の健康診断や県からの派遣職員負担金などを計上しております。

事業全体で3,699万1,000円、本年度より830万円、28.9%の増となっております。

増額の主な要因でございますが、令和6年度から広島県デジタル人材派遣を受け入れるための負担金補助及び交付金の増額によるものです。

主な事業費は、会計年度任用職員3名分の報酬539万3,000円、派遣職員負担金の負担金補助及び交付金1,604万3,000円でございます。

その他の財源170万円は、派遣職員負担金と会計年度任用職員、再任用職員の雇用

保険料納付金でございます。

66、67ページをお願いします。

ページ中段からの職員研修事業でございます。

この事業は、広島県自治総合研修センターや市町村アカデミー等の実施する研修へ職員を参加させるために必要な費用を計上するもので、事業全体で99万3,000円、本年度より40万9,000円、29.2%の減となっております。

減額の主な要因は、自治大学校への研修を2年に一度とすることにしたためでございます。

主な事業費は、研修参加に伴う旅費29万8,000円、職員研修委託料50万円でございます。その他の財源62万1,000円につきましては、町村会及び市町村振興協会からの研修助成金でございます。

続いて、同ページの下段から、68、69ページをお願いします。

事務管理事業でございます。

この事業は、役場庁舎内で使用する事務用品、作業服のほか、例規集の管理、更新のための費用を計上しております。

事業費全体で433万1,000円、本年度より2万3,000円、0.5%の減となっております。その他の財源15万円につきましては、広告収入でございます。

減額の要因は、事務用品等消耗品の減額によるものでございます。

主な事業費は、消耗品等の需用費211万6,000円、例規集の維持管理等の委託料でございます。

続いて、中ほどの一般管理事業でございます。

この事業は、郵便料、電話代、町の所有管理する施設での事故に対する賠償保険料、顧問弁護士委託料、各種の公的団体への負担金等を計上しており、事業全体で2,311万7,000円、本年度より863万8,000円、59.7%の増となっております。

増額の主な要因は、例規整備支援業務事業869万円の増です。

主な事業費は、郵便料金などの通信運搬費528万6,000円、総合賠償補償保険等の保険料239万3,000円、例規整備支援業務など委託料939万9,000円でございます。

~~~~~○~~~~~

○財務課長（多久見） 70、71ページをお願いいたします。

下段の庁舎維持管理事業でございます。

この事業は、役場庁舎の維持管理経費としまして、光熱水費や清掃業務、消防設備等の保守点検委託料や庁舎敷地借地料など庁舎に関する経費を計上しております。

事業費全体で5,950万6,000円、本年度より32万1,000円、0.5%の減となっております。

歳入は、その他の財源として、行政財産目的外使用料1万7,000円、広告収入12万2,000円、自動販売機設置負担金50万4,000円、公衆電話料5,000円でございます。

減額の主な要因は、光熱水費の減によるものです。

主な事業費は、光熱水費等の需用費2,071万4,000円、祝日直業務などの委託料でございます。

72、73ページをお願いいたします。

中ほどの公用車集中管理事業でございます。

この事業は、財務課において集中管理をする公用車12台に係る燃料費、車検代、損害保険料及び重量税などを計上するもので、事業費全体で441万4,000円、本年度より133万1,000円、43.2%の増となっております。

増額の主な要因は、公用車購入に伴う備品購入費の増によるものです。

主な事業費は、燃料費等の需用費231万6,000円、備品購入費142万円などでございます。

続きまして、74、75ページ中段をお願いいたします。

2目財政管理費の財政管理事業でございます。

この事業は、財政事務に要する経費を計上するもので、事業費全体で1,285万2,000円、本年度より144万4,000円、10.1%の減となっております。

減額の主な要因は、本年度に財務会計システム改修業務を行ったことに伴う委託料の減によるのです。

主な事業費は、予算の編成、執行、決算管理等に係る電算処理に要する経費で、財務会計システムの利用料として役務費の手数料735万1,000円を計上しております。

続く委託料では、公会計対応のための支援業務などがございます。

また、使用料及び賃借料では、契約管理システム、リース料などの68万円でございます。

続きまして、76、77ページ中段をお願いいたします。

3目会計管理費の会計事務でございます。

この事業は、出納事務を執行する会計課の業務全般に係る経費を計上するもので、事業費全体で623万円、本年度より269万6,000円、76.3%の増となっております。

増額の主な要因は、窓口収納及び口座振込における指定金融機関等の金融取扱手数料を新たに計上したことに伴う役務費の増額によるものです。

主な事業費は、職員手当のほか、納入通知書の印刷など需用費22万9,000円、公金取扱手数料など役務費333万円、指定金融機関派出所設置負担金220万円などでございます。

続いて、4目財産管理費の公有財産管理事業でございます。

この事業は、財務課所管の普通財産などの管理をする経費を計上するもので、事業費全体で216万2,000円、本年度より360万1,000円、62.5%の減となっております。

減額の主な要因は、本年度に町内公共施設の光電話移行工事を行ったことに伴う工事請負費の減によるものです。

主な事業費は、土地鑑定等に要する役務費、手数料60万円、委託料では草刈りに要する委託や町有地用地測量業務委託などでございます。

次の5目交通安全対策費、交通安全対策事業、78、79ページの6目防犯対策費、防犯対策事業につきましては、後ほど住民生活部から御説明をいたします。

続いて、80、81ページ中段の7目諸費の労働金庫預託事業でございます。

この事業は、町内に勤務または居住する労働者への融資資金として中国労働金庫への預託金を計上するもので、事業費は2,300万円、本年度と同様の額でございまして、同額の預託金返還金を財源とするものでございます。

~~~~~〇~~~~~

〇総務部次長（西岡） 次の収納金還付事業、8目国民保護費、国民保護事業につきましては、後ほど住民生活部から御説明いたします。

続きまして、80、81ページ下段の9目災害支援諸費、被災地支援事業でございます。

この事業は、令和6年能登半島地震からの復旧支援のため、職員の応援派遣に係るも

ので、事業費 2 2 8 万 5, 0 0 0 円でございます。

主な事業費は、職員諸手当 1 1 1 万 8, 0 0 0 円、特別旅費 9 3 万 7, 0 0 0 円でございます。

○政策企画課長（須賀） それでは、8 2、8 3 ページをお願いします。

2 項企画費、1 目企画総務費、行政情報化事業でございます。

この事業は、事務の効率化を図るため、庁舎内及び国、県との情報ネットワークに係る保守運用管理経費や情報システムのセキュリティ強化対策経費、自治体の D X を推進する経費を計上するもので、事業費全体で 1 億 7, 4 8 0 万 6, 0 0 0 円、本年度より 8, 5 8 7 万 5, 0 0 0 円、9 6. 6 % の増となっております。

増額の主な要因は、国が用意するガバメントクラウドの利用に伴う手数料の増、及び国の求める基幹系システムの標準化に伴う対応として、現在利用しているシステムのデータを標準化システムへ移行するに当たり、破損したデータや不正確なデータ、無関係のデータを特定し、修正・削除するデータクレンジング作業等に伴う標準化対応業務委託料等の増によるものでございます。

主な事業費は、基幹系端末等の利用に係る手数料 2, 6 7 3 万 1, 0 0 0 円、標準化対応等に係る情報化支援業務委託料、情報セキュリティ強靱化対策システム等の情報機器の使用料及び賃借料 2, 7 7 9 万円でございます。

歳入の特定財源、国県支出金 7, 2 8 9 万 4, 0 0 0 円は、マイナンバー情報を連携させるためのシステム経費に係る社会保障・税番号制度システム整備費補助金 3 8 7 万 6, 0 0 0 円と、国の求める基幹系システムの標準化に係るデジタル基盤改革支援補助金 6, 9 0 1 万 8, 0 0 0 円、その他 2 2 1 万 3, 0 0 0 円は、水道企業団及び下水道事業会計からの庁舎内 L A N 等利用負担金 2 0 1 万 3, 0 0 0 円と、時事通信社が提供します行政情報の閲覧に対する広島県町村会からの助成金である i J A M P 年間利用料助成金 2 0 万円でございます。

続きまして、このページから 8 4、8 5 ページにかけての地域情報化事業でございます。

この事業は、町内の公共施設に整備した情報ネットワーク、情報通信インフラの維持管理費用に要する経費で、事業費全体で 1, 8 1 0 万 5, 0 0 0 円、本年度より 8 5 万 8, 0 0 0 円、4. 5 % の減でございます。

減額の主な要因は、出先機関、学校、各防災交流センターの光電話化に伴う契約変更

による通信運搬費の減、及び縣市町共同利用型電子申請システムを国の一体サービスに一本化することに伴う手数料の減によるものでございます。

主な事業費は、回線使用料等の役務費437万円、地域イントラにおけるネットワーク機器の保守に係る委託料、ネットワーク機器の賃借に係る使用料及び賃借料363万7,000円でございます。

続いて、84、85ページ中段の企画一般事務事業でございます。

この事業は、企画関係事務や広域行政の推進に関する経費を計上するもので、事業費全体で102万9,000円、本年度より233万6,000円、69.4%の減となっております。

減額の主な要因は、第6次総合計画の進捗検査のために実施した住民意識調査委託料、印刷製本費及び通信運搬費の減によるものでございます。

主な事業費は、時間外勤務に係る職員手当等79万2,000円、広島県中央地域振興対策協議会に係る負担金等の負担金補助及び交付金5万円でございます。

続きまして、このページの下段から86、87にかけての友好都市交流事業でございます。

この事業は、令和元年11月1日に友好都市協定を締結した三重県熊野市との交流事業を実施するもので、事業費全体で104万7,000円、本年度より23万3,000円、18.2%の減となっております。

減額の主な要因は、隔年で実施する親善大使派遣や防災関連交流に係る旅費の減によるものでございます。

主な事業費は、時間外勤務に係る職員手当等20万7,000円、相互のイベント等に係る旅費57万3,000円でございます。

続きまして、86、87ページの上段、ふるさと納税事務事業でございます。

この事業は、ふるさと納税のPRや寄附の受納、寄附者に対する返礼品の贈呈等を行い、ふるさと納税を通じて県内外に広く町の魅力を発信するとともに、町内事業者の需要開拓や販売促進等を支援するもので、事業費全体で1億5,070万5,000円、本年度より2,010万9,000円、15.4%の増となっております。

増額の主な要因は、ふるさと納税の寄附額の増加に伴う記念品料の増、及びふるさと納税サイトにおけるシステム使用料等に伴う手数料、委託料の増によるものでございます。

主な事業費は、会計年度任用職員の雇用に伴う報酬178万2,000円、ふるさと納税として寄附をいただいた方への記念品料等の報償費6,355万5,000円、ふるさと納税サイトの寄附者管理システムやクレジット、マルチペイメント等の利用に伴う手数料7,297万1,000円、記念品の出荷一元管理に伴う委託料でございます。

ちなみに、令和6年度のふるさと納税による一般寄附金の予算額は3億3,761万2,000円を予定しております。

歳入の特定財源、その他の1万4,000円は会計年度任用職員の社会保険料納付金でございます。

次に、86、87ページ下段から88、89ページにかけての2目広報費、広報広聴事業でございます。

この事業は、町ホームページの管理、町広報の編集、印刷・配布に必要な経費を計上するもので、事業費全体で1,040万4,000円、本年度より8万9,000円、0.9%の増となっております。

増額の主な要因は、毎月他市町や介護・医療施設等に広報誌を郵送しておりますが、運搬会社の料金改定や、今年の秋以降に郵便料金体系が見直しされることを見込んだ通信運搬費の増によるものでございます。

主な事業費は、町広報の印刷製本費306万4,000円、広報の配布に係る委託料、各自治会への広報紙等配布事務交付金656万円でございます。

歳入の特定財源、国県支出金は、自衛官募集の町広報掲載委託金で3万5,000円、その他の財源38万3,000円は、町広報、ホームページ等の広告収入が5万5,000円、県民だより、広島県議会だよりの配布負担金が合計で32万8,000円でございます。

~~~~~〇~~~~~

〇産業観光課長（近藤） 続く3目地域振興費、地域振興事業につきましては、後ほど住民生活部から御説明いたします。

続いて、89ページ、下段の3目地域振興費、定住交流促進事業でございます。

この事業は、町の魅力を発信するとともに本町への定住交流の促進を図るもので、定住交流促進イベントの実施経費や近隣市町と連携した首都圏などからの移住促進への取組について予算を計上するもので、事業全体で1,340万1,000円、本年度より966万3,000円、258.5%の増となっております。

増額の主な要因は、移住定住を促進し、地域の活性化を図るため、令和6年度から地域おこし協力隊を受け入れるためでございます。

主な事業費は、90、91ページをお願いします。地域おこし協力隊員としての会計年度任用職員2名分の報酬459万4,000円、同じく会計年度任用職員期末・勤勉手当112万円、会計年度任用職員である地域おこし協力隊員の住宅借上料121万8,000円、移住支援事業補助金300万円でございます。

歳入の国県支出金225万円は移住支援事業補助金に係る県費補助金、その他の財源3万4,000円は社会保険料納付金でございます。

続いて、交通輸送対策事業につきましては、後ほど住民生活部から御説明いたします。

続いて、92、93ページの中段、4目筆の里工房費の筆の里工房事業でございます。

この事業は、筆の里工房の円滑な運営を図るために必要な経費を計上するもので、事業全体で1億5,586万6,000円、本年度より691万5,000円、4.6%の増となっております。

増額の主な要因は、筆の里工房にある収蔵庫内に棚を増設するための費用、及び定期週休などによる職員の人件費の増によるものでございます。

主な事業費は、指定管理委託料のほか負担金補助及び交付金では、企画展等への補助である自主事業補助金3,000万円、人件費補助である管理運営事業補助金7,347万5,000円、地域の芸術環境づくり事業補助金500万円、合わせて1億847万5,000円でございます。

その他の財源7,876万円は、行政財産目的外使用料75万円、筆の里づくり基金繰入金7,301万円、宝くじコミュニティ助成金500万円でございます。

次に、同じページの下段から94、95ページにかけての5目国際交流費の国際交流事業でございます。

この事業は、外国人との交流を図る事業の実施に必要な経費を計上するもので、事業全体で31万7,000円、本年度より30万2,000円、48.8%の減となっております。

減額の主な要因は、外国人旅行者に対する筆の里工房利用促進事業の見直しによるものでございます。

主な事業費は、留学生を対象とした国際交流事業を実施するための自動車等借上料7万円、会場等借上料10万8,000円でございます。

~~~~~○~~~~~

○総務部次長（西岡） 次の3項徴税費と、102ページからの4項戸籍住民基本台帳費につきましては、後ほど住民生活部から御説明いたします。

続きまして、108、109ページをお願いします。

上段、5項選挙費、1目選挙管理費、選挙管理事務事業でございます。

この事業は、選挙管理委員会の運営経費として、選挙管理委員の報酬、選挙システムに係る経費等を計上するもので、事業全体では185万1,000円、本年度と同額となっております。

主な事業費は、選挙管理委員報酬38万5,000円、選挙システム使用に係る役務費134万8,000円でございます。

歳入の特定財源、国県支出金1,000円は、在外選挙人名簿登録事務委託金でございます。

続きまして、2目町長選挙費、町長選挙事業でございます。

この事業は、任期満了に伴う令和6年11月に行われる予定の熊野町長選挙に係る経費を計上するもので、事業費は866万7,000円でございます。

主な事業費は、会計年度任用職員や管理者、立会人の報酬60万9,000円、期日前投票などを含む選挙事務従事に伴う職員手当315万4,000円でございます。

続く、町議会議員選挙費、県議会選挙費は廃目となっております。

~~~~~○~~~~~

○政策企画課長（須賀） 続きまして、110、111ページをお願いします。

2款総務費、6項統計調査費、1目統計調査費の経常統計調査事業でございます。

この事業は、学校基本調査統計調査員確保対策に係る事務の経費を計上するもので、事業費全体で5万3,000円、本年度より2,000円、3.6%の減となっております。

減額の主な要因は、今年度の交付決定額等の実績を踏まえて精査したことによる減によるものです。

主な事業費は、時間外勤務に係る職員手当等2万2,000円、統計調査員確保対策事業事務用品等の消耗品費の1万9,000円でございます。

歳入の特定財源、国県支出金の4万4,000円は、学校基本調査交付金3万2,000円、統計調査員確保対策事業委託金1万2,000円でございます。

続いて、112、113 ページ中段の臨時統計調査事業でございます。

この事業は、農林業センサス調査、経済センサス基礎調査、全国家計構造調査に係る事務経費を計上するもので、事業費全体で227万7,000円、本年度より95万円、71.6%の増となっております。

増額の主な要因は、本年度の住宅・土地統計調査に代わりまして、令和6年度は5年に一度の農林業センサス調査、経済センサス基礎調査、全国家計構造調査が実施されることに伴い調査に係る調査員数の変動等により報酬等の増によるものです。

主な事業費は、農林業センサス調査、経済センサス基礎調査、全国家計構造調査に係る指導員、調査員の報酬165万1,000円、時間外勤務に係る職員手当等15万9,000円、事務用品等の消耗品費12万7,000円でございます。

歳入の特定財源、国県支出金227万7,000円は、農林業センサス交付金が87万3,000円、経済センサス交付金29万7,000円、全国家計構造調査交付金110万7,000円でございます。

続いて、このページの下段から114、115 ページにかけての国勢調査でございます。

この事業は、令和7年度に実施する国勢調査を実施するに当たり、調査準備として調査区設定等に係る事務経費を計上するもので、事業費全体で19万6,000円、本年度より皆増となっております。

主な事業費は、時間外勤務に係る職員手当等6万6,000円、事務用品等の消耗品費12万円でございます。

歳入の特定財源、国県支出金19万6,000円は国勢調査調査区設定交付金でございます。

~~~~~〇~~~~~

〇財務課長（多久見） 続いて、114、115 ページ中段から7項監査委員費、1目監査委員費の監査事務一般でございます。

この事業は、監査委員の報酬及び監査委員活動に要する事務費等を計上するもので、事業費全体で131万5,000円、本年度と同額となっております。

主な事業費は、監査委員報酬96万8,000円、費用弁償等の旅費17万3,000円でございます。

議会費、総務費は以上でございます。

以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） 沖田委員。

〇委員（沖田） 今年度に派遣されている職員とは別の職員が行かれるんですか。それとも同じ方が行かれるんですか。

〇総務建設分科会進行役（光本） 西岡総務部次長。

〇総務部次長（西岡） 今年度、2月から3月末までに2人ずつ3回に分かれて派遣をしております。1回に1週間の単位で派遣を繰り返しております。4月以降も同様な形になろうかと思っております。職員はそれぞれ別の職員を派遣のほうを行ってもらっております。

〇総務建設分科会進行役（光本） よろしいですか。ほかにございますか。

水原副委員長。

〇委員（水原） 86ページの広報広聴事業、これはホームページなどを作られているみたいなんですけれども、これは前から言いよるんですけれども、ホームページの検索というところがあるんですけど、あそこの検索を押してどういうことを知りたいかという、知りたいことを書くんですけど、その情報が全く上がってこないことが多いんですよ。これをちょっと何とか改善できんもんかと前から言いよるんですけれども、何か方法はないでしょうか。

〇総務建設分科会進行役（光本） 須賀政策企画課長。

〇政策企画課長（須賀） 検索の文言がなかなかヒットしないということがございます。いろいろこちらのほうも考えておるんですけれども、なるべく似たような文字とかを何遍か入れていただければと思うんですけど、なかなかそこも難しいので、ちょっとその辺は検討しているような状況でございます。

以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

〇委員（水原） 簡単な文言でも出てこない。今回、僕いろいろ一般質問で調べるのに、1歳半健康診査と押しても、それ自体も出てこんな状況なので、じゃけん意味がないんですよ。じゃけんそれをちょっと、そんな簡単なことでも出てこんど、検索というところがないほうがいいんじゃないかと。そこで調べようかと思って押して、調べようと思っても出てこんので、それはちょっとどうにか。最低限ですよ。その最低限も出てこんので、それは何とかならんもんかなと思ったんで。

〇総務建設分科会進行役（光本） 西村総務部長。

〇総務部長（西村） あと引き続き調査をさせていただきたいなど。ちょっと解消のほうを考えさせていただければと思います。よろしくお願いします。

〇総務建設分科会進行役（光本） 続いて、水原副委員長。

〇委員（水原） あと、112ページですね。これの臨時統計調査事業、これも今回僕がちょっと一般質問させてもらったんですが、農林業センサス調査員報酬で、この農林業センサス調査員って何名おられてどのような調査の仕方をしよるのか、ちょっと教えてほしいんですが。

〇総務建設分科会進行役（光本） 須賀政策企画課長。

〇政策企画課長（須賀） 農林業センサス調査員ですけれども、2人プラスの25人ですので27人で、調査の概要としましては、我が国の農林業の生産向上や就業向上、農山村地域における土地資源など、農林業、農山村の基本構造を実態としてその変化を明らかにするというような調査になります。市とかが例えば地方交付税の算定の際に、農業行政費であるとか、林野行政費、そういったところの算出に使われるというような形で

聞いております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） そういう意味ではなくて、調査の仕方というか、この27名の方が熊野町の農業をやられている方に行って、今どういう状況ですか、兼業ですか、それとも主業ですかというのを確認しながらやるような調査なんではないかな。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 須賀政策企画課長。

~~~~~○~~~~~

○政策企画課長（須賀） 調査員が対象となる農家のほうに行かれまして、調査票がございました。詳細をお配りして、いつまでに回答してくださいというような形になると。ネットのほうでも回答ができるような形にはなっているように聞いております。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） これ一応、農家をやられる方は登録をされとることですかね。その登録されとる農家の方に配つとるというようなことでよろしいんですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 須賀政策企画課長。

~~~~~○~~~~~

○政策企画課長（須賀） 稲作の農家で登録されておる方のところを対象として行かれると思います。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） よろしいですか。ほかにありますか。

荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 71ページの庁舎維持管理事業、室内のカーペット、青い色がね、もうすごい色になっております。いつ直されますか。

〇総務建設分科会進行役（光本） 多久見財務課長。

〇財務課長（多久見） 令和6年度の予算で、全体的にやり替える予算ではないんですけど、悪いところを部分的に変える予算は計上させていただいております。ただ、工事委託になりますので、ちょっと金額のほうは控えさせていただきます。

〇総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

〇委員（荒瀧） 場所によって足が引っかけたりそうなところがありますからね、若いからええんか分かりませんが、気をつけられると。

次です。89ページ、さっきもちょっと沖田委員も言われていましたけども、ふるさと協力隊2人、これとのマッチングは、要は役場のマッチングですね。これはどういうふうに選ばれるんですか。主導権はどちらにあるんですか。ちょっと中身を教えてください。

〇総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

〇産業観光課長（近藤） 地域おこし協力隊につきましては、三大都市圏であったりとか政令指定市のほうからですね、本町のほうにお越しいただいて活動していただくという形になるんですけども、マッチングにつきましては公募を行いまして、募集があった方の中から町のほうが面談等を通じて採用するというような流れとなっております。

以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

〇委員（荒瀧） 大都市に住んでいらっしゃるから大都市の出身だとは限りませんよね。地方から大都市に行かれて、そこでいろいろ訓練、レッスンなり勉強をされて、そういう応募された方ですね、総務省に登録された方。

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 特に総務省に登録した方が来られるのではなくて、一般の方でそういった募集を見られて興味を持たれる方であったりとか、熊野町に移住しようかと思われるような方が応募をされて、その応募に基づいて町のほうが面接等を行ってですね、採用するというような流れとなっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 前に聞いておるんですが、熊野で職人になりたい言うてね、何人か来られるんですがね、ショック受けて帰られるんですね。職場の体質と、その人がイメージしているものが全然違うわけ。筆屋さんも自分らをどういうふうに育てようかとかではなくて、都合ええように使ったというようなイメージを言われる方があってね。マッチングアプリも相性があるんですが、本音で話しとかんとね、ショックを受けて帰られるかも分かりませんし、ノイローゼになられても困りますから、そのあたりよくよく熊野の体質いうのがありますからね、役場の。多分あなたらはあまり自覚がないかも分かりませんが、このあたりをよくどういうふうにしたらええか工夫していただきたいと思うんですが。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 議員が言われるように、来られてですね、イメージと違っていただけませんので、まず応募がございましたら、お試し暮らしというわけですね、2泊3日で熊野町に来ていただいて、いろんな町内の施設であったりとかですね、思いであったりとかですね、そのあたりのマッチングをするような形で行いまして、最終的に採用するかどうか、そういったものも含めて話し合いしながら決めていきたいというふうに考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） そういうマッチングか、お話し合いするときにはね、ぜひ1人ではなくて女性を入れてください。女性の職員さん。やっぱり複眼で見る。これをいろいろ工夫していただく中でね、本当の熊野のためになってくださる方に入ってもらわなければいけないのですよ。そのあたりでは、前に地域創生というんで、銀行と民間と行政でやるという時期がございましたが、熊野は拒否されましたね。結局専門家はもういいわ、ハイテク……。総務省か何かのかなりトップレベルの人を派遣しようという時期がございましたが、熊野はよう受け入れとらんのですね。そういう意味では人との、外部の方との相性の問題は非常に大事だと思いますので、よくよく吟味をいただいて、フランクな話をしましょう。格好をつけずに。知らんことは知らん。聞こえんことは聞こえん。手を挙げて言うんですね。よろしくお願いします。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

大瀬戸委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（大瀬戸） ふるさと納税の件で、87ページですか。この事務事業が1億5,000万円、納税の見込額が3億3,000何がしというふうに聞きました。割と50%ぐらいの経費がかかるということなんだろうと思うんですけど、これ、こういう半分ぐらいの経費がかかるのは、大体よその市町もこんな感じなんではないでしょうか。そこら辺を。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 須賀政策企画課長。

~~~~~○~~~~~

○政策企画課長（須賀） 熊野町は今のところ募集に要する経費が44%となっております。国のほうは経費を50%以下に落とささいという基準がありますので、50%を超えなければ大丈夫なんです。44%ということは、ちょっと6%ほど差がありますがけれども、大体これぐらい、各公共団体ではなかろうかというふうに考えています。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 大瀬戸委員。

思うんですけど、何かこのことに関して協議されたんですかね。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 西岡総務部次長。

~~~~~○~~~~~

○総務部次長（西岡） 現実的に同じ家族世帯で一緒に送る業務をしてもらっているところもございます。ただ、個人情報の関係で、どうしても分けなきゃいけない場合とかです。あと選挙の入場券等は一緒に世帯ごとに送らせていただいているんですが、あと業務によってたくさんの世帯、人数を発送する際には、その世帯ごとにまた分けるという作業が職員がちょっと手間といいますか、負担がかかる部分もございますので、ただ、そういう業務の改善についてもちょっと総務のほうからも通知をしてですね、可能な部分はやっていただくようにしたいと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） よろしいですか。ほかには。

荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 92ページです。筆の里工房、今回事業をされる藤原定家、国宝がありますが、ぜひ町民に定家の時代背景とか、今NHKでも平安時代やっておりますけども、みんながみんな見とらんのですね。やっぱり定家に対する関心が湧くように、藤原家って仲が悪い家系なんですよね。その中で権力者になるわけですね。このあたりも踏まえて町民が関心を持つように、学問的ばかりではなくてね。人間味があるような点も踏まえて、ぜひ町民にPRできる場を、3つの防災センターを含めて動いていただきたい。いかがでございますか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 来年度、藤原定家展ということで30周年ということですね、当然町内の方にもたくさん見ていただきたいという思いがございますので、ちょっとどういった形になるか分からないんですけども、なるべく町民に親しんでいただけるような展覧会になるようにちょっと工夫したいと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） よろしいですか。ほかにはございますか。

民法委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（民法） 一ついいですか。先ほど沖田委員、荒瀧委員も言われたように、地域おこし協力隊なんですけど、一般質問でもさせていただいて。89ページ。細かいことをお聞きしたかったんですけど、地域おこし協力隊制度を活用して人材などを募集するわけですが、見通しはあるのかどうかいうのを、ちょっと一つお聞きしたいなど。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 4月の早い時期から来ていただきたいという思いもございました、既に募集を行っているんですけども、今3件ほどの応募がございます。今後ですね、選考していくというような流れになろうかと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 民法委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（民法） 全国で多くの自治体が活動内容やイメージとの実態のずれがあり、原因として町民、職員との関係が悪くなり、互いの意思疎通ができないまま退任するケースがあるというのを伺います。これは失敗例も全国各地あるわけですが、先ほど課長が答弁したように、2、3日体験をしていただいて、それから採用するかどうかいうのを決定するわけですか。それは募集した全員にそういった体験で、最後決定するという事でよろしいんですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） どうしても地域おこし協力隊の場合は住所要件というのがございますので、住所要件に該当されない方についてはですね、お断りするということはある

るんですけれども、基本的には住所要件が合致して内容等が問題なければお越しいただこうというふうに考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 民法委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（民法） もう一つ、町としてどのように活動してもらうのか、明確なビジョンを問い合わせて、隊員一人一人が個性に合わせて地域が求める成果、成し遂げたい目的を明確にして、隊員には任せることなく専任の担当者をつけて事業を展開していくようにしていただきたいと思うんですが、その点どう考えているのか、ちょっとお聞きします。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 担当は産業観光課になるんですけれども、当然いきなり熊野町、知らない町に来られることもございますので、そのあたりは孤立しないような形で体験プログラムであったりとかですね、人間関係の構築であったりとか、そのあたりは十分気をつけて事業を行っていききたいというふうに考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） よろしいですか。ほかにはございますか。

（「質疑なし」の声あり）

○総務建設分科会進行役（光本） それでは、議会費と総務費についてはこのあたりにしたいと思います。

では、続いてですね、商工費、土木費の一部、教育費の一部、公債費、諸支出金、予備費についての説明をお願いします。

近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 続いて、商工費を御説明いたします。

186、187ページをお願いします。

中段の6款商工費、1項商工費、1目商工振興費の商工振興事業でございます。

この事業は、熊野町商工会への助成を行うとともに、熊野町中小企業融資制度の運用による中小企業向け融資の円滑化を通じて地域商工業の振興を図るための経費を計上するもので、事業全体で1億2,754万1,000円、本年度より57万1,000円、0.4%の増となっております。

増額の主な要因は、今年度実施のたべもの新名物アイデアコンテストに続き、町内事業者のチャレンジを促進するため、熊野らしい新名物の開発に関する補助金制度の創設によるものでございます。

主な事業費は、熊野町商工会補助金630万円、続いて、188、189ページをお願いいたします。

新名物開発支援事業補助金60万円、中小企業融資制度預託金1億2,000万円でございます。

歳入その他の財源1億2,000万円は中小企業融資預託金元金収入でございます。

次の消費者啓発事業は住民生活部から御説明いたします。

続きまして、189ページ下段の筆産業振興事業でございます。

この事業は、筆の日の実施に関する経費、筆産業振興に係る熊野筆事業協同組合や筆まつり実行委員会等に対する助成を行うための経費を計上するもので、事業全体で1,410万5,000円、本年度より81万円、6.1%の増となっております。

増額の主な要因は、隔年で実施しております文房四宝まつり実行委員会事業補助金の増などによるものでございます。

主な事業費は、190、191ページをお願いいたします。

筆の日事業などに係る消耗品費93万5,000円。熊野筆事業協同組合事業補助金233万6,000円、筆まつり実行委員会事業補助金545万円でございます。

歳入その他の財源848万6,000円の内訳は、筆の里づくり基金繰入金548万6,000円、協働のまちづくり事業助成金300万円でございます。

続いて、2目観光費の観光推進事業でございます。

この事業は、町の観光推進を行うもので、広島県観光連盟や広域市町と連携した観光PR、誘客活動の実施、筆の里工房を活用した観光推進を行う経費を計上するもので、事業全体で445万9,000円、本年度より1,024万円、69.7%の減となっております。

減額の主な要因は、町民主体の観光まちづくりを実施するための基盤育成事業や、た

べもの新名物アイデアコンテスト、グルメガイドマップ製作の終了によるものでございます。

主な事業費は、192、193ページをお願いします。

缶バッジなどのふでりんグッズの製作などに係る消耗品費73万9,000円、観光パンフレットの製作などに係る印刷製本費62万1,000円、負担金補助及び交付金では、広島中央地域連携中枢都市圏連携事業として実施する筆の里工房入館料無料化負担金70万円でございます。

歳入その他の財源96万円の内訳は、広島県町村会助成金90万円、名刺台紙等の販売による観光推進諸収入6万円でございます。

次の7款土木費、1項土木管理費から4項都市計画費、2目公園費の深原地区公園管理運営事業までは、建設農林部から後ほど説明をいたします。

次に、214、215ページをお願いします。

7款土木費、4項都市計画費、2目公園費の筆の里工房周辺整備事業でございます。

この事業は、筆の里工房北側に体験交流施設を整備するための経費を計上するもので、事業全体で3億8,450万円、皆増となっており、このうち2億8,450万円が産業観光課が所管する予算でございます。

増額の主な要因は、体験交流施設の整備工事の着手に伴うもので、2年間で完成を予定しています。

事業費の内訳として、体験交流施設整備に係る工事請負費及び工事に伴う施工管理業務に要する委託料でございます。

歳入、国県支出金1億9,000万円のうち、1億4,000万円、地方債1億7,100万円のうち1億2,600万円が産業観光課所管の予算で、国県支出金は施設整備に対する都市公園事業交付金、地方債は同じく施設整備に対する公共事業等債でございます。

次の3目公共下水道費から5項住宅費は建設農林部から、218ページからの8款消防費は住民生活部から、226ページからの9款教育費、1項教育総務費から5項社会教育費、3目公民館費までは教育部からそれぞれ後ほど説明いたします。

次に、260、261ページをお願いします。

9款教育費、5項社会教育費、4目文化財保護費の文化財保護事業でございます。

この事業は、町の貴重な財産となる文化財の保護・保存とその活用を図る経費を計上

しています。事業全体で113万1,000円、本年度より266万3,000円、70.2%の減となっております。

減額の主な要因は、2年間かけて作成した文化財保存活用地域計画の委託料の終了によるものでございます。

主な事業費は、需用費として文化財マップの製作に係る印刷製本費30万円、指定文化財の看板修繕料21万4,000円、熊野町指定文化財補助金25万円でございます。その他の財源4,000円は町史等販売代金でございます。

~~~~~○~~~~~

○財務課長（多久見） 続く5目図書館費以降の教育費は教育部から、272ページの10款災害復旧費は建設農林部からそれぞれ後ほど説明をいたします。

274、275ページ中段をお願いします。

11款公債費でございます。1目元金につきましては、過年度借入分までの町債に係る償還金で7億4,699万円、本年度より989万円、1.3%の増となっております。

増額の主な要因は、平成30年7月豪雨災害関係で借り入れたものが据置期間が終了し、償還が開始されたためのものでございます。

次に、2目利子につきましては、元金と同様に過年度借入分の町債に係る利子及び一時借入金に係る利子で、2,575万8,000円、既に借入分の償還終了に伴って、本年度より12万9,000円、0.5%の減となっております。利子償還の近年は過去と比較して定率の利子での借入れが可能であるため、減少傾向にあります。

続いて、12款諸支出金の基金事業でございます。

この事業は7つの基金財産から得た運用益を一般会計を通じて各基金に積み立てるのと、森林環境譲与税の譲与額を森林環境基金に積み立てるもので、657万円、本年度より384万4,000円、141%の増を見込んでおります。

増額の主な要因は、森林環境基金積立金の増によるものです。

276、277ページ中段をお願いします。

13款予備費でございます。予算編成時に予期しなかった予算外の支出または予算超過の支出に充てるため、本年度と同額の2,000万円を計上しております。

総務部は以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） それでは、今説明がありました、186ページから1

93ページまでの商工費、214ページ、215ページの土木費、都市計画費の公園費、260、261ページの教育費、社会教育費の文化財保護費、そして274ページから277ページの公債費、諸支出金、予備費についての質疑を行います。質疑ございますか。

沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 191ページ、観光推進事業なんですけれども、広島市立大学の三上先生が熊野町つなぐプロジェクトというのをやっているんですけれども、町とつながっているのかどうか、ちょっとお聞きしたいんですけれども。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 広島市立大学とはですね、今年度一応、熊野町のまちづくりについて学生さんと一緒に連携していくということで、実際に三上先生だったりとか学生さんに熊野町のほうに来ていただいて、熊野町の魅力的な資源を見ていただいてですね、特に今年度につきましては、そういった熊野町で活躍されている方にスポットを当ててその方を取材させていただいて、それをSNSでアップするというような取組を行っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 私も書いて出しているんですけれども、そういった学校の先生だけじゃなくて、町内に在住の方でインスタグラムを使用して、私たちが気がつかない熊野町の魅力を物すごく上手に発信していらっしゃる方もいるので、やっぱりそういった方たちの力を借りるのも必要なのではないかなと思いますが、いかがでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 町内にもたくさんそういったSNSを活用されて熊野の魅力を

発信されている方がおられますので、ちょっとそういったことも今年度連絡を取ってみたりとかですね、ちょっと話をしたりとかですね、ちょっと仲間づくりではないんですけども、そういった組織づくりといいますか、コミュニティをつくっていくような活動もちょっと今年度から実施はしております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） よろしいですか。ほかに。

すみません。ちょっとこの部分でページが非常に飛ぶんでね、ゆっくり言ってください。

荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） ページ215ページ、筆の里工房周辺整備事業でございます。皆さん、見られていますか。

全体計画はいつになりますと出ますか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 渡部都市整備課長。

~~~~~○~~~~~

○都市整備課長（渡部） 来年度ですね、エレベーター棟の設計を残しまして、今年度でおおむねの設計が完了いたします。また今、世界的な原材料等エネルギー不足による物価の上昇に加えまして、資材の高騰が激しくなっております。またこれに加えまして、人件費等も上昇しております。当初計画よりも3割程度は上がるのではないかと今考えておりますが、そのあたりはちょっと遅くなって大変申し訳なかったんですけども、詳細のほうを確認いたしまして、全体の概算工事費を5月の全員協議会のほうで御報告させていただければと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） ここが視点がちょっと違う。駐車場、4.3ヘクタール全体です。全体像がないと、部分部分の審議をしよるとね、大ちゃんぽがあっちゃいけませんから、全

体。4.3ヘクタールをどう使うのか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 渡部都市整備課長。

~~~~~○~~~~~

○都市整備課長（渡部） 工事費ではなくてということですかね。計画は、中心に今の施設のほうを建設をいたします。西側のほうに、今の駐車場部分に調整池を造らせていただきます。建物、中部の東側ですね、今度。今もちょっと砂利のような感じで駐車場のスペースになっているんですけども、そちらのほうに大きな駐車場を造らせていただきます。それから北側のほうに大きな公園のほうを造らせていただこうと考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 口で言うんでのうてね、図面で見ないと分からないですよ。で勾配。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 西村総務部長。

~~~~~○~~~~~

○総務部長（西村） これまで全員協議会、その他等で委員会答弁でもお示ししてきた図面はですね、その形はそこは変わっておりません。配置に関しては今までお示ししてきた形で御承知いただけたらと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 全員協議会の中で部分的なものしか出ていないですよ。施設しか。駐車場がどうなって、勾配がどうなって、国有地か何か残さないけんとかいう情報も入っておるんですが。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○産業観光課長（近藤） 正確な詳細な図面はないんですけれども、一応ゾーニング的なものにつきましては、全員協議会のほうでその都度説明をさせていただいております、全体の大体の公園部分であったりとか、駐車場部分であったりとか、調整池部分につきましては、例えば令和3年の2月の全協で参考図面という形で上げさせていただいたりはしております。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（荒瀧） 全体計画がなぜ大事なのかといたら、水がどういうふうに流れていって調整池に入るのか。駐車場のあたりで水が出て、後方のほうに被害が被らんようになってくるかどうか。こういう全体像があって、ここを優先して造るとかという議論の組立が必要なんです。ここだけやっとして、あとこっちはまだ分かりませんか、私は計画上欠陥があるように思いますが、いかがでしょうか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 渡部都市整備課長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○都市整備課長（渡部） 堰堤をするとき仮設道路を設置しておりますが、そのときにもですね、雨水のほうの整備をしております。今現在、先ほども申しましたが、今年度末で北側広場の造成の設計のほうも出来上がります。そちらのほうで5月のほうに一緒に示させていただければと思っております。全体で示させていただきます。よろしく願いいたします。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（荒瀧） 専門家ばかりに頼るのじゃなくて、素人のほうが面白い大事な発想することがありますので、ぜひ皆さんに御提示をいただきたいと思っております。

次、2つ目、274ページ、公債費でございます。

長期金利が動く可能性が出つつございますね。株もすごい上がっておりますね。熊野町としての公債費体力、8億円ならええ、8億5,000万円ぐらいまではできるかと。災害等の返済が終わったので楽になった状態は聞きました。ただ、私一人の力じゃ及びませんので、工房のほうもどんどん投資されるんだろうと思うんですが、その返済も含めてですね、緊急災害が出た場合は前回経験されていらっしゃるんで、国が全面的には応援して下さるといふ思いでおられるかも分かりませんが、そういう災害にも備えた公債費体力、このあたりはいかがですか。把握されていますか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 多久見財務課長。

~~~~~○~~~~~

○財務課長（多久見） 公債費につきましては、今後ですね、今現在大きく影響しております庁舎建設に対する公債費、こちらのほうが令和8年3月に終了いたします。これがおよそ年5,000万円程度、これが終了します。次にみらい保育園、こちらが令和8年9月に終了をいたします。こちらのほうが3,000万円程度、その分が8,000万円程度少なくなるという見込みがありますので、今後はこれを活用していきたいというふうに考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 金利が上がった場合の想定はされていますか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 西村総務部長。

~~~~~○~~~~~

○総務部長（西村） 目下の状況でいいますと、そこまで大きく変動していないというのが現実的のところだと思います。そこらも見込みながらですね、借金といえますか、町債のほうを使っていきたいというふうに考えます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（荒瀧） このあたりはね、慎重に。ただ、住宅は増えております。家屋の減債、評価が下がるから固定資産税はあまり上がらんように見えますけど、プラス要素になろうかと思うんですが、そのあたりではね、税収は。ただ、何があるか分からん中で、それに対応できる体力を温存しておくべきだと思いますので、ぜひ検討いただきたいと思います。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにはございますか。
水原副委員長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（水原） 190、191ページですね。観光推進事業、これ、今回グルメマップを作られたと思うんですけども、前にもちょっと聞いたかもしれませんが。部数と、このどれぐらい経費がかかったんかをちょっともう一度お願いします。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○産業観光課長（近藤） 作成部数は5万部です。金額は79万8,000円です。
以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（水原） これ5万部を作られたということは、どれぐらいの期間このマップを使われるという予定でしょうか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○産業観光課長（近藤） 一応3年から5年程度見越しております。
以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

すけれども、そういった形で情報の更新を行っていきたいというふうに考えております。
以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） よろしいですか。ほかにはございますか。

それでは、尺田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（尺田） 189ページの6款商工費の商工振興費の中の新名物開発支援事業補助金のことなんですけれども、ちょっとさっき私も聞き漏らしとったんですけど、これは去年開催されたたべものコンテストですかね、商工会が主催だったと思うんですけど、これに対する補助金ということですよ。じゃなかったっけ、違ったっけ。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 新名物開発支援事業補助金なんですけれども、今年度たべもの新名物アイデアコンテストを実施し、様々なアイデアから新商品の開発が進む中で、町内の熊野らしい新商品の開発など、取組を支援することにより新規事業の開拓、商品の高付加価値化、販路拡大等を促進するとともに、将来的には新しい体験交流施設での販売可能な商品も視野に入れながら、熊野の新名物づくりを作り上げるものでございます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 尺田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（尺田） 東部で今回やったやつよね。ちょっと伺うんですけど、こういったイベントをするのはいいんですが、主催者の例えば商工会とか、あっちのほうは今回受賞された作品を商品化するような努力というのはされておるんですかね。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） すみません。今回の事業は主催者が町でして、商工会もいろいろ協力はしていただいているんですけども、町で新しい名物を作ろうということで実

施させていただきます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 尺田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（尺田） 町としては、受賞されたものを商品化できるような努力とか、ああいったことはしておるんですか。それとも、ただイベントをしたらやりっ放しという状態なんでしょうか。どっちなんでしょう。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） 12月に試食会的なものを行ったんですけれども、その中で事業所のほうで新しい名物に積極的に取り組んでいただける事業所が5つほどございまして、そちらの事業所については今度3月の筆の日週間にあわせて各店舗で試作品、試食会を行うというような、そういった流れになっております。今後それがさらにブラッシュアップされて、店頭には熊野らしい名物として商品として出ればいいかなということで考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 尺田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（尺田） 分かりました。じゃあ、ぜひ商品化が実現できるように、また販売できるものへつながるように、町のほうとしても努力していただきたい、そのように思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかに。

水原副委員長。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） さっきの尺田委員のにちょっと補足をしたいんですけど、今回5つほど

出されましたよね。これ5つというのは、それだけの事業所や飲食店しか作りますという
ような応募がなかったということですかね。もっと僕は余計あってもいいような感じも
したんですけど。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 近藤産業観光課長。

~~~~~○~~~~~

○産業観光課長（近藤） いろんなところにちょっとお声がけはさせてもらったんですけ
れども、最終的に3月に提供いただける事業所はちょっと5つのみとなっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） よろしいですか。

5時に近くなったので、そろそろ総務部について閉めようと思うんですが、まだござ
いますか。

（「質疑なし」の声あり）

○総務建設分科会進行役（光本） じゃあ、この辺で総務部門についての質疑を終えたい
と思います。

次の明日はですね、住民生活部門から始めようと思うんですが、明日は午前中がお休
みでしたね。ということで、明日の13時30分、午後1時30分から再開ということ
でお願いをします。どうぞよろしくお願ひします。

お疲れさまでした。

（散会 16時56分）

令和6年 予算特別委員会 総務建設分科会

(会議録 第2号)

1. 招集年月日 令和6年3月7日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和6年3月6日

~~~~~  
4. 出席委員(14名)

1番 藤本健太	2番 世良将生
3番 水原耕一	4番 福垣内邦治
5番 光本一也	6番 中島数宜
7番 尺田耕平	8番 竹爪憲吾
9番 沖田ゆかり	10番 片川学
11番 民法正則	12番 荒瀧穂積
13番 大瀬戸宏樹	14番 時光良造

~~~~~  
5. 欠席委員(0名)

~~~~~
6. 説明のために出席した者の職氏名

町長	三村裕史
副町長	岩田秀次
教育長	平岡弘資
総務部長	西村隆雄
住民生活部長	西川伸一郎
建設農林部長	堂森憲治
総務部次長	西岡隆司
住民生活部次長	福嶋春樹
建設農林部次長	宗像雅充
建設農林部技術次長	寺垣内栄作
財務課長	多久見良数

政策企画課長	須賀雅彦
産業観光課長	近藤光宏
収納管理課長	堀野准
防災安全課長	花岡秀城
生活環境課長	熊野孝則
農林緑地課長	中原幸成
都市整備課長	渡部貴幸
会計課長	福垣内哲治

~~~~~○~~~~~

7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	榎並正和
議会事務局書記	尾瀨宏教

~~~~~○~~~~~

8. 会議に付した事件

議会費
 総務費
 民生費
 衛生費
 農林水産費
 商工費
 土木費
 消防費
 教育費
 災害復旧費
 公債費
 諸支出金
 予備費
 国民健康保険事業特別会計
 後期高齢者医療特別会計
 下水道事業会計

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(再開 13時24分)

○総務建設分科会進行役（光本） 委員全員そろったようですので、昨日に引き続き、分科会を再開いたします。

続きまして、住民生活部門といたしまして、総務部の一部と民生部の一部について説明をお願いします。

花岡防災安全課長。

~~~~~○~~~~~

○防災安全課長（花岡） それでは、住民生活部の説明をさせていただきます。

76、77ページ下段をお願いします。

2款総務費から御説明いたします。2款総務費、1項総務管理費、5目交通安全対策費、交通安全対策事業でございます。

この事業は、年4回の交通安全運動期間中に街頭啓発活動を実施するなど、交通事故の防止・減少を図るための諸経費を計上しています。事業全体で71万9,000円、本年度より168万1,000円、70.0%の減となっています。

減額の要因は、公用車の更新費の減でございます。

主な事業費は、街頭啓発活動で使用する上り旗やポールの更新、啓発グッズの購入、公用車の燃料費など、需用費23万2,000円、安芸地区交通安全協会熊野支部への補助金37万円でございます。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 続きまして、78、79ページをお願いします。

中段、6目防犯対策費、防犯対策事業でございます。

この事業は、防犯のない、安全で安心して暮らせる町の実現のため、町民一人一人の防犯意識を高める啓発活動や自主防犯組織に対する支援など、町内の防犯件数の減少を目的とした費用を計上するもので、事業全体で739万円、本年度より84万7,000円、12.9%の増となっております。増額の主な要因は、防犯カメラ設置による機械器具使用料によるものでございます。

主な事業費は、会計年度任用職員に係る報酬362万9,000円、続く、80、81ページ、海田警察署管内防犯組合連合会負担金として、負担金補助及び交付金10万

円でございます。財源の国県支出金 3 3 2 万 6 , 0 0 0 円は地域廃棄物対策支援事業補助金、その他 3 3 万円は安全安心まちづくり事業助成金などでございます。

~~~~~○~~~~~

○収納推進課長（堀野） 続きまして、中段の 7 目諸費、収納金還付事業でございます。

この事業は、町税等の還付金及び還付加算金に係る経費を計上しています。事業全体で 6 0 0 万円、本年度と同額でございます。財源の国県支出金 2 2 3 万 1 , 0 0 0 円は、県からの県民税徴収取扱費交付金でございます。

~~~~~○~~~~~

○防災安全課長（花岡） 続いて、8 目国民保護費、国民保護事業でございます。

この事業は、外国からの武力攻撃事態や大規模なテロ等、緊急対処事態が発生したときの住民避難や被災者の救助、武力攻撃災害への対処等を定めるための事務必要な諸経費を計上しています。事業費全体で 4 万円、昨年度と同額となっております。

主な事業費は、国民保護協議会の委員報酬 4 万円でございます。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 少し飛びまして、8 8、8 9 ページをお願いします。

中段からの 2 項企画費、3 目地域振興費、地域振興事業でございます。

この事業は、地域住民の参画によるまちづくりを推進するもので、各地区のコミュニティセンター、老人集会所の管理・修繕に係る補助金のほか、まちづくり協働の推進に係る経費を計上するもので、事業全体で 1 , 3 0 8 万 5 , 0 0 0 円、本年度より 9 2 万 7 , 0 0 0 円、7 . 6 % の増となっております。増額の主な要因は、コミュニティセンター等修繕費補助金の増額によるものです。

主な事業費は、行政協力員等の報酬 4 7 3 万 9 , 0 0 0 円、コミュニティセンター等管理費補助金 1 2 1 万 3 , 0 0 0 円、まちづくり協働推進事業補助金 1 0 0 万円、防犯灯補助金 3 8 8 万 5 , 0 0 0 円でございます。財源の国県支出金 1 1 万 1 , 0 0 0 円は国庫補助の外国人受入環境整備交付金、その他の 2 7 0 万円は公益財団法人広島県市町村振興協会からの助成金でございます。

続いて、9 0、9 1 ページをお願いします。

下段から、9 2、9 3 ページの交通輸送対策事業でございます。

この事業は、町内の生活交通を維持・確保する取組を中心とした交通輸送対策に関する経費を計上するもので、事業全体で 4 , 9 4 9 万 9 , 0 0 0 円、本年度より 4 8 4 万円、

8.9%の減となっております。減額の主な要因は、本年度策定いたしました熊野町地域公共交通計画策定業務委託料の減額によるものです。

主な事業費は、バス路線補助金3,452万6,000円、「おでかけ号」の運行委託料でございます。その他の財源2,645万3,000円は、地域福祉基金からの繰入金1,297万7,000円、雑入で阿戸線補助に係る広島市からの負担金1,287万2,000円、広島空港整備事業費市町村負担金助成金60万4,000円でございます。

~~~~~〇~~~~~

○住民生活部次長（福嶋） 続きまして、94～95ページの3項徴税费、1目税務総務費の町民税総務事業でございます。

この事業は、町県民税の賦課徴収事務に係る時間外手当、会計年度任用職員の報酬といった人的経費を計上しております。事業全体で609万2,000円、本年度より144万2,000円、31.0%の増となっております。増額の主な要因は、職員手当の増によるものです。

主な事業費は、会計年度任用職員の報酬309万2,000円でございます。財源の国県支出金489万3,000円は県からの県民税徴税费委託金、その他2万2,000円は、会計年度任用職員の社会保険料個人負担分でございます。

続いて、96～97ページの固定資産税総務事業でございます。

この事業は、固定資産税の賦課徴収事務に係る人的経費を計上しております。事業全体で81万6,000円、本年度より215万6,000円、72.5%の減となっております。減額の主な要因は、登記情報突合業務で、今年度のみ雇用した会計年度任用職員の報酬の減によるものです。事業費は、職員手当81万6,000円でございます。

~~~~~〇~~~~~

○収納推進課長（堀野） 続きまして、収納総務事業でございます。

この事業は、収納した町税の消込み管理事務や滞納整理事務に係る人的経費等を計上しています。事業全体で329万7,000円、本年度より291万7,000円、767.6%の増となっています。増額の主な要因は、会計年度任用職員の任用に伴う人件費の増によるものでございます。

主な事業費は、会計年度任用職員に係る人件費として報酬179万3,000円、期末勤勉手当67万3,000円、共済費42万8,000円などでございます。その他の財源1万4,000円は、社会保険料納付金でございます。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○住民生活部次長（福嶋） 続きまして、98、99ページの税務総務事業でございます。

この事業は、税務住民課の町民税、固定資産税グループの業務全般に係る経費を計上しております。事業全体で535万7,000円、今年度より33万3,000円、6.6%の増となっております。増額の主な要因は、印刷製本費と地方税共同機構関係負担金の増によるものです。

主な事業費は、軽自動車等取扱負担金、地方税共同機構関係負担金など負担金193万6,000円でございます。財源の国県支出金452万2,000円は、県からの県民税徴税费委託金でございます。

続きまして、99ページの最下段から100、101ページにかけて、2目賦課徴収費、町民税事務事業でございます。

この事業は、町県民税の賦課徴収のための経費として、電算関係の委託料などを計上しています。事業全体で1,052万4,000円、本年度より76万8,000円、6.8%の減となっております。減額の主な要因は、電算処理委託料の減によるものです。

主な事業費は、クラウド利用料等の手数料581万3,000円でございます。財源の国県支出金972万7,000円は、県からの県民税徴税费委託金で、その他75万5,000円は、所得証明などの証明手数料でございます。

続いて、固定資産税事務事業でございます。

この事業は、固定資産税の賦課徴収に係る経費を計上しています。事業全体で1,919万4,000円、本年度より129万5,000円、7.2%の増となっております。増額の主な要因は、広島広域都市圏連携事業負担金430万円の増によるものです。

主な事業費は、路線価算定業務、標準宅地鑑定評価業務等の委託料でございます。その他財源37万円は、土地台帳等の閲覧手数料及び証明手数料でございます。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○収納推進課長（堀野） 続きまして、101ページ下段から103ページ上段を御覧ください。収納事務事業でございます。

この事業は、滞納整理のためのシステム利用料や収納業務委託料に係る経費を計上しています。事業全体で1,263万3,000円、本年度より9万円、0.7%の増となっております。増額の主な要因は、今年度から本格稼働しました地方税共通納税システム利用料、現行の口座振替データの伝送方法が電話回線からインターネット回線へ変更

したことに伴う手数料の増によるものでございます。

主な事業費は、電算システム利用料389万2,000円、滞納整理システム利用手数料の340万円とコンビニ代行業務委託料などがございます。その他の財源66万円は、証明手数料6万円と督促手数料60万円でございます。

~~~~~〇~~~~~

〇住民生活部次長（福嶋） 続いて、軽自動車税事務事業でございます。

この事業は、軽自動車税の賦課徴収に係る経費を計上しております。事業全体で347万1,000円、本年度より111万9,000円、47.6%の増となっております。増額の主な要因は、電算処理業務委託料の増によるものです。

主な事業費は、クラウド利用料の手数料226万5,000円でございます。

続いて、103ページの下段から105ページにかけて、4項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費の住民基本台帳等事業でございます。

この事業は、戸籍住民基本台帳及び印鑑登録原票の記載・登録・管理または諸証明の交付事務のほか、旅券交付などの事務に係る諸経費を計上しております。事業全体で3,283万5,000円、本年度より643万2,000円、24.4%の増となっております。増額の主な要因は、電算処理業務委託料の増によるものです。

主な事業費は、会計年度職員の報酬229万4,000円、クラウド利用手数料385万6,000円、電算処理業務委託料などがございます。財源の国県支出金は、戸籍システム標準化に対する交付金など648万6,000円、その他765万4,000円は、各種証明手数料、閲覧諸証明の交付に伴う手数料収入などがございます。

続いて、106、107ページの個人番号カード関連事務事業でございます。

この事業は、個人番号カード、いわゆるマイナンバーカードの申請や交付など普及促進に取り組む経費を計上しております。事業全体で1,022万円、本年度より2,270万4,000円、69.0%の減となっております。減額の主な要因は、個人番号カード関連事務委託料の減によるものです。

主な事業費は、会計年度任用職員の報酬537万7,000円でございます。財源の国県支出金1,017万5,000円は個人番号カード交付事務費補助金で、その他4万5,000円は、会計年度任用職員の社会保険料個人負担分でございます。

次の、5項選挙費以降の総務費につきましては、総務部により既に説明をしております。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○生活環境課長（熊野） 少し飛びまして126、127ページをお願いします。

3款民生費、1項社会福祉費、4目人権推進費、人権問題啓発推進事業でございます。

この事業は、町民の人権意識の向上や町民を対象とした弁護士相談に対する経費を計上するもので、事業全体で97万4,000円、本年度より84万3,000円、46.4%の減となっております。減額の主な要因は、人権講演会開催に伴う経費として印刷製本費、筆耕翻訳料・講師等派遣業務委託料の減額によるものです。

主な事業費は、弁護士相談事務委託料でございます。財源の国県支出金4万7,000円は、県委託金の人権啓発活動地方委託金でございます。

続きまして128、129ページの中段の広域隣保活動事業でございます。

この事業は、人権教育集会所を拠点に生活相談員を配置し、様々な生活相談を行うための経費を計上するもので、事業全体で313万5,000円、本年度より50万円、19.0%の増となっております。増額の主な要因は、熊野町人権推進事業補助金の増額によるものです。

主な事業費は、生活相談業務委託料及び熊野町人権推進事業補助金130万円でございます。財源の国県支出金98万円は、県補助金の隣保館運営費等補助金でございます。

続いて下段、熊野町教育集会所管理事業でございます。

この事業は、川角地区にあります、生活相談や学習事業、人権啓発事業などを行う教育集会所の管理運営に係る経費を計上するもので、事業全体で49万5,000円、本年度より1万1,000円、2.2%の減となっております。減額の主な要因は、消耗品費の減額によるものです。

主な事業費は、光熱水費32万7,000円でございます。その他の財源3,000円は、行政財産目的外使用料でございます。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○住民生活部次長（福嶋） 続いて、130、131ページをお願いします。5目国民年金費、熊野町国民年金事業でございます。

この事業は、国民年金の資格関係の届出や保険料免除申請の受理など、国からの法定受託事務に係る諸経費を計上しています。事業全体で526万7,000円、本年度より49万5,000円、10.4%の増となっています。増額の主な要因は、会計年度職員の報酬等の増によるものです。

主な事業費は、会計年度職員の報酬179万3,000円、クラウド利用手数料216万7,000円でございます。財源の国県支出金は、基礎年金等事務費交付金525万2,000円、その他1万5,000円は、会計年度任用職員の社会保険料個人負担分でございます。

続いて、132、133ページをお願いします。6目国民健康保険費、熊野町国民健康保険事業でございます。

この事業は、国民健康保険事業特別会計の事務執行体制を設けるための諸経費と特別会計への繰出金を計上しています。事業全体で1億2,699万6,000円、本年度より833万6,000円、6.2%の減となっています。減額の主な要因は、保険税基盤安定負担金の減による特別会計への繰出金が減少したことによります。

主な事業費は、特別会計への繰出金1億2,689万3,000円でございます。財源の国県支出金は、国民健康保険税の軽減に係る国や県の保険基盤安定負担金など、8,662万6,000円でございます。

繰出金につきましては、後ほど特別会計において説明をさせていただきます。

少し飛びまして136、137ページをお願いします。

下段の10目後期高齢者医療費、後期高齢者医療事業でございます。

この事業は、後期高齢者医療特別会計の事務執行体制を設けるための諸経費と、特別会計への繰出金を計上しています。事業全体で5億2,767万3,000円、本年度より4,033万2,000円、8.3%の増となっています。増額の主な要因は、被保険者の増による特別会計への繰出金が増加したことによるものです。

主な事業費は、特別会計への繰出金5億2,753万円です。財源の国県支出金は、後期高齢者医療保険料の軽減に係る県の保険基盤安定負担金7,266万7,000円でございます。

繰出金につきましては、後ほど特別会計において説明をさせていただきます。

総務費、民生費は以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ありがとうございます。それでは、ただいま説明がありました76ページから81ページの総務費、総務管理費の交通安全対策費、防犯対策費、諸費の一部、国民保護費及び災害支援諸費、88ページから91ページの企画費、地域振興費の一部、94ページから107ページの徴税费及び戸籍住民基本台帳費、1

26ページから133ページの民生費、社会福祉費の人権推進費、国民年金費、国民健康保険費、そして、136、137ページの後期高齢者医療費について質疑をこれから行います。

委員の皆様にお願いがございます。質疑をされるときは挙手をいただき、マイクのランプがついてから、ページ数を示した上で質疑のほうを行っていただくようお願いいたします。

それでは、質疑を行います。質疑はありますか。

沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 93ページのバス路線の補助金なのですが、阿戸線のマイナンバーを使用した利用促進の実証実験が1月から始まっていると思うんですけども、その利用状況、マイナンバーを使われている方が実際にどれぐらいいらっしゃるのかというのと、マイナンバーを使われていないときの利用とどのくらい違うのかというのが分かれば、ちょっと教えていただきたいです。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） その実証実験は2月いっぱい終わっております。その結果について広電のほうからまだ頂いておりませんので、ちょっと分からない状況でございます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 107ページなんですけど、個人番号カードの関連事務事業なのですが、熊野町はマイナンバーの取得率が県内でもトップだと思うんですが、一般質問で「書かない窓口」の質問をしたときに、職員が聞き取りをして、最終的にはサインが要するというような御答弁だったと思うんです。最終的にサインが要ということは「書く」ということなんですけれども、現在海田町のほうでも入っていますが、マイナンバーをかざせば、一切書かなくても申請手続きができるといったものがあるんですが、そういったも

のを入れるようなお考えはないですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 福嶋住民生活部次長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部次長（福嶋） 昨年「書かない窓口」を実施しております。大体一日の半分程度はその「書かない窓口」で対応しておるんですけども、今おっしゃられる、申請書ができ上がったときに確かに最後に署名をしていただいております。全く書かないというのはちょっと今はできていない状況でございます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 来られた方が書く書かないだけじゃなくて、職員が聞き取りをするということは、職員の負担は増しているんじゃないのかなというふうに思うんです。実際に海田のほうに機械を見に行ってきたんですけど、職員の方は全然聞き取ることもないですから、来られた方がマイナンバーをかざして、どの申請書が要るのかという手続を全部画面上で操作できますので職員の負担もありませんし、ちょっと今後考えていただけたらと思います。

続きまして129ページなんですけど、熊野町の人権推進事業補助金を増額された理由をお伺いします。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 令和5年度は県から人権啓発講座、講演会についての補助金がついたので、これを人権推進事業のほうで組んでおりました。例年はこちらの補助金のほうでやっていたので、それを組み替えたという形でこちらが増えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかに。荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） システムについてでございます。いろいろシステムの変更とか、システムの中で例えばクラウド利用料とか、システム委託料とか、これを総額どのぐらい使っているのか、ちょっと把握したいんですが。役場全体で。今でなくてええですよ。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 政策関係になるんですが、大丈夫ですか。

西村総務部長。

~~~~~○~~~~~

○総務部長（西村） 今、手元に資料がございませんので、また改めまして。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 続いて、荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 127ページでございます。

人権講演会について、今年はされないというふうに説明があったと思うんですが、これは毎年するものではないんですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） しないのではなくて、予算を組み替えただけで、今年も12月頃には予定しております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 去年は山口香さんが来られまして、非常に女子柔道の方と親しくお話しただいて、その方は中国大会に優勝した方です。非常に有効な講演会であり、交流会であったように思いますので、ここはぜひぜひ続けていただいて、また質の高い方を及びいただいて、人権についてはまだまだ日本人は遅れておりますので参加者が少ないです。もうちょっと増やす方法も考えていただいて、よろしくお願ひしたいと思ひます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

片川委員。

〇委員（片川） 93ページ、バス路線の補助金なんですけど、昨年度に比べて1,200万円ぐらい増えとるんですが、その詳細をお知らせ願えますか。

〇総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

〇生活環境課長（熊野） このバス路線の補助金は、今、阿戸線をやっていただいております朝日交通、それから、芸陽バスに出しているものです。朝日交通に対するものに、普段の運行経費プラス今回、朝・夕走っている広電から頂いたバスを、「ポンチョ」という新しいものに変える予定にしております。その経費が上がっているので増額となっております。

以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

〇委員（片川） 阿戸線に対して委託料は、今現在幾らでしたっけ。

〇総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

〇生活環境課長（熊野） 委託料ではなくて補助金なんですけど、大体3,100万円ぐらいが普段の経費となっております。

以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） 時光委員。

〇委員（時光） バスばかりで申し訳ないんですけど、やはり新宮、初神、そして城之堀の方とか、やはり便利が悪いと、昼間に営業所まで行かない、もちろん前から言ってるんですが、役場までも行かないという意見が随分聞こえるんですが、その辺は執行部のほうは聞いておられるんでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○委員（時光） 先日、広電の椋田社長とお話しする機会があつて、ちょろっとそういう話を、営業所をこっちに動かしてくださいよというような話をしたんですけど、社長の思いとしては、そういう気持ちはないというふうに私ははっきり言われたのが一つ。

それと、現在の広電がやっているのが西部ですね、五日市、廿日市含めて、地元のバス会社と協力してとにかく西から広島まで連携して人を運ぶ、そういうものを考えているんだと。私の考えとしては、将来的には呉、広、そして熊野を含めて東からも人を集めてきたいというようなこともおっしゃってたんですけど、その辺は何か聞いておられますでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 西川住民生活部長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部長（西川） そこまでの具体的なことは私は聞いておりませんが、会議に参加していただいている担当者の部長さんとかとは、結節点がこちらに来るようなことがあれば、公共交通としては協力したいという話は伺っています。

ただ、それが組織の広電としての決定かということまでは言っていないけれども、公共交通の担当者としては考えているという話は伺っていますし、まだその話はちょっと広電さんの部内のほうでは、機関決定としてはまだ行ってないところもあるかもしれないんですけど、お話としては、どちらかというところ、公共交通として考えてはいますというお話はいただいています。機関決定じゃないので、そこはちょっと弱いんじゃないかと言われればそうかもしれないんですけど、この計画もできたことですので、今後そこはしっかり詰めていきたいなというふうには思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 時光委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（時光） 計画もできまして、ハブがこちらに来るのは良いことなんですが、現在暮らしている方々が、バスに乗らん人が多いわけですから、どうすれば乗っていただけるか、これを一番に考えていただいて、将来的にはそういう形がベストだと思うんですけど、今生活している方が困っているということをよく考えていただいて、少しずつで

も対応していただきたいと思いますので、答弁はいいですから、以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 私も同じバスの問題で、今少し出ましたけど、おねだりじゃ駄目なんです、これ。住民が乗らないとないなるよというのを、強く行政から発信してください。

選挙やら何かの心配してしっかり言われん場合もあるんでしょうけれども、現実を捉えたら、乗らんと公共事業はないなる、それをしっかり発信いただきたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

福垣内委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（福垣内） 今の93ページ、バスの話になるんですけども、是が非でもバスを残すんだと、乗る方が少なくなったら、みんなに乗ってもらってでもバスを残すんだという考えはいかがかというのが僕個人の思いで、予算の話になりますので、今はバスのほうの予算も上がってきていると、同じことをするのにも費用がかかるんだと、なのに乗られる方は減っているんだという現状を鑑みて、やはりより小さな車、今はシェアライドとかも始まるどころも増えておりますし、そういう次の公共交通機関の形というのも模索していただきたいと思います。何としても残す方法を考えようじゃないかと、無駄であっても残そうということになりかねないと思いますので、その辺も調査を始めていただけたらと思います。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 西川住民生活部長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部長（西川） 実際、今の広電さんも赤字というふうには聞いていますので、本当はもっとひいていきたいということも正味の本音というか、その部分はあるかもしれないというふうに感じております。例えば広電がなくなれば阿戸線もなくなるということにつながっていくので、そこはどうしても、僕が話しているのはやはり公共交通がない町にするわけにはいかないのです、何としても死守はせんといけんという話は担当者

とはしています。

でも、じゃあ補助金をたくさん払って空のバスを走らせればいいのかということでもないと思いますので、実際アンケートを取ってみたら、「乗りたい」、「乗るようにしてほしい」、だけど結果としては、乗られる現状がない、またイベントをしても、そういうことで新聞の折り込みをしたりとかして来ていただくようにしても、なかなか関心を持っていただけていないという非常に苦しい部分は正直あります。

なので、ちょっとどうしたもんかなという話の中で計画で、ちょっと結節点でにぎわいをつくってということで営業所がこっちに来るようなことになって、そこを起点に阿戸線がそのエリアを動くようになる、さらにおでかけ号がそこを中心にということでできていたらなというような計画が今の地域公共交通計画なので、そういうことでまた議会のほうにお願いするようなこともあるかもしれないんですけども、そういう形でできていたらなというふうに考えているんですけど、現実と乗られる方との意識が乖離しているところもあるかもしれないので非常に難しいんですが、そこはちょっと行政としては取り組んでいきたいというふうには考えています。

以上です。

~~~~~○~~~~~
○総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

~~~~~○~~~~~
○委員（片川） 大変苦慮されとるんでしょうけど、住民第一義になってないんですね。

住民の生活に即した交通になっていない。行政としては、いろいろなところを鑑みた中では公共交通をまず第一に考えようと、広電ありきというところを実感しとるところなんですけど、高齢化してきて免許を手放される方が増えてくる、今後も増えるじゃろうと思うんです。広電は小さいところまで入られませんので、もっとおでかけ号を熊野町の住民がおられるところへ頻繁に回していただくようなことを将来的には考えていただかないと、広電の通る路線にまで行くのも大変な方もたくさんおられるんですね。

広電も赤字の中で逃げたい中を残してくれとるんでしょうけど、広電との掛け合いもあることではしょうけど、広電ありきで住民が第2番じゃ、なかなか住民の生活に即した路線いうものはできんのかなというのを常々感じとるところなんです。もうちょっと広電も主に置いときゃないけんのでしょうけど、住民を第一に考えて生活の利便性を考えて取り組んでいただきたいもんじゃいうのを、常日頃から思うとるんですがね。

どうしても広電を一番に置いて住民を第二番に置かないと、行政というのは執行できませんか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 岩田副町長。

~~~~~○~~~~~

○副町長（岩田） 御指摘ありがとうございます。やはり今から人が、今の状態はちょっと上向いてはいますけど、全体的にはやっぱり減るとというのが全国的な傾向なので、人が減っていくとやはり、バスに限らずですけど、収益が悪化して撤退していくというのが民間だと思うんです。そういうふうになることは十分頭に入れながら今、立地適正化にしても、地域公共交通にしても、どういうレベルまでに、生活環境が守られる、最低限の交通環境が守られる、維持できる規模はどんなもんだろうかということをつくっているのが今の計画ということです。

御承知のように、案内があったように今の広電の路線を維持したいと、それ以外にはおでかけ号でその空白地域を回っている。おでかけ号は御存じのようにデマンドのような形ではありませんので、全長ありませんから、やはり住民さんの一部の方には不便な方もいらっしゃるんですね。だから、今は公共交通と「おでかけ号」という、定時に車が回っていてみんながそれに合わせて乗るという交通を組み合わせ今やっていますが、将来的には交通弱者っていうんですかね、やはり高齢化して新たなデマンドのような交通が必要な地域が出てくるかもしれません。そのためにもやはり基礎となるのは公共交通なので、これがないと残り全部カバーするのを町でやるというのは不可能ですから、広電の維持というのは第一に考えたいと思っています。

ほかの業者のどこかという話もあったんですが、赤字路線のところに進出してくる業者はいませんので、そうするとやはりバスを利用の方が使える環境、例えば道路がバスに乗っても混まなくてずっと移動できるとか、交通の結節点がみんなの便利なところにあるとか、そういうようなことをしながら環境と整えながら、何とか公共交通への乗車率を維持していく、できればもうちょっと増やしたいという生活でございます。その他の交通も考えていかなくちゃいけないというのは、将来的には思っております。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

水原副委員長。

輪場の利用が多いところということで、広電のところと西防災のところ、それから、近くに防犯カメラがないということで阿戸別れのところ、この3カ所に絞らせていただきました。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

~~~~~○~~~~~

○副委員長（水原） ここにつけたというのは、そこでいろんな事件や何かが起きたいうか、そういうことがあっての設置ということなんですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 実際に今そういった事件が起きたというわけではなくて、駐輪場ですので自転車の盗難防止、それで道路とかが映っているということもありますので、警察のほうからの協力要請があれば、そのデータを警察のほうに提供するといった形で活用させていただきたいと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

~~~~~○~~~~~

○副委員長（水原） ありがとうございます。

それと次ですけど、126ページの人権問題啓発推進事業ですけれども、先ほど弁護士相談のことを言われとったんですけど、弁護士相談というのは月に1回の5名でしたかね。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 2カ月に1回で5名となっております。その月の前の月の20日ぐらいから予約を受けておりますが、もうその日の午前8時半から午前9時ぐらいまでにはもういっぱいになるというぐらいの勢いで予約が入っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

~~~~~○~~~~~

○副委員長（水原） そこなんです。僕、よくそれを聞かれるんですよ。もうちょっと弁護士相談の機会を増やせんもんかかと思ひまして、本当に相談したい人がその機に相談しようと思って、ちょっと忘れとって昼に電話したら「もういっばいです」って言われるんですよ。そういうところをもうちょっと何とかならんかなと思うんですけど。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 今のところ、月に2回でやらせてもらっておりまして、そういった方につきましては、法テラスとかそういったところがありますよという御紹介はさせていただきます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 水原副委員長。

~~~~~○~~~~~

○副委員長（水原） 法テラスというのは、無料で相談できる場所ですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） はい、そうでございます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（片川） 今の水原議員の質問の中であった防犯カメラ。以前、民法議員が防犯カメラの設置を促す質問をされたことがあったんですよ。そのときに、人権とプライバシーの問題から熊野町は設置しないという答弁だったんですよ。無論、あってしかりだとは思いますが、その質問の答弁からそういう認識で我々は来とるもんですから、い

きなりここでかじを変えられたのはどういう思いからでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 岩田副町長。

~~~~~○~~~~~

○副町長（岩田） 以前はそういうふうに執行部は答えていると思います。恐らく画像を持っておくというのは個人情報を保管するので、画像といえどもこれは非常に慎重に扱うべき案件ですと、その当時ですね。ですから、そういうことでその当時は考えていないと言ったんですが、御承知のようにこれは監視カメラではありませんので、念のために保存しておくカメラがあるということと、保存できる業者も、町の金銭的にもそれが耐え得るようなちゃんとセキュリティーがあるところで保管してもらえとか、そういうふうな準備ができたのと警察からの要請もあったし、方向転換をしたということでございます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 民法委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（民法） ちょっと要らんことを言うかも分かんませんが、92ページ、おでかけ号じゃなしにバス路線のことについてです。議長のほうから出るか思ったんですが、阿戸線委託料のバスの運転手のマナーが悪いという。この間、うちの議員も何名か乗って、新宮のほうの方も乗って、バスが古いのも分かるんですが、ちょっと運転手が荒ましないいうわさをよく聞くんで、乗っていただくのも大事なんですけど、そういったところをまあ要するに悪口になるっちゃ言うてええかどうかなんですけど、ちょっとそういった声を聞きましたので、そこら辺りをちょっと気をつけていただきたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 岩田副町長。

~~~~~○~~~~~

○副町長（岩田） 朝日交通の入った会議がございますので、まず担当レベルでちょっと緩やかに伝えて、すぐ社長にというのもあれなんで、担当課長が出てまいりますので、そういうことで伝えていきたいと思っております。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 民法委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（民法） よろしく申し上げます。

それとバスは、私は乗ったことはないんですが、時間表があるじゃないですか。時間表どおりにバスが行くのか、早い時間に通過したいというのも困りますし、何か運転手の荒ましないうんと、運転の仕方が悪いと。年寄りなんか乗ったら、特に運行中にけがなんかあったらいけないので、そこら辺りをよろしく願いいたします。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 中島委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（中島） 先ほどの水原議員、片川議員に関連しますけれども、重複して申し訳ありません。

防犯カメラのことなんですけど、以前に私が、いわゆる認知症の徘徊者の人を見つけるためにもぜひ設置くださいというのを質問したことがあります。そのときは却下されましたけれども、先ほどのように方向性が少し変わりつつある中で、今年度が3個ということですかね。以前はないんですよ。少し変わったのであれば、その利用目的をもう少し煮詰めながら、いろんな多岐にわたった利用ができるんじゃないかと思うんです。

ちょっと個人的で申し訳ないんですけど、私の家内がそういう状況になっていて、矢賀のほうでマックのカメラがあって、そこに女房が映っていて警察が見つけてくれたという事例があるんですけど、やっぱりこういったのは、先日来から認知の関係の話が出てますけど、積極的につけるべきではないかと思うんですね、そういうふうな方向を変えていくのであれば。その辺ほどのように考えておられるのかお聞きしたいんですが。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○総務建設分科会進行役（光本） 岩田副町長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○副町長（岩田） カメラの活用というのは、今のところは町は考えてはおりません。むしろカメラを設置したことによる効果のほうを期待して設置しているということで、それを使って行政が何かをするということは基本的にはなくて、先ほども言いましたが、きちっとした保管だけはしておいて、やはり必要なことが生じた場合に警察等への協力をすると、そういうことになろうかというふうには思います。

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

○生活環境課長（熊野） 県警独自のものはございません。

以上です。

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにはいいですか。

尺田委員。

○委員（尺田） バスのことではないんですけど、徴税費の関係になるのかな、12月に僕が一般質問したときに、銀行間同士の振替手数料が大幅に上がるという話があったと思うんですけども、どれくらい上がる見込みなのか、もし分かればお願いします。

○総務建設分科会進行役（光本） 岩田副町長。

○副町長（岩田） 銀行間の取引にお金がかかるから、利用するのに我々に求められてきたんですけども、これは各銀行によって自治体と今から契約をして振込手数料って決まっています。もちろん銀行間で調整もされると思うんですけども、今、我々が聞いている情報では、なかなか広銀さんなんかもそういう情報を出されないみたいで、いろんな町がいろんな金融機関を使っているのを探っているようですが、よく分かりませんが、言われているような内容を想定すると、大体来年10月からかかるので、250万円からちょっとそれを超えるぐらいかなというふうに、だから、1年にするとそれが倍ぐらいかかると、そんな感じ。今よりもです。

○総務建設分科会進行役（光本） 尺田委員。

○委員（尺田） この当初予算なんですけど、この中にそれも想定したものっていうのは入れとるんですかね。上がる見込みであろうということ。

○総務建設分科会進行役（光本） 西村総務部長。

○総務部長（西村） おっしゃるように、半年分は見込んでおります。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにはございませんか。

竹爪委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（竹爪） 107ページ、個人番号カードの件でございます。今、県内でトップですよ、このカードの取得率は。そして、この取得率もいいんですけど、いろんなことがひもづけられていっているかなとこれから思うんですけど、国民健康保険とかいろいろなものが今後、これから新年度に向かったときに、このひもづけはきちっといくものですか。僕も自分が国民健康保険なんですけど、別に医療機関がそんなことだけでもないんですけど、これはどんな感じで今後進めていくつもりなんですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 福嶋住民生活部次長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部次長（福嶋） マイナンバーカードなんですけれども、国民健康保険とのひもづけということでございますが、現在も保険証として使えるようにはなっておりますが、この市町村の役場でそれをひもづけるのではないので、こちらがどのぐらいのひもづけがあるとか、例えば問題があったときにうちのほうで対処できるかということではないので、先日もありましたのが、保険証をひもづけしたんですけども使えないから見てくれということではなりましたが、うちの窓口でひもづけたものではないので、ちょっと上のほうに調査をして回答するというような格好になっております。

今後のマイナンバーカードの利用というところなんですけれども、住民生活部の関連でいいますと今、マイナンバーカードを持ってコンビニとかで多機能端末で各種証明書が取られるようになっております。これが電子証明書、スマホのほうにマイナンバーカードと同じ電子証明というのをつけて、マイナンバーカードがなくても多機能端末でスマホだけで取られるようになったりとか、いろいろ用途が広がるようでございます。また、今言われたような運転免許証のひもづけとか。

ただ、いついつというような詳細なスケジュールはまだ決まっていなくて、今後そうなるであろうというところの部分だけでございます。ただ、コンビニの今の証明書に

については、今はアンドロイドだけで、i P h o n eの方は駄目なんですが対応しておりますので、その辺から徐々にできるようにはなってくると思われま

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 竹爪委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（竹爪） 今回、いろいろな形でマイナンバーを取っていただいたんですね、町もお願いして皆さんと。そしたら、「竹爪さん、どこで何を使えるん」と言われると、そういった部分でまだまだということがありまして、住民からすれば、せつかく持ったのに何を使えばいいと言われるわけですよ。また、その辺のことも窓口のほうで発信していただければありがたいなと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 暫時休憩いたします。再開は午後2時45分に再開いたします。

（休憩 14時30分）

（再開 14時45分）

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） それでは、分科会を再開いたします。

ほかに質疑はございますか。

（「質疑なし」の声あり）

○総務建設分科会進行役（光本） ないようでしたら、続きまして、衛生費と商工費の一部、消防費について説明をお願いいたします。

熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 156、157ページ下段の4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費から、164、165ページの3目出産・子育て応援支援交付金事業まで。これについては、後ほど健康福祉部から御説明いたします。

164、165ページをお願いいたします。164、165の下段から166、167ページにかけて、4目環境衛生費、環境衛生事業でございます。

この事業は、環境衛生活動を行う団体や浄化槽設備整備などに取り組む住民への支援、また、火葬場使用料の一部を助成することによって、環境衛生上の危害発生防止や公衆衛生の向上に努めることを目的とした経費を計上するもので、事業全体で2,920万3,000円、本年度より1万9,000円、0.1%の減となっております。減額の主な要因は、葬祭費補助金の減額によるものです。

主な事業費は、環境衛生活動を行う団体、葬祭費浄化槽設備整備などの各補助金でございます。財源の国県支出金308万3,000円は浄化槽設置整備事業交付金等で、その他192万8,000円は県の河川清掃等受託事業収入等でございます。

下段から168、169ページにかけまして、狂犬病予防事業でございます。

この事業は狂犬病の感染発生を防ぐため、飼い主の狂犬病予防注射の接種を促し接種率向上を図るとともに、野犬から狂犬病感染や人的被害防止に努め、安心して生活できる環境づくりに努めることを目的とした経費を計上するものです。事業全体で64万2,000円、本年度より7万5,000円、13.2%の増となっております。増額の主な要因は、犬の登録手数料等収納業務委託料の増額によるものです。

主な事業費は、実験管理システム利用の手数料31万5,000円でございます。その他の財源64万2,000円、犬の登録手数料等でございます。

中段、5目公害対策費、公害対策事業でございます。

この事業は、環境騒音等測定、大気簡易測定、河川水質調査などを行い、大気汚染、水質汚濁、騒音振動、悪臭等の公害抑制及び防止に努め、快適な環境づくりを行うものの経費を計上するもので、事業全体で619万8,000円、本年度より245万6,000円、65.6%の増となっております。増額の主な要因は、公用車購入に係る備品購入費の増額によるものです。

主な事業は、熊野町環境調査業務委託料でございます。それぞれの環境測定の箇所数は、環境騒音等測定が5カ所、大気簡易測定が2カ所、河川水質調査6カ所の調査を行うこととしております。財源の国県支出金9万2,000円は、騒音規制事務に係る県の事務委託金でございます。

続きまして、170、171ページをお願いします。2項清掃費、1目清掃総務費、清掃事務事業でございます。

この事業は、循環型社会形成の推進に係る事務経費を計上するもので、事業全体で71万2,000円、本年度より10万円、16.3%の増となっております。増額の主な

要因は、軽ダンプの車検による修繕費の増額によるものです。

続く、2目塵芥処理費、廃棄物収集運搬事業でございます。

この事業は、町内の家庭で発生するごみを適切に収集運搬する業務に必要な経費を計上するもので、事業全体で9,293万8,000円、本年度より336万1,000円、3.8%の増となっております。増額の主な要因は、廃棄物収集運搬業務委託料の増額によるものです。

主な事業は、ごみステーション整備事業補助金28万円のほか、収集運搬業務等の委託料やごみボックスの設置等の工事請負費でございます。財源の国県支出金220万7,000円は、廃棄物対策に係る県補助金、その他1,013万1,000円は、紙などの資源物売却益でございます。

続きまして、172、173ページをお願いします。

上段、廃棄物中間処理・最終処分事業でございます。

この事業は、熊野町から発生した一般廃棄物を業者委託によって適正に中間処理・最終処分を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るもので、事業全体で3億71万8,000円、本年度より4,652万9,000円、13.4%の減となっております。減額の主な要因は、広域ごみ焼却場安芸クリーンセンターの基幹改良工事に伴う地元対策費の負担の減額によるものです。

主な事業は、安芸地区広域ごみ焼却場事業負担金2億1,669万6,000円でございます。その他の財源703万3,000円は、安芸地区衛生施設管理組合の廃プラリサイクル補助金などでございます。

続いて、環境事務所維持管理事業でございます。

この事業は指定管理者に環境事務所の施設及び設備の維持管理、搬入された一般廃棄物の一時保管、廃棄物処理手数料の徴収などの業務を委託することにより、住民サービスの向上、経費の節減、効果的かつ効率的な運営を期待するとともに、廃棄物を衛生的かつ適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図り、循環型社会の構築を推進するもので、事業全体で2,039万5,000円、本年度と比べて214万7,000円、11.8%の増となっております。増額の主な要因は、環境事務所の指定管理料の増によるものでございます。

主な事業費は、環境事務所の指定管理委託料でございます。その他の財源279万7,000円は、資源物売却益などでございます。

続きまして、174、175ページをお願いします。

上段、3目し尿処理費、し尿処理事業でございます。

この事業は、広島市と安芸郡4町が安芸地区衛生施設管理組合でし尿及び浄化槽汚泥を共同で処理し、効率的な施設運営を図るもので、事業全体で7,615万6,000円、本年度より459万2,000円、6.4%の増となっております。増額の主な要因は、構成市町のし尿及び浄化槽使用人口の修正に伴い、分担金が増加となったことによるものでございます。

続きまして、3項上水道費、1目上水道費、上水道会計繰出金でございます。

これは、一般会計から水道事業へ繰り出す児童手当負担金81万8,000円でございます。

続く、5款農林水産費については、建設農林部から後ほど御説明いたします。

次に、少し飛びまして188、189ページをお願いします。

6款商工費、1項商工費、1目商工振興費、消費者啓発事業でございます。

この事業は、消費生活相談窓口において、消費生活に係るトラブルや特殊詐欺に関する相談に対する助言や、より専門的な機関の紹介等を実施するとともに、広報啓発活動を行うことにより被害の未然防止に努め、住民が安全安心して生活できる消費環境の推進を図るための経費を計上するもので、事業全体で190万9,000円、本年度より36万6,000円、23.7%の増となっております。増額の主な要因は、迷惑電話対策補助金の増額によるものでございます。

主な事業費は、消費生活相談員の報酬116万円でございます。財源の国県支出金25万円は広島県消費者行政活性化事業補助金でございます。

続く、7款土木費については、建設農林部から御説明いたします。

~~~~~〇~~~~~

〇防災安全課長（花岡） それでは少し飛びまして、218、219ページの下段から220、221ページをお願いいたします。

8款消防費、1項消防費、1目常備消防費、常備消防運営事務事業でございます。

この事業は、火災等の災害時における町民の生命、財産を保護するため、広島市への常備消防事務の委託に要する経費を計上しております。事業費全体で2億7,820万3,000円、本年度より1,122万9,000円、4.2%の増となっております。増額の主な要因は、広島市への消防事務委託料の増によるものです。

主な事業費は、広島市への消防事務の委託料でございます。その他の財源137万円は、行政財産目的外使用料1,000円と消防ヘリコプター運営助成金136万9,000円でございます。

続きまして、220ページ、221ページの中段から222ページ、223ページの上段にかけての、2目非常備消防費、消防団運営事業でございます。

この事業は、熊野町消防団の年間報酬、災害時の出動や災害を見据えた訓練実施への出動報酬、その他退職報償金などへの負担金を計上するので、事業全体で2,407万円、本年度より30万3,000円、1.2%の減となっております。減額の主な要因は、消防団員への消耗品費の調達の減によるものです。

主な事業費は、消防団員報酬608万4,000円、消防団員出動報酬625万1,000円、消防団員退職報償金400万円など、報償費403万1,000円、消防団の活動に必要な安全装備品の消耗品費234万3,000円、燃料費など事業費236万3,000円、消防団退職報償金負担金301万5,000円など、負担金補助および交付金が438万9,000円となっております。その他の財源400万円は、消防団員等公務災害補償等共済基金からの消防団員退職報償金でございます。

続いて、222、223ページの中ほど、3目消防施設費、消防水利・機械器具維持管理事業でございます。

この事業は、火災などの火災発生時に欠かすことのできない消防水利や消防用資機材の整備、維持管理に要する経費を計上するもので、事業全体で513万3,000円、本年度より559万4,000円、52.1%の減となっております。減の主な要因は、第9分団の消防積載車の調達の完了によるものです。

主な事業費は、消防積載車の車検や資機材等の修理のための修繕料129万3,000円など需用費151万2,000円、消火栓修繕・新設に係る負担金補助および交付金259万円でございます。

続きまして、222、223ページの下段から226、227ページにかけての4目水防費、災害予防及び応急対策事業でございます。

この事業は、豪雨、地震など各種災害に対する予防措置、被害の軽減及び応急避難対策などを目的とする経費を計上したものでございます。事業全体で5,837万5,000円、本年度より1,694万3,000円、40.9%の増となっております。増額の主な要因は、総合防災訓練の実施に伴う経費や広島県総合行政通信網再整備工事の負担

金の増額などがございます。

主な事業費は、会計年度任用職員2人分の報酬582万2,000円など報酬合計で595万9,000円、災害予防などに係る職員諸手当621万9,000円、会計年度任用職員期末勤勉手当203万3,000円、災害対応物資の購入等に係る消耗品費523万4,000円やハザードマップの増刷に要する印刷製本費が79万9,000円など、需用費合計で721万3,000円、防災行政無線保守点検業務などの委託料、熱処理のできる簡易トイレや防災用オストメイト専用トイレなど備品購入費175万4,000円、負担金補助および交付金では、広島県総合行政通信網再整備工事負担金958万7,000円、その他、広島県防災ヘリコプター負担金など合計で1,419万4,000円でございます。財源の地方債100万円は緊急防災・減災事業債で、その他2,376万9,000円は1,406万8,000円が筆の里づくり基金、残りの970万1,000円は広島県市町村振興協会からで、広島県防災ヘリコプター負担金、広島県総合行政通信網再整備事業費市町負担助成金、安全安心まちづくり事業助成金などがございます。

住民生活部の一般会計の説明は以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） それでは、146ページから175ページの衛生費、188ページ、189ページの商工費、商工振興費の一部と218ページから227ページの消防費について質疑を行います。

質疑はありますか。

沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 171ページの廃棄物収集運搬事業なんですけれども、議会答弁で、外国人の方に対してごみの出し方の一覧表に4カ国語ぐらいを掲載しようと考えているといった答弁があったと思うんですけど、今回配られたものを見ましたが、どこにも掲載されていないんですが、それについてちょっとお伺いします。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 実は今まだ作成中ございまして、でき上がりましたらホーム

ページ等で広報したいと思っております。

配布方法といたしましては、外国人を雇われている業者のほうにも御連絡させていただきまして必要部数をお渡しするとか、生活環境課のほうに来ていただければそれをお渡しするとか、そういった形でやろうと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

片川委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（片川） ちょっと勉強不足なんで教えてもたいたいんですが、173ページ、廃棄物中間処理・最終処分事業なんですけど、補助金で廃プラリサイクル補助金いうものがございましたが、これの詳細を教えてくださいまして、どういう性質のものなのか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 安芸地区衛生管理組合のほうに安芸郡4町とかが加わっておるんですけど、その中で本町だけ廃プラに関して収集をやっておりまして、それによってあそこの機械の修繕料がかからないというか、そういったことに関するもので、「安芸衛管」と呼んでおりますが、そこからのお金を頂いております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

ちょっと私のほうから質問。

173ページの今と同じ事業です。廃棄物中間処理・最終処分事業の負担金、秋クリーンセンターですね、一番下の負担金2億1,669万6,000円ですが、昨年より減額になっているという説明かと思いますが、算出方法についてお願いします。

熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 安芸クリーンセンターのほうで必要な経費を、安芸郡4町の人口割で割ったもので出ております。

以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） 人口割だけですか。

〇生活環境課長（熊野） 人口割だけです。

〇総務建設分科会進行役（光本） ごみの搬出量、各安芸郡4町と安芸区ですかね、その辺りは一切考慮されていないということですか。

熊野生活環境課長。

〇生活環境課長（熊野） そうでございます。

〇総務建設分科会進行役（光本） 分かりました。

それと、175ページのし尿処理事業です。構成市町の数値が修正されたということで、ちょっと詳しく説明をお願いします。

熊野生活環境課長。

〇生活環境課長（熊野） ちょっと数字的な詳しいものは持っていないんですけど、海田町のほうが下水道使用料、使用されている人口の見直しがありまして、それで本町とか残りの3町と安芸区の負担金が上がったというものでございます。

以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） 海田町が修正したということで、それぞれ本町も含めてということですね。ありがとうございました。

以上です。

片川委員。

〇委員（片川） 先ほどと同じページ、173ページです。環境事務所維持管理事業において279万7,000円、資源物の売却益から予算を組んであるんだろうと思うんですけど、これはどうなんですか、近年に比べて売却益いうものはこんなもんですか。

〇総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

〇生活環境課長（熊野） この事業とほかの事業にもこの売却益は充たっております。歳入といたしまして、令和6年度につきましては1,292万円の予算を組んでおります。以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

〇委員（片川） ほかの事業は何に充ててらっしゃるんですかね。

〇総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

〇生活環境課長（熊野） 収集運搬事業のほうにも充てております。以上です。

〇総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。
沖田委員。

〇委員（沖田） 167ページの狂犬病予防事業なんですけれども、町内で飼われている犬の登録数とこの狂犬病の予防接種をされている数を教えていただきたいんですけど。

〇総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

〇生活環境課長（熊野） 令和5年度でいいますと、登録数が1,255頭、接種が924頭、接種率が73.6%、今年度につきましてはまだ県の平均は出ておりませんが、令和4年度でいいますと県の平均は71.3%で、平均より少し上回っているというところでございます。

以上です。

○総務建設分科会進行役（光本） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） この接種されていない方がいらっしゃいますよね。つい昨年なんですけど、飼犬にかまれて、本人さんが大したことないと思って放ってたら、何か大ごとになってから大手術されたという方もいらっしゃるんですけど、意外と接種されていない方がいらっしゃるんですけど、そういった方たちに対する啓発みたいなことはされていないですかね。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 熊野生活環境課長。

~~~~~○~~~~~

○生活環境課長（熊野） 接種されていない方については催告を送って啓発するようにはしております。打っていない数もあるんですけど、その中には犬自体がすごく高齢でもう打てないという犬もいるので、その分ちょっと接種率が下がっている部分もあるんですけど、これは全国的にも同じことだと思うんですけど、そういった部分もあります。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 福垣内委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（福垣内） 221ページの消防団運営事業についてです。主に消防団というのは分団単位で活動されとってだと思えます。その分団は自治体単位を基本にされとってんじゃないかと思うんですけども、ある自治会は大きいと、また人数的に小さいところがある、けれども必ず15人ずつの定員がというのが一つのルールになつとると思うんですけど、それを守り続けようとする、極端な例ですけども、夜警と出初め式だけ出てくれればいからというようなことで人数集めになってしまうと、いざいざのときにけががあってもいけませんしということで、定員157人というものにこだわらずに、ある程度柔軟なことを今後も考えていただけたらと思うんですけど、そこら辺はどんなでしょう。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 花岡防災安全課長。

~~~~~○~~~~~

○防災安全課長（花岡） 今、消防団は町内に10分団ありまして、議員おっしゃっていただいたように各分団15人ずつ団員がおります。3月5日現在で定員が152名ということで5名、定員に達していないような状況がございまして、やはりなかなか集まりにくい状況が近年続いていると思います。

火災は年々、電化住宅とかそういう関係もあってか少なくなっているんですが、災害出動なんかがございまして、やはり今、消防団にお願いしているのは、5人一組の3班で運営していただくような格好で、ちょっと長期化もございましてそういう形でしておりますので、なかなか人数が集まらないという現状もあるんですが、私たち消防団を管理しているところからすれば、その15人は維持していけたらという思いで事務を進めております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 福垣内委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（福垣内） けががないように訓練に出ただいて、しっかりやっていただけたらと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

（「質疑なし」の声あり）

○総務建設分科会進行役（光本） ないようですので、次に特別会計に移りたいと思います。

福嶋住民生活部次長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部次長（福嶋） 国民健康保険事業特別会計について御説明をいたします。

国民健康保険事業は、制度改革により、平成30年度から県が財政運営の責任主体となり、新体制の運営になっております。被保険者数は2月末現在4,168人で、減少傾向が続いております。なお、これまで一般被保険者、退職被保険者等として被保険者の区分をしてきたところですが、退職者医療制度が令和6年4月1日で廃止され、国が予算科目におけるその区分をなくすこととされたため、本会計においてもなくしております。

ます。また、歳出の保険給付費の中で国民健康保険事業費納付金を計上しておりましたが、国の予算科目において款とされていることから、同様な取扱いに変更しております。

それでは、予算案のうち、主な内容について御説明をいたします。

まず、歳入ですが、10、11ページをお願いします。

1款国民健康保険税は現年課税分と滞納繰越分を計上しておりまして、その総額は、10ページの上段にございますよう3億7,832万円、本年度より708万6,000円、1.8%の減となっております。減額の主な要因は、被保険者の減等によるものでございます。なお、改定後の税率で算定をしております。

次に、12ページをお願いします。

3款県支出金、1項県補助金において、保険給付費等交付金は医療費等に充てる財源として交付されるもので、17億8,677万9,000円、本年度より9,187万3,000円、4.9%の減となっております。

続いて、下段から14、15ページにかけて、5款繰入金、1項他会計繰入金の一般会計繰入金でございますが、一般会計が収入する国庫負担金や地方交付税を特別会計に財源移転する、いわゆる法定繰入分が、説明欄に記載をしております保険基盤安定繰入金など区分1から7のうち、区分7のその他一般会計繰入金を除いた合計が1億2,215万6,000円、区分7のその他一般会計繰入金は法定外の任意の繰入金で、町の医療費助成事業の実施に伴う給付費増額相当分の保障措置としての財源とするもので473万7,000円、これら総額で1億2,689万3,000円、本年度よりも833万6,000円、6.2%の減となっております。

続く、2項基金繰入金では、財源不足を補填するため、国民健康保険財政調整基金を4,071万1,000円取り崩すこととしております。

次に、主な歳出でございます。

18、19ページをお願いします。

1款総務費、1項総務管理費は、被保険者の資格管理などを行う電算処理関連の経費などを計上する一般管理費と、被保険者数に応じ国保連合会の運営経費を負担する連合会負担金で構成し、総額1,511万7,000円、本年度より193万円、14.6%の増となっております。増額の主な要因は、会計年度任用職員に係る報酬等の増によるものです。

次の、20、21ページをお願いします。

2項徴税费、賦課徴収費、賦課徴収事業は、保険税の賦課徴収に伴う経費として、主に納税通知書などの郵送料や電算処理関連経費などで合計734万9,000円、本年度より145万1,000円、16.5%の減となっております。減額の主な要因は、本年度計上した特定健診事業等で活用する庁用自動車等備品購入費の減によるものでございます。

3項趣旨普及費は、国保制度を周知、説明するために被保険者などに配布する、国保のしおりの印刷製本費16万2,000円を計上しております。

以上、総務費は2,262万8,000円、本年度より45万6,000円、2.1%の増となっております。

続いて、下段から22、23ページにかけまして、2款保険給付費、1項療養諸費は、通院や入院に伴う医療費を医療機関に支払う療養給付費、柔道整復やコルセット等の治療用装具などの費用を給付する療養費及び国保連合会に支払う審査支払手数料で構成し、総額としまして15億1,165万2,000円、本年度より7,342万7,000円、4.6%の減となっております。

続く、2項高額療養費は、窓口での患者負担額について、一定の負担上限額を超えた場合に給付を行う高額療養費、健康保険と介護保険の両方に自己負担がある場合、その1年分を合算して一定の負担限度額を超えた場合に給付する高額介護合算療養費で構成し、総額2億500万3,000円、323万6,000円、1.5%の減となっております。

24、25ページをお願いします。

中段、4項出産・育児諸費は、出産・育児一時金として1件当たり50万円を給付するもので、国保連を通じて医療機関へ直接支払いを行うことから、国保連への支払手数料を含め、6人分300万2,000円を見込んでいます。

下段、5項葬祭諸費は、被保険者が死亡した場合、葬祭費として3万円を給付するもので、35人分105万円を見込んでいます。

次の、26、27ページをお願いします。

冒頭で説明させていただいたとおり、2款保険給付費の国民健康保険事業費納付金は廃目し、28、29ページにかけて、3款として国民健康保険事業費納付金を医療給付費分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分に分けて計上しており、この合計は5億6,544万1,000円、皆増となっておりますが、それぞれを比較しますと1,686万

8,000円、0.7%の増となっております。

続いて、4款保健事業費、1項特定健康診査等事業費は、40歳以上の被保険者に健康診査を実施し、併せて内臓脂肪症候群、いわゆるメタボリックシンドロームに該当する方などに保健指導を行うもので、主な経費として、栄養士報酬232万4,000円や健診等委託料など、総額で1,549万3,000円、本年度より395万1,000円、20.3%の減となっております。減額の主な要因は、特定健診等委託料の減によるものです。

続く、2項の保険事業費は、医療費通知に要する郵送料、後発医薬品差額通知作成業務に係る委託料など総額898万1,000円、本年度より480万2,000円、34.8%の減となっております。減額の主な要因は、本年度計上したデータヘルス計画策定のための委託料の減によるものです。

以上、保険事業費は2,447万4,000円、本年度より875万3,000円、26.3%の減となっております。こうした内訳により、歳入歳出合計額は23億3,805万5,000円、本年度より6,830万1,000円、2.8%の減となっております。

以上で、国民健康保険事業特別会計の説明を終わります。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ありがとうございます。

それでは、国民健康保険事業特別会計について、質疑を行います。

質疑はございますか。

沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 国民健康保険税の町民の負担が増えているんですけども、医療費を抑制するために熊野町だけで取り組んでも反映されるわけじゃなくて、県全体で医療費の抑制に取り組まないといけないということではないんですよね。それについて県で23市町、会議の中でこういったような意見が出ているのか、ちょっとお伺いしたいんですけど。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 福嶋住民生活部次長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部次長（福嶋） まず、国保の連携会議というものが年6回程度開催されまし

て、これは県と各市町が集まる会議でございます。その中で税率の話をさせていただいております。その中では、国保税を減らす取組としまして、県としては、全国知事会を通じて国のほうに負担を和らげるような措置をするように要望はしていると聞いております。

それと、内容にもあったんですけれども、各市町が行う医療費の通知でありますとか後発医薬品の普及、特定健診、特定保健指導の実施、あと、糖尿病性腎症重症化予防事業というのがありまして、糖尿病の重症化リスクの高い治療中断者について、受診勧奨を行うことで治療に結びつけて、治療中の方には通院先の医療機関の医師の指示に基づいた保健指導、これを行ってもらうことによって重症化予防を促進して、腎不全や人工透析への移行を抑制して医療費を抑えるとかというような内容の話をしております。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 熊野町だけが突出して使っているということではなくて、23市町がどこがどのぐらい使っているのか分からないんですけれども、そんなに差はないということですかね、医療費を使っている。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 福嶋住民生活部次長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部次長（福嶋） 県がこのたび、令和6年度の国保税を試算したところでは、県内の上昇率というのがありまして、三原が一番上昇率が低くて、福山が一番高いとか、大体熊野町は10番目ぐらいだったと思いますけれども。

上昇率はそうなんですけど、あと保険税必要額、こちらは県内23市町中、熊野町は9番目に高い数値でございました。全員協議会でも説明させていただいたんですが、4,000万円ほど基金を投入しまして、基金投入後の順位としては一番安くなる計算なんですけれども、ただ、今の段階では各市町がどのぐらい基金を投入されるかというのが分からなくて、うちのほうは4,000万円です今の県試算の段階では一番安く済んでいるんですが、各市町も基金を使って下げてくるとは思われます。基金投入後の順位としてはまだ出ていないので、そこは分からないところでございます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） ちょっと今の全体の話なんですけど、県が先端医療施設を駅のほうで整備されよりますが、町のほうには何か情報は入りよるんですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 西川住民生活部長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部長（西川） 特に入ってはおりません。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 多分熊野の人も随分利用するようなことになるだろうと思うし、やっぱり戦略的な医療改革、要は原爆症の人がどんどん減るわけですよ、今から。今まで広島市を含めて原爆のエリアは膨れ上がっておりまして、これは何か情報が欲しいですね。

やっぱり遠隔診療を受けて早めに対処できるような体制を、やっぱり県民の税金を使うわけですから、お願いできるチャンネルがないかなと思っておりませんが、ないですね。はい、じゃあ結構です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかによろしいですか。

（「質疑なし」の声あり）

○総務建設分科会進行役（光本） ないようですので、次に移りたいと思います。

続いて、後期高齢者医療特別会計について説明のほうをお願いします。

福嶋住民生活部次長。

~~~~~○~~~~~

○住民生活部次長（福嶋） 後期高齢者医療特別会計について御説明いたします。

後期高齢者医療制度は、強制加入となる75歳以上の方などを被保険者として、県内

の市町が設置した広域連合が保険者となり保険給付等を行う制度でございます。町は、広域連合が賦課した保険料を徴収するとともに、広域連合に対しその徴収した保険料などを納める保険料負担金、町が負担すべき療養給付費負担金及び事務費分布金を納付するほか、被保険者に対する窓口サービスを行っております。被保険者数は、2月末現在で5,284人、増加傾向は続いております。

それでは、予算案につきまして説明をさせていただきます。

まず、主な歳入ですが、10、11ページをお願いします。

1款後期高齢者医療保険料は、広域連合による試算値を基に合計で4億4,152万1,000円、本年度より5,923万8,000円、15.5%の増となっております。

3款繰入金、1項の一般会計繰入金でございますが、歳出の総務費や広域連合における事務費の財源とする事務費繰入金2,231万7,000円、療養給付費の一部を広域連合に法定負担する財源とする療養給付費繰入金4億832万3,000円、保険料軽減による減収分に充てる保険基盤安定繰入金を9,688万9,000円としております。こちらは、一般会計において県負担金として収入したのや地方交付税により措置されたものを特別会計に財源を移転するもので、総額5億2,752万9,000円、4,033万1,000円、8.3%の増となっております。増額の主な要因は、療養給付費繰入金2,875万5,000円、保険基盤安定繰入金1,100万6,000円の増によるものです。

次に、主な歳出でございます。

14、15ページをお願いいたします。

1款総務費、1項総務管理費では、納税通知書等の印刷に係る経費やクラウド利用料などの合計で263万円、本年度より30万1,000円、10.3%の減となっております。減額の主な要因は、特定健診データ連携に係る手数料の減額によるものです。

2項徴収費は、保険料納入通知書などの郵送料として、役務費合計75万1,000円などの計上により合計104万8,000円を計上し、総務費の合計で367万8,000円、本年度より30万円、7.5%の減となっております。

16、17ページをお願いします。

2款後期高齢者医療広域連合納付金は、広域連合の事務費を負担する事務費分布金、医療費の約8%に相当する額を町が広域連合に法定負担する療養給付費負担金や、徴収した保険料等を納める保険料等負担金などで、総額9億6,542万2,000円、本年

度より9,986万9,000円、11.5%の増となっております。増額の主な要因は、被保険者数及び医療費の増加に伴うものでございます。

こうした内訳により、歳入歳出の合計は9億7,010万1,000円、本年度より9,956万9,000円、11.4%の増となっております。

以上で、後期高齢者医療特別会計の説明を終わります。

~~~~~〇~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ありがとうございます。

それでは、後期高齢者医療特別会計について質疑に移ります。

質疑はございますか。

（「質疑なし」の声あり）

○総務建設分科会進行役（光本） ないようですので、特別会計の質疑を閉めます。

以上で、住民生活部門についての説明、質疑が終わりました。どうもお疲れさまでした。

続いて、建設農林部門へ移りたいと思います。

執行部の入替えのために、暫時休憩を取ります。15分休憩します。午後3時55分に再開いたします。

（休憩 15時36分）

（再開 15時52分）

○総務建設分科会進行役（光本） ちょっと早いんですが、そろいましたので、休憩前に引き続き分科会を再開します。

委員の方をお願いをします。

議会だより用の写真を1枚撮らせていただこうと思いますので、後ろから今、全景を。何枚かええ写真を撮ってもらうということで、その辺り、委員の皆様御了承ください。

それでは続きまして、建設農林部門といたしまして、農林水産業費、土木費、災害復旧費について説明をお願いいたします。

中原農林緑地課長。

~~~~~〇~~~~~

○農林緑地課長（中原） 建設農林部の予算説明に関しまして、紙ベースで資料として予算特別委員会資料をお配りしていますので、この資料も御参考にしてください。

それでは、予算書の174ページ、175ページを御覧ください。

5款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費、農業委員会でございます。

この事業は、熊野町農業委員会に関する経費を計上するもので、事業全体で675万4,000円、本年度より12万8,000円、1.9%の増となっております。増額の主な要因は、会計年度任用職員の人件費の増でございます。歳入の国県支出金112万円は機構集積支援事業補助金、その他6万5,000円は、農業者で年金業務委託手数料4万4,000円などでございます。

主な事業費は、会計年度任用職員の報酬181万7,000円、農業委員と農地利用最適化推進委員14人の報酬192万3,000円でございます。

続きまして176ページ、177ページを御覧ください。

下段の2目農業総務費、農業啓発推進事業でございます。

この事業は、農産物の生産実態を住民に深く認識していただき、地域農業の発展と生産意欲の高揚を図り、生産者と消費者の親睦を図ることを目的に行う農業祭の開催に係る経費を計上するもので、事業全体で80万1,000円、本年度と同額でございます。

主な事業費は、農業祭実行委員会補助金40万円でございます。

続きまして、178ページ、179ページを御覧ください。

中段の3目農業振興費、農業振興対策事業でございます。

この事業は、農業振興に係る事務全般の経費を計上するもので、事業全体で201万8,000円、本年度より44万6,000円、18.1%の減でございます。減額の主な要因は、今年度予算計上していましたが、農林・漁業振興事業補助金の皆減によるものでございます。歳入の国県支出金119万7,000円は、農業再生協議会交付金90万、生産調整推進対策事業費補助金29万7,000円でございます。

主な事業費は、農業生産行政協力員9人の報奨金60万2,000円、農業再生協議会交付金90万円、各種協議会負担金及び補助金など25万5,000円でございます。

続きまして、下段を御覧ください。

鳥獣被害防止対策事業でございます。

この事業は、農産物に被害を及ぼすイノシシなどの有害鳥獣の駆除及び防除を目的とし、その被害防止に係る経費を計上するもので、事業全体で499万2,000円、本年度より5,000円、0.1%の減でございます。減額の主な要因は、本年度の実績により捕獲見込み頭数を減じたことによるものでございます。歳入の国県支出金40万3,000円は鳥獣被害防止総合対策交付金で、その他2,000円は長寿使用許可書交付

手数料でございます。

主な事業費は、鳥獣被害対策実施隊員報酬 28 万円、有害鳥獣捕獲報奨金 199 万円、有害鳥獣駆除班補助金 31 万 5,000 円、有害獣防除用施設設置事業補助金 50 万円、有害鳥獣駆除対策協議会補助金 60 万円などでございます。

続きまして、4 目農地費、農業基盤整備事業でございます。

この事業は、農業基盤の保全を図るため、農業用施設の維持補修を行うもので、事業全体で 2,545 万 6,000 円、本年度より 362 万 2,000 円、12.5%の減でございます。減額の主な要因は、農道の舗装・新設・修繕工事やため池廃止に伴う下流水路整備などの工事請負費の減によるものでございます。歳入の国県支出金 100 万円はため池緊急整備事業費補助金で、地方債は 1,560 万円、その他は受益者分担金 79 万 2,000 円でございます。

主な事業費は、町内一円の農業用施設の維持修繕や被災防止のための工事請負費でございます。

続きまして、182 ページ、183 ページを御覧ください。

2 項林業費、1 目林業振興費、林業振興対策事業でございます。

この事業は、広島県の森づくり事業交付金を活用し、里山の荒廃を防いで、自然環境及び景観の保全を図るための経費を計上するもので、事業全体で 374 万 4,000 円、本年度より 63 万 6,000 円、14.5%の減となっております。減額の主な要因は、今年度安芸郡 4 町で実施した、「ひろしま「山の日」県民の集い」開催に伴う実行委員会への負担金の減でございます。歳入の国県支出金 320 万円は、広島県の森づくり事業交付金でございます。

主な事業費は、広島県の森づくり事業交付金を活用し、神田地区、川澄地区の里山林整備を行う委託料でございます。

続きまして、上段の小規模崩壊地復旧事業でございます。

資料では、13 ページから 15 ページとなります。

この事業は、県が施行した治山堰堤事業箇所の下流部において水路整備を実施するもので、事業費全体で 4,065 万 4,000 円、本年度より 712 万 6,000 円、14.9 ページの減でございます。歳入の国県支出金 2,000 万円は小規模崩壊地復旧事業補助金で、地方債は 2,000 万円でございます。

主な事業費は、平成 30 年 7 月豪雨により被災した城之堀地区 1 カ所で、土砂災害防

止対策の水路整備を行うものでございます。

続きまして、中段の林道維持管理事業でございます。

この事業は、林道施設の利用者の安全を確保するため維持補修等を実施するもので、事業全体で660万円、本年度より385万4,000円、140.3%の増となっております。増額の主な要因は、林道串掛線の舗装修繕を実施することなどによるものでございます。歳入の地方債は300万円でございます。

主な事業費は、維持修繕の工事請負費でございます。

続きまして、186ページ、187ページを御覧ください。

上段の緑地管理事業でございます。

この事業は、熊野団地等の緑地管理をするもので、事業全体で446万円、本年度より63万円、16.4%の増となっております。増額の主な要因は、町が管理する緑地の維持管理に係る工事請負費の増によるものでございます。

○建設農林部次長（宗像） 次に、少し飛びまして192ページ、193ページ下段から、194ページ、195ページを御覧ください。7款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費、道路管理事務事業でございます。

この事業は、道路・河川の管理や占用物件の許認可、官民境界の画定事務を行うもので、事業全体で352万4,000円、本年度より14万1,000円、4.2%の増となっております。増額の主な要因は、道路台帳管理等業務に伴う委託料の増によるものでございます。

続きまして、御覧のページ下段から196ページ、197ページを御覧ください。2項道路橋梁費、1目道路橋梁総務費の県道事業及び土木一般事業でございます。

この事業は、県が施行した県単独事業に係る事業負担金や、権限委譲された県道3路線と急傾斜地崩壊防止施設の維持管理を行うための経費等を計上するもので、事業全体で2,836万9,000円、本年度より1,100万円、63.3%の増となっております。増額の主な要因は、県道矢野安浦線バイパス事業、県道瀬野呉線バイパス事業などの事業進捗に応じて、県単独事業費に係る負担金が増となるものでございます。歳入の国県支出金1,099万1,000円は、県の分権改革推進移譲事務交付金でございます。

主な事業費は、県営道路等改良事業負担金1,600万円、県道維持修繕に係る委託料及び工事請負費でございます。

次に、道路維持管理事業でございます。

御覧のページから198ページ、199ページを御覧ください。資料では9ページに繰越し分を掲載しております。

この事業は、日常的な道路の維持管理を行うもので、事業費全体で1億1,786万1,000円で、本年度より2,302万円、16.3%の減となっております。減額の主な要因は、事業進捗に伴う委託料、工事請負費及び公有財産購入費の減によるものでございます。歳入の地方債が9,020万円、その他612万3,000円は、道路占用料557万9,000円、水道工事復旧負担金50万円、会計年度任用職員等社会保険料納付金3万5,000円などがございます。

主な事業費は、会計年度任用職員2名の報酬433万8,000円、道路照明の電気料など光熱水費168万円、町道の維持管理に係る委託料及び工事請負費でございます。

次に、3目道路新設改良費、町道局部改良事業でございます。

御覧のページ下段から200ページ、201ページを御覧ください。

この事業は、主に町道の局部的な改良等を実施するものでございます。事業全体で2,115万円で、本年度より3,015万円、58.8%の減となっております。減額の主な要因は、本年本年度に比べ、物件移転補償費を計上したものの、各事業の事業進度に応じて、工事請負費及び測量設計業務委託料などが減となったことによるものでございます。

主な事業費は、土地鑑定のための手数料180万円、調査測量設計業務委託料と工事請負費でございます。

続きまして、道路新設改良事務事業でございます。

この事業は、町道の新設、改良に伴う事務的経費を計上するもので、事業全体で556万1,000円、本年度より194万7,000円、53.9%の増となっております。増額の主な要因は、図面作成ソフト更新の委託料、車両購入のための備品購入費を計上したことによるものでございます。

主な事業費は、車両購入のための機械器具費176万6,000円と、積算単価データ提供に係る県土木協会負担金105万6,000円でございます。

続きまして、町道稲垣線改良事業でございます。

御覧のページ下段から202ページ、203ページを御覧ください。

この事業は、川角地区の通学路線について狭隘の区間の一部を拡幅改良し、通学路の安全性の向上と道路利用者の円滑な交通を図るものでございます。事業全体で900万

円皆増となっております。歳入の国県支出金440万円は国庫交付金で、地方債は320万円でございます。

主な事業費は、調査測量設計業務委託料でございます。

続きまして、町道呉萩線（呉地・萩原工区）改良事業でございます。

資料では2ページになります。

この事業は、呉地地区と萩原地区を結ぶ通学路線について、狭隘な区間の一部を拡幅改良し、通学路の安全性の向上と、道路利用者の円滑な交通を図るものでございます。事業全体で1,537万円、本年度より137万円、9.8%の増となっております。増額の主な要因は、呉地工区の道路改良工事は完了したものの、萩原工区の調査測量設計業務の委託料及び基金で取得した用地の買い戻しのための公有財産購入費を計上したことによるものでございます。歳入の国県支出金790万3,000円は国庫交付金で、地方債は580万円でございます。

主な事業費は、調査測量設計業務委託料と用地購入費670万円でございます。

続きまして、町道城之堀線改良事業でございます。

資料では3ページ、4ページになります。

この事業は、中溝地区と初神地区を結ぶ通学路線について、狭隘な区間の一部を拡幅改良し、通学路の安全性の向上と道路利用者の円滑な交通を図るものでございます。事業全体で2,940万円、本年度より1,640万円、126.2%の増となっております。増額の主な要因は、事業進捗に伴い、工事実施に係る所要額及び基金で取得した用地の買い戻しのための公有財産購入費を計上したことによるものでございます。歳入の国県支出金1,386万円は国庫交付金で、地方債は1,020万円でございます。主な事業費は、工事請負費と公有財産購入費310万円でございます。

続きまして、町道萩城中央線改良事業でございます。

この事業は、萩原地区と城之堀地区を結ぶ通学路線について、狭隘の区間の一部を拡幅改良し、通学路の安全性の向上と道路利用者の円滑な交通を図るものでございます。事業全体で670万円、本年度より630万円、48.5%の減となっております。減額の主な要因は、事業進捗に伴うものでございます。歳入の国県支出金368万5,000円は国庫交付金で、地方債は270万円でございます。

主な事業費は、用地購入費670万円でございます。

続きまして、町道昭和線改良事業でございます。

御覧のページ下段から 204 ページ、205 ページを御覧ください。資料では 5 ページになります。

この事業は、主要な町道である昭和線の中溝地区において、狭隘な区間の一部を拡幅改良し、通学路の安全性の向上と道路利用者の円滑な交通を図るものでございます。事業全体で 1,100 万円、皆増となっております。歳入の国県支出金 572 万円は国庫交付金で、地方債は 420 万円でございます。

主な事業費は、調査測量設計業務委託料と物件移転補償費 800 万円でございます。

続きまして、避難路整備事業でございます。

資料では、10 ページに繰越し分を掲載しております。

この事業は、災害等の緊急時に、住民が安全かつ安心して避難ができる道路の整備を行うものでございます。事業全体で 840 万円、本年度より 240 万円、40%の増となっております。増額の主な要因は、事業進捗に伴う所要額の増によるもので、本年度からの繰越予算と合わせて事業を実施してまいります。歳入の国県支出金 250 万円は国庫交付金で、地方債は 220 万円でございます。

主な事業費は、調査測量設計業務委託料と用地購入費 300 万円でございます。

続きまして、町道萩原線新設事業でございます。

資料では 6 ページになります。

この事業は、町道新設事業として、県道矢野安浦線バイパスと現道の阿戸別れの交差点との接続道路を整備し、町内の広域交通ネットワークを構築するものでございます。事業全体で 2,200 万円、本年度より 500 万円、18.5%の減となっております。減額の主な要因は、事業進捗に伴う所要額の減によるものでございます。歳入の国県支出金 1,000 万円は国庫交付金で、地方債は 900 万円でございます。

主な事業費は、調査測量設計業務委託料でございます。

続きまして、4 目橋梁維持費（国庫橋梁維持修繕事業）でございます。

御覧のページから 206 ページ、207 ページを御覧ください。資料では 7 ページ、8 ページになります。

この事業は、橋梁点検結果に基づき、早期に措置が必要と診断された橋梁の補修工事を実施するものでございます。事業全体で 2,000 万円、本年度より 900 万円、81.8%の増となっております。増額の主な要因は、補修対象となる橋梁の工事に係る所要額が増となるものでございます。歳入の国県支出金 990 万円は国庫補助金で、地

方債は720万円でございます。

主な事業費は、工事請負費でございます。

続きまして、3項河川費、1目河川管理費、町内普通河川改修事業でございます。

資料では、11ページに繰越し分を掲載しております。

この事業は、町内の普通河川を適正に管理し、地域住民の安全を確保することを目的として、河川の維持修繕や改修、浚渫等を実施するものでございます。事業全体で3,700万円、本年度より600万円、14%の減となっております。減額の主な要因は、事業進捗に伴う所要額の減によるものでございます。歳入の地方債は3,500万円でございます。

主な事業費は、調査測量設計業務委託料と工事請負費でございます。

~~~~~○~~~~~

○都市整備課長（渡部） 続きまして、206ページ、207ページを御覧ください。

下段から次ページにかけまして、4項都市計画費、1目都市計画総務費、都市計画一般事業でございます。

この事業は、都市計画審議会等に関する事務や各種協議会への負担金を計上するもので、事業全体で721万2,000円、本年度より1,089万3,000円、60.2%の減となっております。減額の主な要因は、立地適正化計画の策定が完了することによる委託料の減によるものでございます。歳入のその他76万5,000円は、屋外広告物許可手数料75万2,000円などによる雑収入等でございます。

主な事業費は、今年度策定が完了する立地適正化計画に基づき、公共交通拠点整備に関する基本構想を検討する立地適正化計画推進事業などの委託料429万5,000円と、土地情報管理システム等に係る使用料及び賃借料185万4,000円でございます。

次に、208ページ、209ページを御覧ください。下段から次ページにかけまして、建築開発一般事業でございます。

この事業は、都市計画法や国土利用計画法等に基づく許認可事務の進達・営繕事務に係る経費を計上するもので、事業全体で1,120万1,000円、本年度より168万円、17.6%の増となっております。増額の主な要因は、木造住宅の耐震化を促進するため、来年度より実施します木造住宅耐震改修費補助金による増でございます。歳入の国県支出金209万1,000円は、国の住宅建築物安全ストック形成事業補助金1

63万9,000円、木造住宅耐震改修事業費補助金25万円、建築物土砂災害対策改修促進事業費補助金19万円、本年度9月に県から権限移譲を受けた盛土対策規制法による宅地造成許可申請手数料19万円で、その他の2万7,000円は会計年度任用職員の社会保険料納付金等でございます。

主な事業費は、会計年度任用職員の報酬309万9,000円、コンクリートブロック塀除去補助金等の負担金補助及び交付金344万4,000円でございます。

次に、210ページ、211ページを御覧ください。

下段、子育て世代「住むならくまの」応援事業でございます。

この事業は、子育て世代の定住を促進し、人口の維持、地域の活性化を図るため、住宅を新築または中古住宅を購入する際の支援措置として、助成金を交付する事業でございます。事業費は、子育て世代「住むならくまの」応援助成金の1,800万円で、本年度より300万円、20%の増となっております。増額の主な要因は、直近2年間の実績値を見込んだ増でございます。

次に、212ページ、213ページを御覧ください。

上段、2目公園費、都市公園緑地管理事業でございます。

この事業は、公園緑地の適切な維持管理に係る経費を計上するもので、事業全体で1,679万8,000円、本年度より466万1,000円、21.7%の減となっております。減額の主な要因は、平成30年災害で被災していた品長山公園修繕工事及び公園灯LED改修工事等が完了したことによる工事請負費の減によるものでございます。歳入の地方債は310万円、その他6万4,000円は行政財産目的外使用料でございます。

主な事業費は、公園緑地の維持管理業務等に係る委託料と公園敷地の土地借上料153万3,000円、公園の維持修繕のための工事請負費でございます。

次に、214ページ、215ページを御覧ください。

上段の深原地区公園管理運営事業でございます。

この事業は、深原地区公園の管理運営を指定管理者のNPO法人きらら会に委託するための費用及び公園の維持修繕工事費を計上するもので、事業全体で794万3,000円、本年度より70万円、9.7%の増となっております。増額の主な要因は、深原グランド周辺の公園灯をLEDに改修する工事請負費の増によるものでございます。歳入の地方債は180万円で、その他16万8,000円は自動販売機設置負担金でござ

います。

次に、中段、筆の里公房周辺整備事業でございます。

この事業は、観光交流拠点公園を整備することで、交流人口の拡大、地域活力の向上を図るもので、事業全体で3億8,450万円のうち1億円が都市整備課の工事請負費で、本年度より2,100万円、26.6%の増となっております。歳入の国県支出金1億9,000万円のうち、都市計画課所管は5,000万円で、地方債は1億7,100万円のうち4,500万円でございます。

主な事業費は、公園内の調整池整備工事の工事請負費でございます。

なお、公園整備に関わる全体計画につきましては、現在設計を進めており、令和6年5月の全員協議会でお示しさせていただきたいと思っております。

下段、3目公共下水道費、下水道事業繰出金でございます。

この事業は、一般会計から下水道事業会計への繰出金を計上するもので、事業費は2億2,690万円、本年度より1億973万2,000円、32.6%の減となっております。

次に、216ページ、217ページを御覧ください。

上段、5項住宅費、1目住宅管理費、町営住宅管理事業でございます。

この事業は、町内の公営住宅6団地52戸の維持管理を行うもので、事業全体で4,218万2,000円、本年度より1,750万9,000円、71%の増となっております。増額の主な要因は、長寿命化計画に基づき重地住宅2号館の外壁、屋上防水改修工事に係る工事請負費の増によるものでございます。歳入の国県支出金1,438万1,000円は、外壁、屋上防水改修工事に係る国庫補助金で、その他1,206万1,000円は、主に家賃収入でございます。

多くの主な事業費は、施設の保守点検や維持管理に関する委託料と土地借上料284万9,000円、重地住宅2号館の外壁、屋上防水改修工事の工事請負費でございます。

次に、218ページ、219ページを御覧ください。

上段、コーポラス熊野管理事業でございます。

この事業は、コーポラス熊野住宅39戸の維持管理を行う事業で、事業全体で655万6,000円、本年度より89万円、12%の減となっております。歳入のその他755万6,000円は、主にコーポラス熊野及び駐車場の使用料でございます。

主な事業費は、維持補修に関する修繕料110万円と1号館の雨水樋改修工事に係

る工事請負費でございます。

~~~~~〇~~~~~

○農林緑地課長（中原） 続いて、226ページ下段からの教育費は、教育部から後ほど説明をいたします。

ページが飛びまして、272ページ、273ページを御覧ください。

下段の10款災害復旧費、1項農林水産施設災害復旧費、1目元年度高地災害復旧費、農地及び農業用施設災害復旧事業でございます。

この事業は、新たに災害が発生した場合に備え、費目をあらかじめ設けております。

~~~~~〇~~~~~

○建設農林部次長（宗像） 次に、274ページ、275ページを御覧ください。

上段、2款土木施設災害復旧費、1目現年度土木災害復旧費、公共土木施設災害復旧事業でございます。

この事業は、新たに災害が発生した場合に備え、費目をあらかじめ設けております。

一般会計予算案の説明は以上でございます。

~~~~~〇~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ありがとうございます。

それでは、174ページから187ページの農林水産業費、192ページから219ページまでの土木費、272ページから275ページまでの災害復旧費について、これより質疑を行います。

質疑はございますか。

大瀬戸委員。

○委員（大瀬戸）

~~~~~〇~~~~~

○委員（大瀬戸） 205ページの町道萩原線新設事業です。前にも説明を受けたと思うんですけど、県道を今後突き抜けるために、町道という形で阿戸別れの交差点のところにつなぐというふうな説明を受けましたが、これ実際予算化されておるんですが、県道バイパスの進捗状況と連動しておるはずなんですけど、その辺の県道の状況と、それに合わせていつ頃にどの程度の規模で、あるいは実際問題、工事費がどのぐらいでというのが分かっているということなんだと思います。時期的なものと同規模のものを教えてもらいたいと思います。

は東に延びるということになろうかと思えます。県道でこれに接続してもらったら、県道が完了してしまうおそれもあるという点も考えております。県のほうも認識的には、工区がめどがついた段階では、東方面へも思いを持っていただいております。認識しております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 大瀬戸委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（大瀬戸） あまり突っ込みませんが、今回の予算では設計で国から1,000万円出ているということのようですが、これ実際工事をするとどのぐらいの割合で町負担になるのでしょうか。割合でいいですよ。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 宗像建設農林部次長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部次長（宗像） 国費は50%が充てられるというふうに見込んでおります。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

片川委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（片川） 今、バイパスの話が出ったんで、町自体でできることじゃないんでしょう、県のあれですが、今、バイパス沿いの歩道が非常に悪いんですね。歩かれたことはありますか。全体的に悪いんですが、特にこの役場のポリ署の前から阿戸別れまでの歩道というのは、ちょっと足の悪い人、我々も含めてこのぐらいの年になると、ちょっとどうとすればけつまずくような歩道になっちゃりますよね。この辺に関して町のほうは関心ありますか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 堂森建設農林部長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部長（堂森） 現道の歩道が狭く、なおかつ、上がったたり下がったりという形

になっておるといふ状況については承知しております。県道なのでお願いをしていく部分もあるんですけども、この件でいいますと、今おっしゃいました区間で、町民会館入り口交差点について、令和6年度に東方面に向けての右折ラインを増設していただくことが決まっております。これも用地購入もされたというようにお伺いしておりますので、来年度は工事が入るものと認識しております。その中で、交差点部分にはなりませんけれども、歩道の拡幅も含めた改良をしていただいております。そういった形のものをお聞きしていますので、その他の部分についてもそういった働きかけというのはやっていきたいとは思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（片川） 拡幅もありがたい、全体的に拡幅ということも希望するんですが、拡幅はなかなか難しいじゃろう思うんですね、屋敷のことがございますので。

ただ、今、部長が高低があるとおっしゃった、高低だけならいいんですが、道のほうへ傾いたり、反対へ傾いたり、歩くのに非常に物騒なんですね。それで結構交通量が多いもんですから、せめて平らにさせていただいて、進入路があるもんで下がったり上がったりは仕様がなと思うんですけど、ちょっと県のほうに要望していただきたいと思えます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 堂森建設農林部長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部長（堂森） これにつきましては、維持も含めて、これまでも要は坂路として歩道自体まで斜めになっておったところが、今は使われていないとかいったところも発生しておりますので、そうした部分の安全確保ということで部分部分では手を入れていただいておりますので、今後も注視しながらそういったものを進めていきたいというように思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

○総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

~~~~~○~~~~~
○委員（片川） 箇所と例年比べての予算規模です。何カ所かと。

明日でも資料を出していただけますか。

~~~~~○~~~~~
○総務建設分科会進行役（光本） 堂森建設農林部長。

~~~~~○~~~~~
○建設農林部長（堂森） 改めまして浚渫の箇所とあれにつきましては提示させていただきます。

~~~~~○~~~~~
○総務建設分科会進行役（光本） じゃあ、部長、よろしくお願いします。

ほかにございますか。

荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~
○委員（荒瀧） 215ページです。今朝、工房の周辺を見てこようと思ひよったんですが、少し前に堰堤の工事用の仮設道路ができております。これは今どういう状態にございますか。

~~~~~○~~~~~
○総務建設分科会進行役（光本） 渡部都市整備課長。

~~~~~○~~~~~
○都市整備課長（渡部） 今の堰堤工事で使われておりまして、間もなく終わるというところで、終わった後は、必要ない部分に関しましては土のほうを撤去させていただきまして堰堤工事が終わるというようになっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~
○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~
○委員（荒瀧） 道路ですから、ある意味ではダムの状態なんですね。上と下の工房が道路でダムを造ったような状態なんですよ。去年はあまり雨が降らんかったからえかったんですが、かなり雨が降った場合はあっこにダムみたいに水がたまりまして、それがま

た決壊するという可能性も出ますので、これは安全対策が大事だろうと思うんです。この辺りは県との協定ですから、やっぱり県との協働、協調が要るんだろうと思うんですけれども、ぜひ安全対策を。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 渡部都市整備課長。

~~~~~○~~~~~

○都市整備課長（渡部） 仮設道路をしたときに水処理をしておりますので、水はたまらない状態になっております。しまいについても、間違いなく水がたまらないように施工していただくように注意して見に行きたいと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 入念には入念に。明日の総括質問でやりますけれども、本体までめげたということになると手も足も出んようになりますので、ぜひぜひ県の高度な技術と連携していただきたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

中島委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（中島） ちょっと1点確認させてください。この資料のところの避難路のがありますね。これだけですか、令和6年。平谷はないですか。平谷の避難路はどうなっていますか。この前も地域懇談会でも出たと思いますけれども。費用が立つことはないですか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 堂森建設農林部長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部長（堂森） 平谷の避難路につきましては、測量が今年度で終わる予定であります。筆界未定の課題を抱えておりますので、その辺りが来年度中頃にははっきりするので、法務局の関係がありますので、地権者の方の同意という部分は全て取れておる

んですけれども、登記にちょっと課題を持っておりますので、その辺りが来年度中頃にははっきりするかと思っております。そういった形で登記のほうができるようであれば、これはまた基金のほうで先行取得をして、次年度で工事をしていくとい形になろうかと考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 中島委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（中島） 話によると、あの地域の方々は一応立会いも全て終えて、立会もしたというふうなことを聞いております。ということは、もうあとはそういった事務手続きといえますか、そういったものなんだろうと思うんですけれども、何がネックになっておるのかなという気がしますが、どうでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 堂森建設農林部長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部長（堂森） 今回の事業地は土地の一部なんですけれども、大きな土地がございまして、そちらが実は筆界未定の土地を含んだ事業地でございます。その中で筆界未定の解除について法務局のほうに申し入れるんですけれども、その事務過程でちょっと課題を持っておりますので、その辺りは法務局との調整がかかりますので、その辺りをちょっと今順番に行うというような状況でございます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 中島委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（中島） できるだけ早く、来年の半ば以降にということになると、計画から5年ぐらい経過するかなという気がしますが、待ち過ぎじゃないかと思うんですが、どうでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 三村町長。

~~~~~○~~~~~

○町長（三村） 御迷惑をかけております。もう筆界未定が存在するのは分かっておるこ

となんで、もう令和6年度に登記が切れなければ断念します、これは。幾ら延ばしても仕様がないうで。

というのは、事務的にどうのこうの言いますが、要は法務局の登記課、これが担当によって解釈がえらい違うんです。だから、この話が出たときの法務局の担当官からはオーケーが出てたんですが、今の担当官に替わりまして、恐らく定年か何かだと思ってるんですが、そこらの事情は分かりませんが、解釈が変わりましてイエス・ノーという意思表示をしたものですから、それで今、事務がこの1年間、何だかんだ言って止まった状態でございます。

どっちにしてももうこれ以上延ばすわけにはいきませんので、けりをつけるように図ってまいりますので、よろしいでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 中島委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（中島） いろいろ大変でしょうが、ぜひともよろしく願いたします。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございますか。

（「質疑なし」の声あり）

○総務建設分科会進行役（光本） ないようですので暫時休憩に入ろうと思いますが、本日はこれまでとしまして、再開は明日の午前9時半からということにさせていただきます。

先ほど片川委員から出ました資料ですね、できましたら明日、午前9時半の開会のときに冒頭でお願いしたいと思っております。よろしく願いたします。

それでは、本日はこれまでとします。

再開は明日の午前9時半です。よろしく願いたします。お疲れさまでした。

（散会 16時50分）

令和6年 予算特別委員会 総務建設分科会

(会議録 第3号)

1. 招集年月日 令和6年3月8日

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和6年3月6日

~~~~~○~~~~~

4. 出席委員(14名)

1番 藤本健太	2番 世良将生
3番 水原耕一	4番 福垣内邦治
5番 光本一也	6番 中島数宜
7番 尺田耕平	8番 竹爪憲吾
9番 沖田ゆかり	10番 片川学
11番 民法正則	12番 荒瀧穂積
13番 大瀬戸宏樹	14番 時光良造

~~~~~○~~~~~

5. 欠席委員(0名)

~~~~~○~~~~~

6. 説明のために出席した者の職氏名

町長	三村裕史
副町長	岩田秀次
教育長	平岡弘資
建設農林部長	堂森憲治
総務部長	西村隆雄
建設農林部次長	宗像雅充
建設農林部技術次長	寺垣内栄作
総務部次長	西岡隆司
農林緑地課長	中原幸成
都市整備課長	渡部貴幸
財務課長	多久見良数

~~~~~○~~~~~

7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	榎 並 正 和
議会事務局書記	尾 瀆 宏 教

~~~~~○~~~~~

8. 会議に付した事件

議会費
総務費
民生費
衛生費
農林水産費
商工費
土木費
消防費
教育費
災害復旧費
公債費
諸支出金
予備費
国民健康保険事業特別会計
後期高齢者医療特別会計
下水道事業会計

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(再開 9時25分)

○総務建設分科会進行役（光本） 皆さん、おはようございます。午前9時半よりも4分早いんですが、皆さん揃われましたので本分科会を再開いたします。

昨日の終わりに片川委員からの質疑で資料の提出がありますので、執行部のほうから説明を受けたいと思います。

堂森建設農林部長。

ね。年に二度ほど大雨のたびにそこが増水するような格好なんです。氾濫するようなことがありますので、そこに対する考え方はどう思っておられるのかなというところなんです。近隣住民から見られますと、非常に恐ろしい思いをして生活しておられる部分がありまして、毎度同じ状態なんですよね。

道上川に関しても同じだと思うんです。道上川の上流のほうは今回していただいとるんでしょけど、下流の河川が、役場へ抜いてくるまでの河川が細くなつとる部分ですよ、堆積がひどい部分があるんです。改善がなされていない。

この辺をどの辺まで把握しておられて、今後どのように対応されるのか。雨が降って大雨になって増水したとき、その後に対応じゃ遅いと思うんですよね。どうお考えでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 宗像建設農林部次長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部次長（宗像） 今御指摘の道上川につきましては、庁舎前とか病院群の裏の辺りにつきましては今年度、浚渫のほうを施行しております。そのほかにも堆積しとる場所につきましては適宜、状況を確認しながら進めていきたいというふうに考えております。

二河川につきましては、御指摘の川角大橋付近ではないんですけれども、呉地地区のほうとか、今年度の予算で次期出水期までに県のほうで工事をしていただけるというふうに伺っております。

来年度の予算につきましては、今言われましたけれども、出水期後にはなりますけれども、堆積状況を考慮して県のほうで浚渫箇所をほうを検討していくというふうに伺っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 堂森建設農林部長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部長（堂森） 少し補足させていただきます。

二河川、県のほう、これは再三我々も要望の機会を捉まえてお願いをしておるところでございます。やはり地形上、どうしても堆積につきましては、どの河川についてもや

っぱり同じようなところにたまっていくということは物理的に避けられないということなので、そういった箇所を中心に重点的にやっていただくように、県のほうにもしっかりと声をかけていきたいと思っております。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（片川） 引き続き努力していただきたいと思います。先んじて手を打っていただきたいという要望をしておきたいと思います。

それと、河川改修のことを一般質問でさせていただいたときに、原状復旧、土のところはのり面土で、固めた土でセメントを混ぜるのか、流れないような土を使うということだったんですが、普及されてすぐ水道ができるような状態になっとなりますので、決して強固なものになっとなるとは思えんのですよね。その辺の改修もよく検討していただいて、小手先だけじゃなくして、しっかりと改修をしていただきたいと思います。安全を守っていただきたいとお願いしておきます。

これで終わります。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 荒瀧委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（荒瀧） 前からちょっと思っと思うことで、神田からさくら野の間の川ですよね、一番狭いボトルネックのところ、導水口へ入るとこ。ここが安全性がどうなのか、県に要望いただきたい。というのが、あつこが崩れたら全部浸かる。あつこが要はダムみたいに止めたら大丈夫かなと思っと思って前から考えとりますが、ぜひ県に安全性の検証をお願いしときたいもんですが、いかがでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 堂森建設農林部長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部長（堂森） 御指摘の二河川、こで橋の下流域になろうかと思っしておりますけれども、これにつきましては、川角地区の地域懇談会の中でも逆流のおそれあるというようなお声も頂戴しております。その辺も含めて、県のほうにもしっかりと投げかけてやってまいりたいと思っしております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（片川） 今の補足ですが、再三再四、県の方と会ったときをお願いしたりするんですが、どうなんでしょうかね、昔、我々が子供の頃、大雨のときにあっこの導水口を開いてもらうということがあったんですね。近年、呉市のほうの反発か、導水口がどうも開けないような状況が出ると思うんですが、あそこを開いてもらうと随分水量が変わってくると思うんですよね。これ町のほうから県のほうへ要望いただくというわけにはいかないんですか、大雨のときに。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 堂森建設農林部長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部長（堂森） 導水口につきましては呉市水道局ということで、これにはうちのほうからもちよっとお話をさせてもらって、全ての降雨に対応していただいているかどうかというのはあるんですけれども、かなり大量な降雨が見込まれるという場合には、水源池に入れずに流していただくような措置は、平成30年災以降、前より頻度は上げていただいているようには認識しておりますけれども、状況を見ながらその辺はまた要望といいますか、お願いしていきたいと考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 片川委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（片川） ぜひ雨量に注視していただいて、早急に陳情いただけたらありがたいと思いますのでお願いします。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） ほかにございませんか。

ないようですので、企業会計へ移りたいと思います。

それでは、下水道事業会計についての説明をお願いします。

寺垣内建設農林部公営企業担当次長。

~~~~~○~~~~~

○建設農林部公営企業担当次長（寺垣内） それでは、下水道事業会計予算（案）について御説明いたします。

なお、下水道事業会計予算につきましては、地方公営企業法施行規則第45条におきまして予算書の様式が定められております。したがって、一般会計などの予算書のような事業ごとの予算編成になっておりませんので、資料17の令和6年度歳入歳出予算説明資料の中にございます、主要事業一覧表の内容に沿って御説明させていただきます。

それでは、資料の最後のページ、17ページをお開きいただき、項目番号5、下水道事業会計の表を御覧ください。また、事業実施箇所につきましては、お手元にお配りしております予算特別委員会資料15ページ、16ページを併せて御覧ください。

まず、建設改良費の下水道台帳DX化事業でございます。

事業費は2,950万円で、皆増となっております。

この事業は、下水道施設に関する管理施設情報や維持管理情報等をデジタル化し、施設状態の把握やリスク評価等に利用することにより、効率的な改築維持管理を行うもので、令和9年度以降の改築更新事業の国庫補助要件となっております。

続きまして、熊野団地污水管渠改築更新事業でございます。

事業費は9,230万円で、本年度より1,730万円、23.1%の増となっております。

事業実施箇所図では、①として、柿迫、貴船、石神地区で延長147メートルの老朽管の敷設替え工事を予定しております。また、②から⑤として、柿迫、神田、東山、石神地区におきまして、合計延長456メートルの老朽管の更生工事を予定しております。

熊野団地污水管渠改築更新工事につきましては、老朽管の管路調査を基に修繕が必要と判断した管路のみを修繕するため、箇所図にあるように施工箇所が点在しているものとなります。

下水道事業会計予算（案）の説明は以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） それでは、下水道事業会計について質疑を行います。

質疑はございませんか。

大瀬戸委員。

といたします。

それでは、審査報告につきまして、進行役において報告書のほうを作成したいと思います。報告書作成のため、暫時休憩といたします。

(休憩 9時41分)

(再開 9時43分)

~~~~~〇~~~~~

○総務建設分科会進行役（光本） 休憩前に引き続き、分科会を再開します。

分科会報告書を作成いたしましたので、これから朗読いたします。

令和6年3月

予算特別委員長 尺田耕平様

総務建設分科会進行役 光本一也

令和6年熊野町議会予算特別委員会総務建設分科会審査状況報告書

本分科会は、令和6年予算特別委員会において付託された次の件について、3月6日から8日に分科会を開催し、慎重に審査した状況を報告する。

1、審査議案

議案第22号、令和6年度熊野町一般会計予算のうち、議会費、総務費、民生費、衛生費、農林水産費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、民生費、公債費、諸支出金、予備費及び教育費の一部について。

議案第23号、令和6年度熊野町国民健康保険事業特別会計予算について。

議案第24号、令和6年度熊野町後期高齢者医療特別会計予算について。

議案第26号、令和6年度熊野町下水道事業会計予算について。

以上です。

それでは、ただいまの分科会報告書を予算特別委員会に報告することで御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○総務建設分科会進行役（光本） それでは、ただいまの分科会報告書を予算特別委員会で報告することに決定いたしました。

以上をもちまして、総務建設分科会を終了いたします。

皆さん、円滑な議事の進行に御協力をありがとうございました。

(散会 9時45分)

令和6年 予算特別委員会 文教福祉分科会

(会議録 第1号)

1. 招集年月日 令和6年3月8日(金)

2. 招集の場所 第1委員会室

3. 開会年月日 令和6年3月8日(金)

~~~~~○~~~~~

4. 出席委員(14名)

委員 藤本健太	委員 世良将生
委員 水原耕一	委員 福垣内邦治
委員 光本一也	分科会進行役 中島数宜
委員 尺田耕平	委員 竹爪憲吾
委員 沖田ゆかり	委員 片川学
委員 民法正則	委員 荒瀧穂積
委員 大瀬戸宏樹	委員 時光良造

~~~~~○~~~~~

5. 欠席委員(0名)

~~~~~○~~~~~

6. 説明のため出席した者の職氏名

町 長	三村裕史
副町長	岩田秀次
教育長	平岡弘資
教育部長	隼田雅治
総務部長	西村隆雄
教育部次長	立花太郎
総務部次長	西岡隆司
町公民館長	穂坂俊彦
教育指導監	梶弘樹
財務課長	多久見良数
都市整備課長	渡部貴幸

~~~~~○~~~~~

7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	榎 並 正 和
議会事務局書記	尾 濱 宏 教

~~~~~○~~~~~

8. 会議に付した事件

民生費
衛生費
教育費
介護保険事業特別会計

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(開会 9時58分)

○文教福祉分科会進行役(中島) 少し早いようですけれど、メンバーおられますので、ただいまから、文教福祉分科会を開催いたします。

令和6年予算特別委員会文教福祉分科会をただいまから開催いたします。

それでは、令和6年度の事業ごとにおける歳入歳出予算について、各担当から説明を受けたいと思います。

最初に、民生費及び衛生費の一部について、説明をお願いいたします。

西村健康福祉部次長。

~~~~~○~~~~~

○健康福祉部次長(西村) 令和6年度一般会計予算(案)の健康福祉部門の説明をさせていただきます。

それでは、116、117ページをお開きください。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費の社会福祉一般事務事業は、民生委員や各種協議会に関する事務などに要する経費を計上しております。事業費は915万2,000円、本年度より21万3,000円、2.3%の減となっております。

減額の主な要因は、職員の時間外手当の減によるものです。歳入の特定財源国県支出金は、民生委員の権限移譲事務交付金等317万6,000円でございます。主な経費といたしましては、民生委員謝金866万2,000円でございます。

続いて、118、119ページをお開きください。

福祉団体助成事業です。熊野町社会福祉協議会など、社会福祉3団体に対する活動助成金を計上しております。事業費は4,465万6,000円、本年度より88万6,000円、2.0%の増となっております。

増額の主な要因は、社会福祉協議会補助金のうち、人件費の増によるものです。主な経費は、社会福祉協議会4,406万6,000円、民生委員児童委員協議会58万3,000円の補助金でございます。

次に、生活困窮者自立支援事業は、生活保護に至る前の段階の自立支援策として、生活困窮者に対し、自立相談支援事業及び住居確保給付金の支給等を行うもので、事業費657万7,000円、本年度より549万2,000円の増となっております。特定財源の国県支出金437万9,000円の内訳は、生活困窮者自立支援費国庫負担金58万8,000円、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金379万1,000円でございます。

主な増額の要因は、今年度からの新規事業として、仕事につき経済的に自立するため、規則正しい生活や基本的なコミュニケーション能力といった基礎能力の形成支援を行う就労準備支援事業と家計表の作成による家計状況の見える化と根本的な課題の把握を行い、自ら家計を管理できるように支援する家計改善支援事業を開始することによるものです。主な事業費は、2つの新規事業に係る委託料554万円のほか、住宅を喪失または喪失するおそれがある就労意欲のある者に対し、生活保護基準の住宅扶助費に相当する額を支給する住宅確保給付金67万5,000円でございます。

○高齢者支援課長（井原） 続きまして、120、121ページにかけまして、2目老人福祉費、老人ホーム等入所措置事業でございますが、この事業は環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難な、おおむね65歳以上の高齢者の養護老人ホームへの入所委託に係る経費を計上しています。事業全体で3,673万8,000円、本年度より27万6,000円、0.7%の減となっております。

減額の要因は、養護老人ホーム入所者の減による委託料の減額によるものです。主な事業費は入所委託者15人分の委託料です。そのほかの財源691万1,000円は、入所者からの費用徴収金です。

敬老事業ですが、この事業は敬老会の開催や長寿祝い金の支給に係る経費を計上しています。事業全体で371万8,000円、本年度と34万4,000円、10.2%の

増額となっております。

増額の要因は、長寿祝い金の対象者増による増額です。主な事業費は敬老会を開催するための実行委員会への補助金として、71万円、100歳と80歳の方に支給する長寿祝い金の扶助費259万円です。

続いて、老人福祉一般事業ですが、この事業は老人クラブ連合会への補助金、災害時要配慮者調査事業に係る経費を計上しています。事業全体で313万円、本年度より73万6,000円、19.0%の減額となっております。

減額の主な要因は、本年度において、熊野町シルバー人材センター移転に伴う補助金の支給が完了したことによる減額です。特定財源の県支出金は、在宅福祉事業費補助金56万8,000円です。そのほかの123万2,000円は、筆の里づくり基金繰入金です。主な事業費は災害時要配慮者調査事業に係る通信運搬費74万9,000円、老人クラブ連合会に対する補助金185万円です。

○健康福祉部次長（西村） 続いて、122、123ページ中ほど、3目障害者福祉の障害者福祉一般事業は、身体障害者手帳の認定及び交付事務、障害者相談員設置事業及び障害者福祉団体助成に係る経費を計上しております。事業費は352万8,000円で、本年度より209万7,000円の減額です。

減額の主な要因は、今年度策定いたしました障害者保健福祉計画等の策定業務委託料を減額したことによるものです。主な事業費は会計年度任用職員の報酬178万2,000円でございます。

続いて、特別障害者手当等支給事業は、特別障害者手当、障害児福祉手当の2つの手当の認定及び支給と特別児童扶養手当の認定に係る経費を計上しております。事業費は1,198万8,000円で、本年度より5万円の減でございます。特定財源の国県支出金910万1,000円の内訳は、特別障害者手当等支給費国庫負担金899万円、特別児童扶養手当事務費交付金11万1,000円でございます。主な事業費といたしまして、2つの手当の支給費である扶助費1,198万8,000円です。

続いて、障害者総合支援事業は、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの給付等に係る経費を計上しております。事業費は8億9,107万4,000円で、本年度より9,954万4,000円、12.6%の増となっております。特定財源の国県支出金は、障害福祉サービス給付費に対する国及び県からの負担金、補助金等で、6億8,383万9,000円でございます。

増額の主な要因は、様々な障害福祉サービスに係る扶助費の増によるものです。主な事業費といたしまして、サービス等の審査支払い手数料、障害者福祉のシステム利用料等で、622万1,000円、障害者福祉サービス等の提供に係る扶助費が8億7,715万4,000円です。

○子育て支援課長（佛圓） 132、133ページの中段をお願いします。

7目福祉医療費公費負担事業でございます。この事業は児童、ひとり親家庭、重度心身障害者に対し、医療費の個人負担額を助成することにより、経済的負担の軽減、及び疾病の早期発見、重症化の予防に努めるもので、事業費は1億6,505万1,000円、本年度より4万1,000円、0.02%の減となっております。主な経費は、扶助費のひとり親家庭等医療費869万3,000円、重度心身障害者医療費8,235万2,000円、子ども医療費6,643万円でございます。財源の国県支出金5,852万8,000円は、県費の福祉医療費公費負担事業費補助金でございます。

○高齢者支援課長（井原） 続きまして、134、135ページをお願いします。

8目介護保健師費、介護保険一般事業ですが、この事業は介護認定調査員の雇用に係る経費や介護保険特別会計への繰出金を計上しています。事業全体で3億6,484万7,000円、本年度より444万4,000円、1.2%の増となっております。

増額の要因は、介護給付費の増額に伴う繰出金の増額によるものです。主な事業費は3名の会計年度職員報酬708万円と介護保険特別会計への繰出金3億5,216万円です。特定財源の国県支出金1,505万2,000円は、国及び県からの介護保険料軽減負担金でございます。そのほか5,005万7,000円は、会計年度職員に係る社会保険料納付金です。

○健康福祉部次長（西村） 136、137ページをお願いします。

9目ふれあい館費のふれあい館等運営管理事業です。この事業は町内3つのふれあい館と熊野町地域福社会館の管理運営経費を計上しております。事業費は7,454万5,000円で、本年度より1,719万3,000円、30%の増となっております。特定財源は、地方債1,900万円と、そのほか熊野町福社会館等の行政財産目的外使用料等で、265万3,000円を計上しております。

増額の要因は、西ふれあい館の空調設備の改修工事を行うための費用を計上したことによるものです。主な事業費は、ふれあい館等の指定管理料など委託料です。

続いて、138、139ページ、2項生活保護費、1目生活保護総務費の生活保護一

般事務事業です。生活保護に係る事務経費を計上しています。事業費は1,099万円、本年度より532万4,000円、32.6%の減となっております。特定財源の国県支出金102万円は、生活困窮者自立支援費国庫負担金及び生活困窮者就労準備支援事業費等補助金でございます。

減額の主な要因は、令和5年度に医療扶助におけるオンライン資格確認の導入に伴う生活保護システム改修、生活保護システムの機器更新を行ったことによるものです。主な事業費は141ページ、生活保護システムのクラウドシステム利用料や医療圏の審査支払い手数料等が366万6,000円、このほか生活保護システム保守料133万2,000円などの委託料でございます。

次に、ページ下段から143ページにかけて、2目扶助費の生活保護支給事業です。この事業は被保護者に対する扶助費で、事業費2億7,730万7,000円、本年度より2,458万8,000円、8.1%の減となっております。特定財源の国県支出金は、生活保護費等負担金で、2億1,196万円で、負担割合は国が4分の3、町が4分の1となっております。そのほかは生活保護費の返還金463万4,000円です。扶助費の内訳としましては、医療扶助費が全体の55.6%、次いで生活扶助費が26.4%を占めています。2月末現在の被保護者は106世帯、167人で、昨年度の4月から2世帯減の被保護者の数は167人で変動はありません。

○子育て支援課長（佛圓） 続いて、142、143ページの中段、3項児童福祉費、1目児童福祉総務費の児童関係諸手当支給事務事業でございます。この事業は児童手当、児童扶養手当の認定及び支給事務に要する経費を計上しております。事業費は621万9,000円、本年度より398万7,000円、278.6%の増となっております。

増額の主な要因は、児童手当法改正に伴うシステム改修費の増によるものです。

同じく、142、143ページ下段から次のページにかけて、保育所等運営一般事務事業でございます。この事業は保育所入所申請、保育所利用料の収納、保育所入所委託等に係る事務費を計上しております。事業費は989万9,000円、本年度より22万4,000円、2.2%の減となっております。

減額の主な要因は、くまの・みらい保育園の水道メーター取替え工事が完了したためです。主な経費は電算クラウドサービス手数料119万7,000円、くまの・みらい保育園の施設改修に係る工事請負費でございます。財源の国県支出金は、国庫支出金の子ども子育て支援体制整備総合推進事業費補助金4,000円、その他は公共施設等整

備基金繰入金 800 万円でございます。

144、145 ページの中段、母子家庭等自立支援事業でございます。この事業は配偶者等からのDV被害や児童虐待、ひとり親家庭等からの相談に応じ、必要な支援を行うもので、個別の相談内容に応じて、警察や西部子ども家庭センター等の関係機関とも連携を図りながら、安全の確保や自立に向けた支援を行うものでございます。事業費は 251 万 8,000 円、本年度より 79 万 7,000 円、46.3%の増となっております。

増額の主な要因は、ひとり親家庭の保護者が職業訓練学校等へ通学中に支給する高等技能訓練促進費の対象者が増えたことによる扶助費の増によるものでございます。主な経費は職員手当等 42 万 3,000 円、扶助費の母子家庭自立支援給付金 178 万円でございます。財源の国県支出金は、国庫支出金の母子家庭等対策総合支援事業補助金 133 万 5,000 円でございます。

続いて、146、147 ページの上段をお願いします。

くまの・こども夢プラザ管理運営事業でございます。この事業はくまの・こども夢プラザにおいて実施する子育て支援センター事業の経費のほか、当該施設の維持管理費等を計上するもので、くまの・こども夢プラザに保健師と保育士を配置し、熊野版ネウボラの相談支援拠点としております。事業費は 1,682 万 5,000 円、本年度より 268 万 4,000 円、19%の増となっております。

増額の主な要因は、会計年度任用職員の報酬及び期末手当の増、及びくまの・こども夢プラザ屋外の砂場に屋根を設置するための工事費を計上したためでございます。主な経費は、会計年度任用職員の報酬 674 万円、期末手当 246 万円、職員共済組合負担金 563 万円、社会保険料 103 万 6,000 円、その他施設維持管理に係る委託料等でございます。財源の国県支出金は、国庫、県費の子ども子育て支援交付金 787 万 8,000 円、その他 19 万 2,000 円は、行政財産目的外使用料 8 万 8,000 円、くまの・こども夢プラザ使用料 4 万 8,000 円、社会保険料納付金 5 万 4,000 円等でございます。

続いて、148、149 ページ下段から次のページにかけて、次世代育成支援対策事業でございます。この事業は熊野子ども子育て支援事業計画の進行管理を行うとともに、県ネウボラモデル事業の推進を図るものでございます。事業費は 617 万 7,000 円、本年度より 27 万 2,000 円、4.2%の減となっております。

減額の主な要因は、第3期熊野町子ども子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査が終了したことによる委託料の減でございます。主な経費は会計年度任用職員の報酬198万5,000円、期末手当74万5,000円、その他事業計画策定業務委託料でございます。財源の国県支出金は、県費の広島版ネウボラ構築モデル事業補助金128万6,000円でございます。

150、151ページの下段をお願いします。

2目児童措置費の児童手当支給事業でございます。この事業は児童手当法に基づいて、児童を養育する家庭に児童手当を支給するもので、事業費は4億1,642万5,000円、本年度より5,952万9,000円、16.7%の増となっております。

増額の要因は、児童手当法の改正により、令和6年10月分より所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間延長、第3子以降に対する支給額の引上げなどが行われることによる扶助費の増でございます。主な経費は扶助費の児童手当4億1,642万5,000円でございます。財源の国県支出金は、国庫、県費の児童手当て負担金3億6,376万6,000円でございます。

同じページの下段から次のページにかけて、児童扶養手当給付事業でございます。この事業は児童扶養手当法に基づいて、ひとり親家庭に対して、児童扶養手当を支給することで、生活の安定と自立の促進を図るものでございます。事業費は8,490万5,000円、本年度より127万7,000円、1.5%の減となっております。

減額の要因は、全体の対象者は増加傾向にありますが、一部支給者の割合が増えたことに伴う扶助費の減でございます。主な経費は扶助費の児童扶養手当8,490万5,000円でございます。財源の国県支出金は、児童扶養手当給付費国庫負担金2,830万1,000円、その他の1,000円は児童扶養手当返還金の滞納繰越し分でございます。

152、153ページの上段、児童福祉施設入所委託事業でございます。この事業は配偶者からの暴力を受けるなどして、一時的に保護が必要な母子等を施設入所させることで、安全の確保と生活の自立に向けた支援を行うものでございます。事業費は911万4,000円、本年度と同額でございます。主な経費は母子自立支援施設入所委託料でございます。財源の国県支出金は、国庫、県費の児童入所施設措置費等負担金666万円、国庫、県費の子ども子育て支援交付金5万6,000円、その他の1,000円は母子生活支援施設利用者負担金でございます。

同じく、そのページの下段、3目保育所費の保育所等運営事業でございます。この事業は乳幼児を養育する保護者の希望、選択に応じて、保育所、認定こども園、幼稚園において、良質な教育、保育の提供が受けられるよう、その提供体制を確保するものでございます。事業費は9億8,463万1,000円、本年度より6,057万9,000円、6.6%の増となっております。

増額の主な要因は、入所児童数の増に伴う保育委託料、施設型給付費等の増と認定こども園聖徳幼稚園のトイレ等改修工事に伴う補助金の増のほか、待機児童対策として新たに設ける待機児童支援助成事業補助金の増によるものでございます。主な経費は保育所入所に係る委託料のほか、延長保育等の特別保育事業補助金、認定こども園等への施設型給付費、及び幼稚園に支払う施設等利用給付費など、負担金補助及び交付金が6億4,785万9,000円でございます。財源の国県支出金は、国庫、県費の子どものための教育・保育給付費負担金、子ども子育て支援交付金、及び施設等利用費給付交付金を合わせた5億3,101万2,000円、その他は利用者が負担する保育所利用料など、4,277万2,000円でございます。

154、155ページの上段から次のページにかけて、4目児童福祉施設費の放課後児童健全育成事業でございます。この事業は放課後や学校の長期休業中などで保護者が家庭にいない小学生児童に対して、適切な遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図るものでございます。事業費は6,222万8,000円、本年度より1,082万1,000円、21%の増となっております。主な経費は会計年度任用職員の報酬3,961万6,000円、期末手当1,328万5,000円、社会保険料229万5,000円、消耗品費155万5,000円でございます。財源の国県支出金は、国庫、県費の子ども子育て支援交付金3,640万円、その他900万円は、保護者負担金等でございます。

○健康推進課長（桐木） 156、157ページをお願いします。

4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費の保健衛生総務事業です。この事業は日曜日における在宅当番医制や入院、手術など、緊急を要する夜間救急に対応する病院群輪番制の維持経費のほか、健康管理システムなど、保健衛生諸施策の推進に必要な経費を計上するもので、事業費は2,308万円、本年度より282万9,000円、14.0%の増です。

増額の主な要因は、会計年度任用職員の保健師を1人から2人に増員したことによる

ものです。財源の国県支出金 271万3,000円は、子ども子育て支援交付金 251万4,000円、自殺対策緊急強化事業補助金 18万9,000円、広島県骨髄ドナー助成補助金 1万円、その他 6万4,000円は、社会保険料納付金 4万4,000円、地域看護学委託実習費 2万円です。主な経費は次のページの役務費手数料の健康管理システムクラウド使用料 825万3,000円、委託料の在宅当番員制運営事業等委託料、負担金補助及び交付金の広島地区病院群輪番制運営費補助金 220万4,000円などです。

次に、158、159ページ下段の2目予防費、感染対策事業です。この事業は乳幼児や高齢者に対して、各種予防接種を行うことにより、感染症の発生や蔓延の防止、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うなどの経費を計上するもので、事業費は6,734万5,000円、本年度より88万8,000円、1.3%の減です。財源の国県支出金は、風疹抗体検査に要する費用に対する特定感染症検査等事業補助金の77万6,000円です。主な経費は次のページの結核検診や予防接種等の委託料です。

なお、新型コロナワクチン接種は季節性インフルエンザと同様の定期接種となる予定で、65歳以上の高齢者及び60から64歳で重症化リスクの高い方を対象とし、秋、冬に年1回が想定されていますが、現時点ではワクチンの市場流通価格が不透明ですので、補正予算で対応させていただきます。

次に、160、161ページ中段の生活習慣病予防対策事業です。この事業は住民健診、健診結果に基づく保健指導や健康相談などを実施し、がんをはじめとする生活習慣病の予防や早期発見・治療による重篤化の防止、保健指導や健康教育等を通じ、健康増進に関する普及啓発を行い、個人の生活習慣の改善を支援する経費を計上するもので、事業費は4,534万3,000円、本年度より392万円、9.5%の増です。

増額の主な要因は、節目歯周歯科健診の対象に、20歳、30歳が追加されたことと後期高齢者歯周歯科健診の受診者が増加したことによるものです。財源の国県支出金は、93万7,000円で、がん検診推進事業補助金 6万2,000円、健康増進事業費補助金 84万7,000円、自殺対策緊急強化事業補助金 2万8,000円で、その他 574万8,000円は、特定保健指導等受託収入 6万9,000円、広島県後期高齢者医療補助金 567万9,000円です。主な経費は次のページの委託料の各種検診業務委託料などです。

次に、162、163ページ前段の3目母子保健費の母子保健事業です。この事業は

熊野版ネウボラの設置により、子育て支援センターと共同で、母子手帳の交付や妊婦健診、乳幼児健診や育児相談、乳幼児家庭への訪問事業等を実施し、母性を育むとともに、妊産婦や乳幼児の健康の保持、及び増進に係る経費で、事業費は3,477万7,000円、本年度より267万6,000円、8.3%の増です。

増額の主な要因は、会計年度任用職員の報酬及び期末手当などが増加したためです。財源の国県支出金737万8,000円は、子ども子育て支援交付金278万6,000円、未熟児養育医療補助金139万5,000円、母子保健医療対策総合支援事業補助金114万5,000円、広島版ネウボラ構築モデル事業補助金205万2,000円で、その他25万5,000円は、未熟児養育医療負担金21万円、社会保険料納付金4万5,000円です。主な経費は次のページの委託料の妊婦乳幼児等検査業務委託料、扶助費の未熟児養育医療207万円などです。

次に、出産子育て応援交付金事業です。この事業は妊婦、子育て家庭が安心して出産、子育てできるよう、妊娠から出産、子育てまで、身近で相談に応じ、様々なニーズに即して、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実と出産、子育てに必要な用品の購入など、経済的な負担を軽減するための経済的支援を一体的に実施するもので、事業費は1,328万1,000円、0.3%の減です。財源の国県支出金1,106万7,000円は出産子育て応援交付金です。主な経費は令和6年度から広島県が開始するウェブカタログギフト方式を導入し、受給者は現金もしくは電子クーポン券のどちらかを選択できるようにしたものです。

以上で、一般会計の説明を終わります。

~~~~~〇~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） ただいま説明がありました116ページから165ページまでの民生費、それから衛生費の一部について、質疑を行います。

質疑のときには、挙手の上、ページ数、青ランプが点灯の上、質疑をお願いいたします。

質疑ありますか。

沖田委員。

~~~~~〇~~~~~

○委員（沖田） 153ページなんですけども、保育所運営事業なんですけど、先ほど説明の中に、待機児童の支援事業というものを始められると。これ町外の保育所に行かれる

方に補助を出すということでもいいのかどうかということをお聞きしたいんです。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓子育て支援課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） 入所申請をしても、受入れ枠がなく、待機児童となった場合、やむを得ず認可外の保育所等へ預けられる場合、保育料の一部を補助しようとするものです。

制度の仕組みとしましては、認可外の保育所の保育料から町の保育料相当分を控除しまして、差し引きまして、残りの額を補助するというを考えております。

具体的に言いますと、例えば町外の認可外の保育所、保育料が5万5,000円だった場合、世帯の所得に応じて決まる町の保育料があります。これが例えば2万3,000円であれば、それを5万5,000円から2万3,000円を差し引いた残りの3万2,000円、こちらを補助するような、そういった制度を考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 町外の認可外保育所というのが現実にあるんですかね。あるとしたら、どの辺にあるんでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） 近隣で言いますと、府中町で3か所、海田町で1か所、呉市では、ちょっと地域広いですが、10か所、あと東広島市でも20か所、広島市で言いますと、安芸区が近いんですが、4か所と中区、南区等を含めると、相当な数は一応あります。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 分かりました。すみません。

同じく、保育所等運営事業なんですけど、国としては、令和8年度からこども誰でも通園制度を始めるといことを言われていますが、今、熊野町は待機が出ている状態で、果たして見通しをどのように考えていらっしゃるのか、ちょっとお聞きしたいんです。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） 国が言います誰でも通園制度なんですけど、今年度から来年度にかけてのモデル事業のほうが全国でやられているということで、そのモデル事業を踏まえて、国が制度化するということですので、ちょっとその辺の課題等も踏まえて、町としても考えていきたいんですが、これが制度化されたとしまして、町の現状から言いますと、今の現状は、ちょっと定員がかなりいっぱいな状態ですので、誰でも通園制度というものが、果たしてこう、ちゃんと機能できるかどうかというのは、ちょっと課題があるとは考えております。これはちょっと園のほうとも、いろいろ協議していく必要があると思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 分かりました。すみません。

151 ページ、児童手当についてなんですけど、10月から高校3年生までに拡充されるということで、また支給月が、年3回が隔月になるということをお伺いしていますが、岸田総理が当初、来年2月から初回の支給をされると言われていたんですが、12月支給にね、前倒しをするといことを言われていますが、果たして間に合うのかという、その辺をちょっとお聞きしたいんですけど。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） 来年度予算に、まず拡充分の予算を計上させていただいているのとシステム改修の費用のほうも計上させていただいております。

来年度に入りましたら、早急にシステムの改修等を行い、法に基づいた拡充のほうを
していきたいと思っています。

1 2月支給ということで、もうそれについては、国からも通知来ておりますので、確
実に1 2月支給に間に合わせるように準備をしていきます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） ありがとうございます。

同じく、1 5 1 ページですかね、児童扶養手当についてなんですが、第3子以降の加
算額を引上げをされるということなんですが、それについては、このたびの予算計上
に入っていますか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） これは来年度、1 1月分から、そういった拡充がされるとい
うことで、国のほうの閣議決定等があって、正式な通知は2月20日付で町のほうに
来ております。

ですので、ちょっと当初予算のほうには計上間に合いませんでしたので、来年度ど
かの時点で、補正予算等をお願いしていきたいと考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） ほかにございますか。

水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） 1 1 7 ページお願いします。

社会福祉一般事務事業、民生委員ですけれども、民生委員の成り手の増減と言うか、
それを教えていただきたいんですが、年々、多分減っていると思うんですが、来年度の
人数はどれぐらいになっていますでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 西村健康福祉部次長。

○健康福祉部次長（西村） 今のところ、定員が48名で、現在45名の民生委員、これは改選のときから変わっておりませんので、現状では変化がないという状況です。

次期に関しましては、また皆様、自治会のほうにもお願いしたりとかしまして、定員が確保できるような努力をしてまいりたいと考えております。

以上です。

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

○委員（水原） 民生委員の成り手不足というので、結構、働きながら、仕事をしながら民生委員を掛け持ちするという方が多分増えてきとると思うんですよね。その中で民生委員の会議する場所で、そういう、これからも民生委員の仕事の在り方みたいなこと、話合いをされとるんですかね。

○文教福祉分科会進行役（中島） 西村次長。

○健康福祉部次長（西村） 特にそういった話合いを行ってはおりませんが、現在やはりお仕事をもちながら、民生委員をしていただいている方がいらっしゃいます。

ただ、そういう場合ですと、やっぱり活動が、御相談を受けるのが夜であるとか、お休みであるとかということで、なかなかちょっと御本人さんたちも、ちょっとどうかなと思われながら活動をしているところもあるようなんですけれども、この先、定年延長もありますので、長く働かれることになりますので、地域に戻ってからとなると、かなり高齢ということになってまいりますので、なるべく負担軽減を図りながら、確保してまいりたいと思っております。

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

○委員（水原） 実際、僕のところにも、民生委員があんまり働いていないとかっていう声がよく聞くんですよ。そういう人たちが、やっぱり肩身の狭い思いをせんような感

じの、これからも民生委員の仕事の在り方というのを追求していただければと思いますので、よろしくお願いします。

それと、次124ページ。

これの124ページ、今、障害者福祉一般事業の中の前回と言うか、この前の一般質問で質問させてもらった熊野親の会ひまわりですよ、ここにペアレントメンターを呼んでの話合いみたいなことはされていないのでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 西村次長。

~~~~~○~~~~~

○健康福祉部次長（西村） 現在こちら、障害児を持つ、障害児と親の方の集まりになっておまして、詳しい状況は、今は家族で話し合いながら、状況で、情報を共有しながらというところですので、特にそういう方をお呼びしてというような活動の報告は受けておりません。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） せっかくこういう場があるのであれば、熊野を管轄される方30人おられるということで、ペアレントメンターを呼んでの話合いをしたらどうかというのを提案なんかしたらいいと思うんですが、いかがでしょう。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 西村次長。

~~~~~○~~~~~

○健康福祉部次長（西村） そういうこと、そういう情報もしっかり提供していきたいと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） ぜひ、よろしくお願いします。

それと、次に160ページお願いします。

生活習慣病予防対策事業ですけれども、これ実際、効果のほうは上がっていると感じておられますでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 桐木健康推進課長。

~~~~~○~~~~~

○健康推進課長（桐木） 生活習慣病予防事業は、主には住民健診とかのあれなんですけど、住民健診はコロナがあって、3,000人ぐらい、集団健診には来場されとったんですけど、それが平成元年。平成2年度は中止に、コロナの関係で中止にしまして、令和3年度が2,018人、令和4年度が2,084人、令和5年度が2,130人で、一応、効果が上がったかどうかというのは分からないんですけど、一応そういうような状況になっています。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） これ国保運営にもつながると思うんですが、国保の問題がちょっとかなりあんまりよくないということで、あんまり効果がないように僕は感じるんですけども、一応個別で指導されるような事業っていうのもありますよね。あれの状況というのは、どれぐらい、何人をやられているんかっていうのがもし分かればお願いします。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 桐木課長。

~~~~~○~~~~~

○健康推進課長（桐木） 特定保健指導のことだと思うんですけど、特定保健指導は去年と言うか、令和4年度まで、あんまりちょっと参加と言うか、実施できた方が少なく、令和5年度になってから、その返事に対して、今まで電話とか、そういうのももらっていたんですけど、なかなか返事がなくて、今年から封筒、切手が要らない、役場に無料で送れる封筒をつけまして、返事がその封筒でこう来るようになりましたので、かなり受診率が上がってきていると思います。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（水原） これ住民の方の意識の向上が全てだと思うんで、ぜひいろいろな啓発をしていただければと思いますんで、よろしく願いいたします。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） ほかにございませんか。

光本委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（光本） 155ページお願いします。

保育所運営事業の最後のところに関連するんですが、もう4月から新年度で保育所も入所が始まるんですが、現時点での定員数に対しての入所決定者と言うか、予定者数をお願いします。

それと、待機児童数ですね。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓子育て支援課長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○子育て支援課長（佛圓） 町の定員493人に対しまして、547人の入所になります。前年度と比較しますと、入所の状況は、4月の状況は2人少ない状況です。

ただ、町内の保育所のほうを見ますと、一部の保育所を除いて、満員の状態です。今後、中途、途中での退所がない限り、ちょっと途中入所というのがなかなか難しい状態は続くと思います。

4月から待機と言うか、希望する保育所に空きがないということで、待機をされる児童が8人おられます。その方は自営業であったりとか、仕事を探している、いわゆる求職中の方であったり、あとは育児休業の延長などで、空きが出るまで待たれるというような家庭の状況、各違いますが、空きが出るまで待つということで、枠としては、まだある状態です。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 光本委員。

○委員（光本） ということは、新規事業の待機児童支援助成事業補助金の対象となられる方は、今の説明では8人じゃなくて、今のところは全員、何とかかんとか保育所の努力も含めて、全員入所のスタートということによろしいですか。

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

○子育て支援課長（佛圓） そうですね、まだ一部の保育所においては、定員の枠はありますので、そこが年齢にもよりますが、年齢に応じて、応募枠が埋まった場合、そこは認可外へもし行かれるということであれば、そういった補助金の対象になると思います。現時点では、まだ今のところはないというふうに感じております。

以上です。

○文教福祉分科会進行役（中島） 光本委員。

○委員（光本） 分かりました。

続いて、145ページの母子家庭等自立支援事業の中で、予算自体は147ページの扶助費、母子家庭自立支援給付金、説明では、高等技能訓練費の助成というように説明があったかと思うんですが、この事業の内容について、詳しく説明をお願いします。

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

○子育て支援課長（佛圓） この事業ですが、母子家庭等で、その方が職業訓練校、例えば看護師の学校であるとか、そういった技能を習得することを目的に、通学される間の生活費を支援するというような内容になっておりまして、その間、この給付金のほうを支給するような事業になっております。

以上です。

○文教福祉分科会進行役（中島） 光本委員。

○委員（民法） ありがとうございます。広島県内でも人材不足ですか、特に経験豊富な人は見つけにくいと聞いております。ケアマネジャーの仕事は、人とのコミュニケーションが重要だと思いますが、介護支援など、資格を持っていてもコミュニケーションを取ることが苦手な人や臨機応変な対応ができない人などを雇用しないように注意していただきたいというのをお願いしたいんですけど、もう決まってるわけですね。もう面接。

~~~~~○~~~~~
○文教福祉分科会進行役（中島） 井原課長。

~~~~~○~~~~~
○高齢者支援課長（井原） 一応、経験を、資格のほうを、調査は介護の認定、要介護であるとか、要支援であるとかを審査する、調査をしに行く委員なんですけれども、調査員なんですけど、やはり介護の視点を持っていただくということで、ケアマネジャー、いわゆる介護支援専門員の資格を持って経験をされている方を採用させていただいております。

以上です。

~~~~~○~~~~~
○文教福祉分科会進行役（中島） 民法委員。

~~~~~○~~~~~
○委員（民法） ありがとうございます。高齢者がどんどん進んでいく中で、一人でも多くの人材が必要だと思います。今後ね、優秀な、一人でも多くの優秀な人材を確保していただきたいと思いますので、一つよろしく願いいたします。

以上です。

~~~~~○~~~~~
○文教福祉分科会進行役（中島） ほかにございませんか。

沖田委員。

~~~~~○~~~~~
○委員（沖田） 165ページ、出産子育て応援交付金事業の中の出産子育て応援クーポン負担金25万円、これの詳細な説明をお願いいたします。

~~~~~○~~~~~
○文教福祉分科会進行役（中島） 桐木健康推進課長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○健康推進課長（桐木） 国が令和7年度から（仮称）妊婦のための支給給付として、現金とクーポンの選択制となる予定で、県が令和6年度から広島ベビーギフトとして、ウェブカタログ形式による電子クーポン券の運用を4月より発行を開始します。

町もこの事業に参加して、令和6年度から出産子育て応援クーポン券を追加し、現金との選択制を考えています。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（沖田） ウェブカタログということですか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 桐木課長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○健康推進課長（桐木） そういうことになります。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（沖田） 分かりました。

すみません、P155ページの放課後児童支援員なんですけども、今、町内の放課後児童クラブに配置をされている支援員というのは、今の国の補助基準額というのは、常勤でも非常勤でもいいということになっているんですが、今度から新しく常勤の方を2名以上配置した場合に、補助基準額、今よりも高いんですけどもね、創設、新しく創設されるそうなんですよ。

現行こう熊野町内の支援員というのは、常勤、非常勤、どのような状況になっているのか、ちょっとお聞きしたいんです。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓子育て支援課長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○子育て支援課長（佛圓） 本町の児童クラブにつきましては、放課後からの開所という

ことで、その時間だけということなんで、全員、支援員につきましては、非常勤の扱いになっております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 常勤を置かれるお考えはないということで、よろしいですかね。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） 常勤でやっている市町もあるかとは思いますが、今現在の状況としては、非常勤で対応できると考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） ほかにございませんか。

尺田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（尺田） 沖田委員と同じ、児童クラブの件についてなんですけども、最近、数字をちょっと追ってなかったんで、伺いたいんですけども、利用者数の増減の推移と指導員の募集定員、満たしておるのかどうか、その辺お伺いしたいと思います。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） 児童クラブの、まずクラブの入会しとる児童数なんですけど、ちょっと昨年との比較ですが、昨年は令和5年4月時点が306人でした。全体で。

この4月、次の令和6年4月の予定が353人ということで、かなりちょっと増える状況です。

あと、児童数、増加傾向にありますけど、ちょっと偏りがありまして、例えば、この第一小学校あたりは、ちょっとかなり児童数が増えているというところと、あと来年度に至っては、第三小学校についても、ちょっと入会児童数が、ちょっと急増しとる状況は

あります。

それと、支援員につきましては、現状この何年かは町が求める人材のほうは確保できておりますので、必要、それは満たしておるんですが、急遽こう欠員が生じたような場合には、募集のほうかけまして、対応のほうはできております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 尺田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（尺田） 先ほど沖田委員の質問の中で、支援員については、非常勤で事足りるっというような回答だったと思うんですけども、割とクレームが多いところだと思うんですよね。

非常勤はパートなんですけども、パートが負う以上の責任って言うか、保護者から求められると思うんですけども、これについて、どういうように考えとるのかっていうのと、年間どれぐらいクレームと言うか、挙がってきとるのか、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） 確かに、保護者からクレームといったことはあります。

これに対しては、各児童クラブの主任が保護者対応等しっかりしてくれておるところです。

ただ、そうは言っても、なかなかこう保護者、相手があることですので、町としても、そこを一緒に対応するといった事例もあります。

あとはクレームの件数ですかね、件数はちょっと具体的には、ちょっと把握してないんですが、多いか少ないか、ちょっとはつきり把握していません。すみません。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 尺田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（尺田） 昔から僕よう言いよったんですけど、昔は。児童クラブの支援員は非常に頑張っておられるとは思いますが、仕事の質って言うか、支援員の質っていうのが

ちょっと保護者のほうからよくクレームと言うか、問合せがあるんですけども、そういった職員の資質の向上のようなことについては、取り組まれとるんでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） これは毎年、研修がありますので、そこはしっかり研修しています。

また、ちょっと各クラブによっては、そういった質のばらつきといったことは多少あるかもしれません。そこらは町として、こう配置換え等をしましてと言いますか、組織として、各クラブの質が上がるような取組を考えていきたいと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 尺田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（尺田） どうですかね、主任さんいらっしゃるって言っても、主任もパートですよ、非常勤扱いなので、この状態っていうのは、もう限界が来とるのかなっていうふうに、ちょっと思っとるんですけども、せめて常勤職員なり、今後検討していただきたいと思います。そのように思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 佛圓課長。

~~~~~○~~~~~

○子育て支援課長（佛圓） ちょっと児童クラブで主任に負担がかかっているというような状況はあるかもしれませんが、そこは個々に町のほうも担当者と一緒に相談受けながら、対応していますし、困ったときは一緒に相談窓口として対応しておりますので、ちょっとその現状、今の現状でちょっと何とか頑張っていきたいとは考えております。ちょっとまた今後、何か問題等がありましたら、ちょっとそのときに考えていきたいと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） よろしいですか。

ほかにございませんか。

沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 164ページですかね、次の165ページにあります母子保健事業の中の乳幼児健診についてなんですけども、今後1か月児と5歳児の健診を全国の自治体でやっていくように目指すということを国がおっしゃられておりまして、私かなり前に発達障害児の発見のためにということで、早期発見のために、5歳児健診は、随分前に要望いたしましたが、体制が整わないということで、今5歳児相談というのをね、やっていただいております。

今後この健診という形で、これ国としては、集団健診目指すということなんですけど、実際には取組の仕方と言うか、今後の見通しと言うか、どういうふうに考えていらっしゃるのか、ちょっとお伺いしたいんですが。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 桐木健康推進課長。

~~~~~○~~~~~

○健康推進課長（桐木） 5歳児相談を今やっているんですけど、5歳児健診につきましては、心理職と言うんですかね、そういう方がなかなかこう、おられないので、そういうのもちょっと勘案しながら、ちょっと考えて、一応、今のめどは再来年ぐらいにはできたらなというようなめどが立っています。

1か月児健診は、今ちょっとできるかできないか、ちょっと調査してまして、もし取り組めるようであれば、来年度中でも始めていきたいと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） これも何度も申し上げているんですが、町内に小児専門のお医者さんっていうのがいらないと言うか、少なくなっていると言うか、そういう現状があって、保護者の方からは、ちょっと町内には、ちょっとあんまり行きたくないと言うか、町外のほうに行かれている方が多いんですよね。

今後、健診をやっていくに当たって、やっぱり小児科のお医者さんの確保みたいなこともね、大変重要になってくると思うんですけども、その辺はどういうふうに考えとってですかね。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 桐木課長。

~~~~~○~~~~~

○健康推進課長（桐木） 小児科がお歳を召した方なんで、もう次にどうなるかというのは、今ちょっと試行錯誤中のごさいますて、どうにかして考えていきたいんですけど、広域的にお医者さんをよその町にお願いできればいいかなとか、いろいろ考えている途中でございます。すみません。お願いします。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 例えば、東広島のほうから専門の小児科のお医者さんに来ていただくとなると、来ていただくための交通費と言うか、また余分にかかってくると思うんですけども、やはり町内にいらっしゃる保護者の方からすると、やっぱり専門の方に、小児科専門の方に診ていただきたいというのがあるので、しっかり今後検討していただきたいと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○文教福祉分科会進行役（中島） ないようでしたら、引き続き特別会計へ移りたいと思います。

介護保険特別会計についての説明をお願いいたします。

井原高齢者支援課長。

~~~~~○~~~~~

○高齢者支援課長（井原） 介護保険特別会計について、御説明いたします。

介護保険特別会計には、保健事業勘定と介護サービス事業勘定がありますが、まず保

健事業勘定から御説明いたします。

4 ページ、5 ページをお願いいたします。

保健事業勘定は5 ページ、歳出の1 款総務費については、その財源は一般会計からの繰入金のみとなります。2 款保険給付費や3 款地域支援事業費を4 ページの歳入、1 款65 歳以上の保険料、3 款の40 歳から64 歳までの保険料である支払い基金交付金、そして4 款、5 款の国県の負担金、6 款の町の一般会計繰入金と基金繰入金で賄う仕組みとなっております。3 年に1 回、保険給付費に応じた65 歳以上の保険料を設定しております。令和6 年度は保険料の改正の年となり、介護保険料が変更となっております。事業の歳入歳出予算の総額は、表の一番下になります。24 億6,731 万5,000 円で、本年度より9,757 万5,000 円、4.1%の増となっております。

まず、歳入の御説明をいたします。

18、19 ページをお願いします。

1 款保険料は、65 歳以上の保険料で、年金から天引きを行う特別徴収保険料と納付書などで支払う普通徴収保険料などを合わせ、4 億6,310 万1,000 円で、本年度より8,041 万9,000 円、14.8%の減となっております。

減額の主な要因は、第9 期介護保険料の減額によるものです。

3 款支払い基金交付金は、40 歳から64 歳までの、いわゆる2 号被保険者保険料を支払い基金を通じ、法定負担分として交付を受けるものです。

4 款国庫支出金から2 ページ進みまして、22、23 ページ上段の5 款県支出金までは、介護給付費及び地域支援事業費に対する国、県からの交付金及び補助金です。

6 款繰入金、1 項一般会計繰入金は、一般会計からの繰入金で1 目から3 目は介護給付費及び地域支援事業費に対する法定負担分の繰入金です。4 目その他一般会計繰入金の1 節事務費繰入金は、被保険者の資格管理や介護認定事務などの事務費で、2 節介護保険料軽減負担金は、消費税増税を財源として行われる低所得者に対する保険料軽減措置分の一般会計からの繰入金です。その下の2 項基金繰入金、1 目介護給付費準備基金繰入金9,766 万6,000 円は、本年度より8,953 万9,000 円の増額となっております。

続いて、歳出の御説明をいたします。

26、27 ページをお願いします。

1 款総務費、1 項総務管理費、1 目一般管理費は、被保険者の資格管理に必要な経費

で、事業費は368万2,000円、本年度より18万1,000円、4.7%減となっております。

減額の要因は、本年度は3年に1回の計画策定時の報酬改定に伴う介護保険事業者管理システム改修業務に係る委託料の減額によるものです。主な事業費は役務費、手数料の電算システムのクラウド利用料と国保連合会へ支払う特別徴収情報の事務手数料などの227万9,000円です。次の2項徴収費、1目賦課徴収費は、介護保険料の賦課及び徴収に必要な経費で、事業費は140万2,000円です。主な事業費は保険料の納入通知書等を送付する通信運搬費92万9,000円です。

28、29ページをお願いします。

3項介護認定審査会費、1目介護認定審査会費は、5人の委員で構成される審査会を4つ設け、月に4回開催する認定審査会の委員20名に対する報酬等で、事業費は367万円、本年度より31万円、9.2%増となっております。

増額の要因は、2年ごとの審査会委員交代に伴う研修に係る経費を計上したことによるものです。次の2目認定調査等費は、要介護認定に必要な調査及び主治医の意見書徴収に係る経費で、事業費は892万4,000円、本年度より102万8,000円、13%の増となっております。

増額の主な要因は、認定調査業務の効率化を図るための調査認定委託料の増額によるものです。主な事業費は主治医意見書作成手数料として、640万6,000円、認定調査委託料です。

30、31ページをお願いします。

2款保険給付費についてですが、まず1項介護サービス等諸費は、要介護1から5の認定者の居宅及び施設サービス給付費を計上しております。1目居宅介護サービス給付費は、ヘルパー派遣やデイサービスなどの給付費で、8億6,799万8,000円で、本年度より4,462万1,000円、5.4%の増です。2目施設介護サービス給付費は、特別養護老人ホーム等の3施設における施設入所サービス給付費で、9億4,108万4,000円、本年度より2,956万7,000円、3.2%の増となっております。3目居宅介護福祉用具購入費は、ポータブルトイレや入浴用いすなどの購入に係る経費で、291万3,000円、次の4目居宅介護住宅改修費は、手すりの設置などの住宅改修に係る経費で、977万6,000円です。5目居宅介護サービス計画給付費は、ケアプラン作成費として、1億46万円、本年度より355万5,000円、3.7%の

増額となっております。

32、33ページをお願いします。

6目地域密着型介護サービス給付費は、町が事業所を指定し、原則、町民のみが利用できる認知症高齢者グループホームや小規模多機能型居宅介護などの給付費で、2億3,814万3,000円、本年度より1,356万8,000円、6.0%の増となっております。

以上、1項介護サービス等諸費の総額は、21億6,037万4,000円、本年度より9,128万1,000円、4.4%の増額となっております。

増額の要因は、認定者数が増加傾向であり、利用者数の増加によるものです。

次の2項その他諸費審査支払い手数料は、国保連合会による介護給付費請求に係る審査支払い手数料で、事業費は181万3,000円です。3項高額介護サービス等費は、介護サービス料の自己負担が一定額を超えた場合に支給を行うもので、事業費は1目の介護と次のページになります、2目の介護予防を合わせて、4,776万5,000円、本年度より247万3,000円、4.9%の減額となっております。4項高額医療介護合算介護サービス等費は、介護保険と医療保険の世帯負担額に年単位で上限額を設け、その超過額を払い戻すもので、そのうちの介護保険負担分について、計上しております。事業費は1目介護と2目介護予防を合わせて、774万6,000円で、本年度と同額です。

36、37ページをお願いします。

5項特定入所者介護サービス等費は、住民税非課税世帯者の施設入所やショートステイ利用時の居住費及び食費を所得状況等に応じて軽減するものです。事業費は1目介護と2目介護予防を合わせて、5,886万4,000円で、71万2,000円、1.2%の増額となっております。6項介護予防サービス等諸費は、要支援1及び2と認定された要支援者が利用する居宅サービス給付費を計上しております。事業費は1目介護予防サービス給付費、2目介護予防福祉用具購入費から38、39ページの下段の5目地域密着型介護予防サービス給付費までを合わせ、7,319万5,000円で、本年度より328万5,000円、4.7%の増となっております。

増額の主な要因は、要支援認定者及び利用者数の増加によるものです。

各目の事業内容は、先ほど説明いたしました1項介護サービス等諸費と同様ですが、要支援者は特別養護老人ホームなど、施設入所サービスの利用ができませんので、施設

サービス給付費はございません。

下段、3款地域支援事業費ですが、地域支援事業は介護保険サービスとは別に、介護予防事業や認知症施策、また総合事業など、地域の実情に応じて、実施する事業となります。1項1目一般介護予防事業費です。この事業はシルバーリハビリ体操指導士の養成や活動支援、介護予防教室の実施、及び介護予防ボランティアポイント事業などに関する経費を計上しております。事業費は1,817万1,000円で、本年度より86万8,000円、5.0%の増となっております。

増額の主な要因は、ボランティアポイントの奨励金の増額とスマートフォン教室開催の委託料の増によるものです。主な事業費は職員人件費とポイント還元奨励金、講師謝金などの報償費251万5,000円と高齢者向けスマートフォン教室の業務委託料となります。

42、43ページをお願いします。

2項包括的支援事業、2、事業の1目包括的支援事業費ですが、地域包括支援センターの運営に必要な経費で、事業費は2,369万3,000円で、本年度より147万2,000円、5.8%の減となっております。

減額の主な要因は、職員の人件費の減によるものです。主な事業費は専門職の職員人件費と相談支援センター委託料となります。

44、45ページをお願いします。

下のほうになります、2目2、事業費ですが、事業費は787万8,000円で、本年度より169万4,000円、27.4%の増となっております。

増額の主な要因は、成年後見人の申立ての増加に伴い、成年後見人謝金対象者の増の見込みと認知症高齢者家族等支援として、GPS機器購入助成の新規事業を開始するものです。主な事業費は緊急通報体制整備事業委託料、負担金補助及び交付金の認知症対応型共同生活事業所の家賃助成金で340万円です。

46、47ページをお願いします。

3目認知症総合支援事業費ですが、この事業は認知症の早期診断・早期対応するため、設置が義務づけられている認知症初期集中支援チームに必要な経費や認知症カフェの活動支援に必要な経費を計上しております。事業費は14万1,000円です。4目在宅医療介護連携事業費ですが、医療、介護関係者の研修などに関する経費を計上しており、事業費は19万4,000円です。主な事業費は安芸地区医師会に委託する在宅医療相

談支援窓口事業の委託料です。

48、49ページをお願いします。

5目生活支援体制整備事業費ですが、この事業は高齢者支援のための生活支援サービスの充実のための課題整理や対応策の検討に係る経費などを計上しており、事業費は12万2,000円です。主な事業費は生活支援員養成講座の講師謝金9万7,000円となっております。6目地域ケア会議推進事業費ですが、この事業は多職種連携により、個別事例の検討等を行い、地域のネットワークの構築、ケアマネジメント支援、地域課題の把握等を推進するための経費を計上しております。事業費は23万2,000円で、主な事業費は地域ケア会議開催に伴う委員謝金17万1,000円です。

50ページ、51ページをお願いします。

3項介護予防生活支援サービス事業費ですが、要支援者等の総合事業に係る経費で、1目介護予防生活支援サービス事業費の介護予防生活支援サービス事業費は、要支援者等のホームヘルプサービスとデイサービスに係る経費で、事業費は4,343万円です。主な事業費は従来相当のホームヘルプサービスとデイサービス、西ふれあい館で実施する基準緩和型通所サービス及びホームヘルプサービスに係る委託料となります。2目介護予防ケアマネジメント事業費は、総合事業利用者に対するケアプラン作成費を地域包括支援センターから委託された事業所に対し、支出するものです。事業費は325万7,000円、本年度より56万7,000円、21.1%の増額です。

増額の主な要因は、総合事業利用者の増加による増額となっております。

保健事業勘定の説明は以上です。

続きまして、介護サービス事業勘定の御説明をいたします。

63ページをお願いします。

サービス事業勘定は、地域包括支援センターが事業所となり、事業対象者及び要支援1及び2の認定者に対して、センター職員がケアマネジャーとして、予防プランの作成を行うものです。

歳入については、63ページ、歳出については64、65ページとなっております。

事業の歳入歳出予算の総額は、それぞれの表の下になりますが、1,548万4,000円で、本年度より132万3,000円、9.3%の増額となっております。

66、67ページをお願いします。

歳入ですが、1款サービス収入は、要支援1及び2の認定者の予防プラン作成費用に

ついて、国保連合会から支払われる介護予防ケアマネジメント収入となります。904万9,000円。

次の2款一般会計繰入金は、人件費等に対する一般会計からの繰入金で、639万6,000円です。

続いて、歳出の御説明をいたします。

68、69ページをお願いします。

1款事業費、1項1目介護予防支援事業費は、1,548万4,000円です。本年度より132万3,000円、9.3%の増額ですが、増額の主な要因は、会計年度任用職員の人件費の増によるものです。主な事業費は予防プラン作成を行う会計年度任用職員報酬469万3,000円と町内などの居宅介護支援事業所への予防プラン作成などの委託料です。

介護保険特別会計の説明は以上です。

~~~~~〇~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） それでは、介護保険特別会計について、質疑を行います。質疑はありませんか。ありませんか。ないですか。

（「質疑なし」の声あり）

○文教福祉分科会進行役（中島） ないようでしたら、以上で健康福祉部門についての説明を終わります。

暫時休憩します。

それでは、教育部門ありますけれど、教育部門に関しては、午後行いたいと思います。

開始時刻は、1時30分をお願いいたします。

（休憩 1 1時33分）

（再開 1 3時25分）

~~~~~〇~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 少し早いようですけれど、揃われておられますので、ただいまから開催いたしますが、休憩前に引き続き、分科会を再開いたします。

続きまして、教育部門といたしまして、教育費かな、について、説明をお願いします。

立花教育部次長、お願いします。

○教育部次長（立花） それでは、教育部の各事業について、説明をさせていただきます。

歳入歳出予算書226、227ページの下段をお願いいたします。

228、229ページの上段にかけての9款教育費、1項教育総務費、1目教育委員会費、教育委員会活動事業でございます。この事業は教育委員会の活動に必要な委員報酬や旅費、研修負担金などを計上するものでございます。事業全体で231万9,000円、本年度より10万2,000円、4.2%の減となっております。

減額の主な要因は、中国地区市町村教育委員会連合会研修大会の隔年実施による費用弁償などの減によるものでございます。主な事業費は教育委員報酬210万8,000円でございます。

続きまして、229ページの中段から230、231ページの上段にかけての2目事務局費、学校教育一般管理事業でございます。この事業は学校教育に係る事務的経費や教育長及び事務局職員の旅費、保護者への緊急連絡用メールシステム、学校の耳鼻科健診、歯科健診で使用する器具の使用料などを計上するものでございます。事業全体で460万5,000円、本年度より43万1,000円、8.6%の減となっております。

減額の主な要因は、学校健診に係る機械器具使用料の感染症対応分の減によるものでございます。主な事業費は事務局職員の時間外勤務手当157万4,000円、学校健診に係る機械器具使用料81万6,000円でございます。

続きまして、231ページの上段、学校教育振興事業でございます。この事業は教育支援委員会や就学児健診に要する経費、外国語指導のための英語指導助手派遣業務委託、学力向上対策に係る経費などを計上するものでございます。事業全体で1,869万9,000円、本年度より19万円、1.0%の増となっております。

増額の主な要因は、道德教育推進拠点地域事業負担金の計上による増によるものでございます。主な事業費は英語指導助手派遣業務の委託料でございます。財源の国県支出金39万円は、道德教育推進拠点地域事業委託金でございます。

続きまして、232、233ページの上段、学校支援事業でございます。この事業は特別支援学級の児童生徒に対応する特別支援学級支援員、通常学級において配慮を必要とする児童に対応する配慮児童支援員、不登校など、問題を抱える児童生徒に対応する教育支援員やスクールソーシャルワーカーなどの会計年度任用職員の配置に要する経費、施設の簡易な修繕等に速やかに対応するための学校施設等安全点検業務委託に係る経費を計上するものでございます。事業全体で7,898万1,000円、本年度より1,868万9,000円、31.0%の増となっております。

増額の主な要因は、会計年度任用職員の新規配置に伴う経費の増や会計年度職員に新

たに支給される勤勉手当の増によるものでございます。主な事業費は会計年度任用職員の報酬4,690万2,000円、期末勤勉手当1,796万3,000円、社会保険料592万9,000円でございます。財源のその他29万3,000円は、社会保険料納付金でございます。

続きまして、233ページの下段から234、235ページにかけての2項小学校費、1目学校管理費、小学校一般管理事業でございます。この事業は小学校における学校医や学校用務員の配置、教職員健診の実施や各学校のネットワーク保守、教職員用パソコン等に要する経費、学校運営に必要な消耗品や電話代等に係る経費を計上するものでございます。事業全体で4,495万3,000円、本年度より2,000円の減となっております。

減額の主な要因は、各学校に配備する印刷機使用料の契約による減などによるものでございます。主な事業費は会計年度任用職員報酬731万8,000円、学校医報酬353万6,000円、小学校4校の学校維持清掃用品等の消耗品費747万5,000円、教職員用パソコン等の機械器具使用料806万9,000円、校内ネットワーク等の保守に係る委託料でございます。財源のその他149万2,000円は、行政財産目的外使用料33万6,000円、社会保障料納付金6万1,000円、学習用端末修理費保護者負担金109万5,000円でございます。

続きまして、235ページの下段から236、237ページにかけての小学校施設維持管理事業でございます。この事業は小学校の施設維持、管理、修繕などに係る経費を計上するものでございます。事業全体で7,504万8,000円、本年度より389万円、5.5%の増となっております。

増額の主な要因は、各学校の防火設備の修繕、熊野第三小学校の特別支援学級増加に伴う空調設備設置に係る工事費などの増によるものでございます。主な事業費は小学校4校の電気、水道料金等の光熱水費2,730万3,000円、学校敷地の土地借り上げ料2,318万3,000円、学校施設の維持修繕に係る委託料及び工事請負費でございます。

続きまして、237ページの中段、小学校大規模改造事業でございます。国の交付金等を活用して実施する小学校施設の大規模な改修に係る経費を計上するものでございます。事業全体で1,137万8,000円、本年度より皆増となっております。主な事業費は熊野第三小学校の南校舎改築に係る基本計画及び基本設計業務の委託料、同じく熊

野第三小学校の体育館吊り物照明改修に係る工事請負費でございます。地方債420万円は緊急防災減災事業債でございます。

続きまして、237ページの下段から238、239ページにかけての2目、教育振興費、小学校教育振興事業でございます。この事業は町が実施する学力調査業務委託事業支援ソフトの使用料、指導書、デジタル教科書等の購入費、日本スポーツ振興センターへの負担金、要保護、準要保護児童に対する就学援助費など、小学校教育の振興を図るための保護経費を計上するものでございます。事業全体で5,682万5,000円、本年度より1,733万5,000円、43.9%の増となっております。

増額の主な要因は、令和6年度から小学校の教科書が改訂されることに伴う指導書、デジタル教科書等の購入に係る消耗品費の増によるものでございます。主な事業費は小学校で使用する教科書改訂に伴う指導書等購入に係る消耗品費2,523万6,000円、授業支援ソフトのソフト使用料233万9,000円、扶助費の要保護及び準要保護児童援助費1,794万円、新入学学用品費入学前支給分379万1,000円でございます。財源の国県支出金55万円は、要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金、そのほか126万9,000円は、筆の里づくり基金繰入金82万8,000円、日本スポーツ振興センター保護者負担金44万1,000円でございます。

続きまして、240、241ページの上段、小学校低学年書道科指導事業でございます。この事業は小学1年生と2年生を対象に、教育課程外で年間15時間、書道の授業を行うもので、書道の指導を通じて、正しい姿勢を身につけ、集中力と持続力を養い、熊野を愛する豊かな心と人間性の育成を目的とするものでございます。事業全体で599万9,000円、本年度より77万8,000円、14.9%の増でございます。

増額の主な要因は、会計年度任用職員である低学年書道科講師に新たに支給される勤勉手当の増によるものでございます。主な事業費は会計年度任用職員の報酬343万4,000円、期末勤勉手当128万6,000円、社会保険料56万1,000円でございます。財源のその他599万9,000円は、筆の里づくり基金繰入金597万円、社会保険料納付金2万9,000円でございます。

続きまして、241ページ下段から242、243ページにかけての3項中学校費、1目学校管理費、中学校一般管理事業でございます。この事業は中学校における学校医や学校用務員、非常勤講師の配置、教職員健診の実施や各学校のネットワーク保守、教職員用パソコン等に要する経費、学校運営に必要な消耗品や電話代等に係る経費を計上

するものでございます。事業全体で4,348万9,000円、本年度より227万5,000円、5.5%の増となっております。

増額の主な要因は、会計年度任用職員に新たに支給される勤勉手当の増によるものでございます。主な事業費は会計年度任用職員の報酬1,850万5,000円、期末勤勉手当422万8,000円、社会保険料110万3,000円、教職員用パソコン等の機器、器具使用料396万9,000円、校内ネットワーク等の保守に係る委託料でございます。財源のその他97万2,000円は、行政財産目的外使用料5万5,000円、社会保険料納付金5万円、公衆電話料4万8,000円、学習用端末修理費保護者負担金81万9,000円でございます。

続きまして、243ページの下段から244、245ページにかけての中学校施設維持管理事業でございます。この事業は中学校施設の維持管理、修繕などに係る経費を計上するものでございます。事業全体で6,437万8,000円、本年度より2,065万4,000円、47.2%の増となっております。

増額の主な要因は、各学校の防火設備の修繕、老朽化した熊野中学校技術棟の解体に係る工事費などの増によるものでございます。主な事業費は中学校2校の電気、水道料等の光熱水費1,125万5,000円、学校敷地の土地借り上げ料2,070万8,000円、学校施設の維持修繕に係る委託料及び工事請負費でございます。

続きまして、245ページ下段から246、247ページにかけての2目、教育振興費、中学校教育振興事業でございます。この事業は町が実施する学力調査業務委託、デジタル教科書や授業支援ソフトの使用料、指導書等の購入費、日本スポーツ振興センターへの負担金、要保護、準要保護生徒に対する就学援助費など、中学校教育の振興を図るための経費を計上するものでございます。事業全体で2,276万1,000円、本年度より43万6,000円、2.0%の増となっております。

増額の主な要因は、対外活動費の見込みに伴う増によるものでございます。主な事業費は中学校2校の指導書やコピー用紙等の消耗品費348万2,000円、授業支援ソフトのソフトウェア使用料182万6,000円、部活動等に係る対外活動費187万9,000円、扶助費の要保護及び準要保護生徒就学援助費1,126万円でございます。財源の国県支出金20万円は、要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金、その他23万9,000円は日本スポーツ振興センター保護者負担金でございます。

続きまして、247ページ下段から248、249ページにかけての4項学校給食費、1目学校給食費、学校給食事業でございます。この事業は学校給食法に基づき、児童生徒の心身の健全な発達を図り、学校における食育を推進することを目的に、デリバリー方式による給食を提供するための経費を計上するものでございます。事業全体で1億4,099万8,000円、本年度より799万9,000円、6.0%の増となっております。

増額の主な要因は、物価高騰等の影響による給食調理等業務委託料の増、学校給食提供に係る物価高騰対策支援補助金の皆増によるものでございます。主な事業費は給食容器購入等のための消耗品費97万1,000円、給食システムクラウド利用料の手数料93万7,000円、学校給食提供に係る物価高騰対策支援補助金434万4,000円、給食調理及び食材購入、食品検査等業務に係る委託料でございます。財源のその他6,425万9,000円は、学校給食保護者負担金でございます。

○町公民館長（穂坂） 続きまして、250、251ページから252、253ページ上段にかけての9款教育費、5項社会教育費、1目社会教育総務費、社会教育一般事務事業でございます。この事業は生涯学習振興のための庶務及び社会教育関係団体の育成に係る経費を計上するものでございます。事業全体で537万5,000円、本年度より127万1,000円、31.0%の増となっております。

増額の主な要因は、主催事業の充実に伴う講師謝金の増、文化団体連絡協議会補助金の増によるものでございます。主な事業費は主催事業講師の謝金等96万1,000円、くまどくノート、くまどくカレンダー作成等に要する印刷製本費52万4,000円、社会教育関係団体等への補助金に係る負担金補助及び交付金256万4,000円でございます。財源のその他2万円は、講習受講負担金でございます。

続きまして、253ページ上段の二十歳を祝う会事業でございます。この事業はふるさと熊野町の将来を担う新成人の門出を祝う二十歳を祝う会開催に係る経費を計上するもので、令和7年1月12日に町民会館で開催を予定しており、約220人の参加者を見込んでおります。事業全体で81万2,000円、本年度より4万6,000円、6.0%の増となっております。

増額の主な要因は、記念品として、参加者にお渡しする集合記念写真等の単価増によるものでございます。主な事業費は記念品料47万円でございます。

続きまして、中段の青少年健全育成事業でございます。この事業は青少年の健全育成

を目的として組織された団体、青少年育成熊野町民会議の活動に係る経費を計上するものでございます。事業全体で15万5,000円、本年度より2万5,000円、19.2%の増となっております。

増額の主な要因は、青少年育成熊野町民会議補助金の増によるものでございます。主な事業費は青少年育成熊野町民会議補助金15万円でございます。

続きまして、中段から254、255ページ上段にかけての郷土館管理運営事業でございます。この事業は熊野町郷土館の管理運営に係る経費を計上するものでございます。事業全体で152万円、本年度より8万6,000円、6.0%の増となっております。

増額の主な要因は、植栽管理業務委託料等の増によるものでございます。主な事業費は光熱水費16万8,000円、施設管理業務委託料でございます。財源のその他1,000円は、行政財産目的外使用料でございます。

続きまして、255ページ中段から256、257ページにかけての2目町民会館費、町民会館施設管理事業でございます。この事業は生涯学習の拠点施設であるとともに、中央防災交流センター機能も有する熊野町民会館の施設維持管理に係る経費を計上するものでございます。事業全体で4,247万1,000円、本年度より1,724万9,000円、68.4%の増となっております。

増額の主な要因は、町民会館敷地アスファルト舗装工事等に伴う工事請負費の増によるものでございます。主な事業費は光熱水費774万8,000円、施設管理業務委託料、施設設備保守点検業務委託料、町民会館敷地アスファルト舗装工事等に伴う工事請負費でございます。財源のその他2,087万円は、中央防災交流センター使用料84万円、公共施設等整備基金繰入金2,000万円、雑入のコピー代3万円でございます。

続きまして、257ページ中段から258、259ページにかけての3目公民館費、熊野町公民館管理運営事業でございます。この事業は町民会館における町公民館部分の施設管理及び主催事業の開催等に係る経費を計上するものでございます。事業全体で660万5,000円、本年度より31万7,000円、4.6%の減となっております。

減額の主な要因は、会計年度任用職員の減員によるものです。主な事業費は会計年度任用職員報酬187万4,000円、テント購入等に係る備品購入費168万円でございます。財源のその他239万5,000円は、熊野町公民館使用料165万6,000円、行政財産目的外使用料12万9,000円、筆の里づくり基金繰入金1万5,000円、社会保険料納付金1万5,000円、自動販売機設置負担金28万8,000円、公

衆電話料 1,000 円、熊野町公民館受講負担金 29 万 1,000 円でございます。

続きまして、259 ページ中段の公民館一般事務事業でございます。この事業は公民館全体に係る経費及び放課後子ども教室の運営に係る経費を計上するものでございます。事業全体で 341 万円、本年度より 126 万 5,000 円、59.0% の増となっております。

増額の主な要因は、公民館等の利用者の利便性向上と施設貸し出し予約状況や貸出し統計などの事務効率化を図るため、システム利用に係る利用料を計上したことによるものでございます。主な事業費は職員の時間外勤務手当 36 万 7,000 円、公共施設予約システム利用料 107 万 8,000 円、筆の都熊野町民文化祭実行委員会補助金 100 万円でございます。財源の国県支出金 46 万 6,000 円は、放課後子ども教室推進事業補助金、その他 2 万円は放課後子ども教室推進事業参加負担金でございます。

261 ページ中段の 4 目文化財保護費、文化財保護事業は、産業観光課の所管事業でございます。

続きまして、下段から 264、265 ページにかけての 5 目図書館費、図書館運営事業でございます。この事業は図書館の管理運営に係る経費を計上するものでございます。事業全体で 5,207 万 4,000 円、本年度より 381 万 2,000 円、7.9% の増となっております。

増額の主な要因は、会計年度任用職員の報酬など、人件費に関連した費用の増、大規模雨漏りの修繕に伴う工事請負費によるものです。主な事業費は会計年度任用職員となる図書司書に係る報酬 1,069 万 6,000 円、図書購入に係る消耗品費 1,073 万 3,000 円、光熱水費 594 万円でございます。財源のその他 20 万 1,000 円は、行政財産目的外使用料 12 万 1,000 円、社会保険料納付金 7 万 3,000 円、公衆電話料 2,000 円、雑入のコピー代 5,000 円でございます。

続きまして、265 ページ中段から 266、267 ページにかけての 6 目防災交流センター費、東防災交流センター管理運営事業でございます。この事業は住民の生涯学習及び多世代交流事業を推進する東防災交流センターの管理運営に係る経費を計上するものでございます。事業全体で 1,424 万円、本年度より 187 万 6,000 円、15.2% の増となっております。

増額の主な要因は、会計年度任用職員の雇用に係る人件費、光熱水費の増によるものでございます。主な事業費は光熱水費 310 万 9,000 円、施設管理業務委託料で

ざいます。財源のその他78万1,000円は、東防災交流センター使用料42万円、行政財産目的外使用料1,000円、筆の里づくり基金繰入金2万円、社会保険料納付金1万5,000円、自動販売機設置負担金8万4,000円、東防災交流センター受講負担金23万6,000円、雑入のコピー代5,000円でございます。

続きまして、267ページ下段から270、271ページ上段にかけての西防災交流センター管理運営事業でございます。この事業は住民の生涯学習及び多世代交流事業を推進する西防災交流センターの管理運営に係る経費として計上するものでございます。事業全体で1,280万7,000円、本年度より7万5,000円、0.6%の増となっております。

増額の主な要因は、管理日数増に伴う施設管理業務委託料の増によるものでございます。主な事業費は光熱水費306万3,000円、施設管理業務委託料でございます。財源のその他316万2,000円は、西防災交流センター使用料228万円、筆の里づくり基金繰入金5万5,000円、自動販売機設置負担金25万2,000円、西防災交流センター受講負担金50万3,000円、雑入のコピー代7万2,000円でございます。

続きまして、271ページ中段、6項保健体育費、1目保健体育総務費、社会体育一般事務事業でございます。この事業は生涯スポーツ振興の活動拠点となります町民グラウンド、町民体育館等の施設管理に係る指定管理料及び遊びと学びの交流学校事業などの各種事業の委託料を計上するものでございます。事業全体で4,960万円、本年度より163万7,000円、3.4%の増となっております。

増額の主な要因は、夏休み期間中に実施を予定しております町立小学校プール開放の監視業務委託料の増によるものでございます。主な事業費は指定管理料、プール開放委託料、熊野健康スポーツ振興会補助金2,772万1,000円でございます。

続きまして、下段から272、273ページ中段にかけての2目体育施設費、社会体育施設管理事業でございます。この事業は町民グラウンド、町民体育館等の維持、修繕に係る経費を計上するものでございます。事業全体で2,633万2,000円、本年度より731万7,000円、38.5%の増となっております。

増額の主な要因は、老朽化している町民体育館アリーナの修繕及びライン焼付けに係る工事請負費の増によるものでございます。主な事業費は土地借り上げ料1,784万3,000円、工事請負費でございます。財源のその他6万9,000円は、行政財産目

的外使用料でございます。

教育部については、以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） それでは、226ページから273ページまでの教育費について、質疑を行います。質疑はありますか。

水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） 254ページ、町民会館施設管理事業ですけど、これ今回、町民会館なり、防災センター、各防災センターの使用のときの予約方法が変わるということで、ネットで予約できたり、ネットで空き状況を見れる状態になるということですけど、これいつから正式にやられますでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 穂坂町公民館長。

~~~~~○~~~~~

○町公民館長（穂坂） 施設予約管理システムでございますけども、令和6年4月1日から実施を予定しております。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） この予約方法ですか、これが1か月前と言うか、この4月に使おうと思えば、3月末に1か月分の予約をする。その後キャンセルが利かないっていうふうなやり方だと思うんですけど、その場合、使用料って言ったら、大した金額ではないと思うんですけど、キャンセル今まで利いてたんですよ、1日前に言えば、キャンセルできるという。それができなくなるということは、住民の方にはかなりこう1か月分、まず最初にとって、キャンセル利かんっていうことになると、かなりこう使いにくくなるんじゃないかと思うんですが、そのところはどうでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 穂坂館長。

~~~~~○~~~~~

○町公民館長（穂坂） 定期グループの皆さんにつきましては、年度の、今であれば、令和5年度中に令和6年度のある程度の年間の予約を、予約と言うか、施設の利用の仮予約というような形でいただいております。それをもちまして、1か月前、利用の1か月前に改めてもう一度、定期グループのほうに確認を取りまして、例えば5週、例えば1か月に5週、曜日があるといったところで、最後の週は使わないよということが分かれば、もうその時点で4週分の予約ということで確定をさせていただきまして、4回分の使用料を先に、先払いの方式でいただこうと考えているところでございます。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） これは、ということは、もう1日前のキャンセルっていうのは、もう受け付けないということですか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 穂坂館長。

~~~~~○~~~~~

○町公民館長（穂坂） 大変、その辺、方式を改めまして、キャンセルも、部屋の一応押さえということになりますので、キャンセル料については、こちらの、例えば避難所を開くでありますとか、そういった特段の事情がない限りは、キャンセル扱いにさせていただきますので、十分に確実にできる日を予約していただくようお願いしようと考えております。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） これいろいろなサークルみたいな感じで使われると思う人もおると思うんですが、そのときに講師の先生なんかが、やっぱりついてきますよね。その講師の先生が一応、前の日にちょっと病気になって行かれませんかかってなるときもあるんですよね。そうなったときに、こういうふうに変えたということは、何かトラブルみたいななんがあったんですか。もう変えても、その部屋を使わんことが多いサークル、クラブ

みたいなんが多いとか、使用料を前は後払いじゃったのを使用料払わんサークル、クラブみたいなんがあったということで前払いにしたんか、そういうところはどうでしょう。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 穂坂館長。

~~~~~○~~~~~

○町公民館長（穂坂） 委員御指摘のとおり、前もって予約ということで、1年分ということにされていて、実際に使わないのに、要はキャンセルも忘れてたというような形で、ぼっこりあなが空く形になりまして、例えばその時間帯に逆に利用されたいグループとか個人がいらっしゃった場合に、そちらをお断りするということになるので、利用料収益の面からも、ちょっとそうしたところはきちんとさせていただきたいと考えまして、このようにさせていただこうと考えております。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 水原委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（水原） そういうことがあるんなら仕方がないことだと思うんですが、何とか融通が少しでも利くような運営方法にしていただけたらと思うんで、よろしく願います。

それと、あと270ページ、社会体育施設管理事業ですけど、これ前からちょっといろいろと相談があったんですけど、町民グラウンドの使用が8時半からしか使えないということで、そこで大会なんかをやられる方は、少しでも早く準備をしたいという方がおられるんですけど、8時半からじゃないと、こう中に入れないうっていうことがあるんですよね。

体育館なら鍵が必要なんで、8時半って、そこの職員が来る時間だと思うんですけど、しようがないと思うんですけど、グラウンドの場合は、もうそこに8時半からもう取ってるよっていうふうな、もう予約があるんであれば、8時半以前でも入られて、準備等を行うことも必要じゃと思うんですけど、そのところはどう思っておられますでしょうか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 立花教育部次長。

れとは言えないわけで、その辺配慮いただければと思います。どうでしょう。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 教育長。

~~~~~○~~~~~

○教育長（平岡） この二十歳を祝う事業につきましては、町、あるいは町教育委員会としましても、できるだけ二十歳の子たちを祝ってあげたいと、熱い気持ちを持って取り組んでいるところがございますので、できれば写真に写ってともに祝いたいという気持ちがございます。そのあたり、実行委員会の子供たちとも協議はさせていただこうとは思いますが、我々としても、そういう熱い思いを持っているというところで、御理解いただきたいと思います。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○委員（福垣内） よろしくお願いたします。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 大丈夫ですか。

町長。

~~~~~○~~~~~

○町長（三村） 私も真ん中に座っとるもんですから、若い人たちからそういう声があるんなら、来年から、はっきり言って、前列の人間は全てカットということも考えていいです、それは。結構あれ早い時間に来て、前でじっとしとかなくちゃいけないのですよ。20分近くかかる。10分から。だから逃げるわけじゃないんですが、できればそら、あんなこと言っちゃいけないか。

ということで、いや、本当にそう若い人らがおじさんたちは必要ないという意見であれば、いつでも対応いたしますので。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 福垣内委員、よろしいですか。

~~~~~○~~~~~

○委員（福垣内） はい、結構です。ありがとうございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） ほかにありますか。

世良委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（世良） すみません、分からないので教えてください。229ページ、235ページ、243ページ、機械器具使用料ですかね、確か243ページのほうはパソコンって、ちょっと言葉が出たんですが、あと229、235に関してもパソコン等になるんですか。ちょっと詳しく教えてもらえれば。よろしく願いいたします。

229と235と243。すみません、ざっとでいいんで教えてください。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 立花教育部次長。

~~~~~○~~~~~

○教育部次長（立花） まず、229ページの機械器具使用料につきましては、学校医による健診などに使います鼻鏡と言うんですかね、鼻をこう見る物であるとか、歯科、歯を検査する物とか、そういったようなリース料でございます。

それから、235ページの機械器具使用料にいたしましては、複合機と言うんでしょうか、コピーもできたり、こう読み込みも、書類の読み込みとかもできたりする印刷機の複合機の使用料でございますとか、ICTの環境整備に伴うリース機器の使用料でございます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○委員（世良） ありがとうございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） よろしいですか。

~~~~~○~~~~~

○委員（世良） はい、ありがとうございます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） ほかにございますか。

光本委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（光本） 247ページです。学校給食事業なんですけど、施政方針でも、町長のほ

うから、令和7年秋を目標に、令和6年度は準備をするということですが、今年度の準備の内容について、お願いします。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 立花教育部次長。

~~~~~○~~~~~

○教育部次長（立花） 来年度の学校給食に係る予算といたしましては、給食提供の事業者選定、いわゆるプロポーザル、これについての委員についての謝金、これを組み合わせていただいております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 光本委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（光本） 予算、要は準備の内容について、どういった準備を令和6年度は行うのか。プロポーザルで業者選定するんでしょうけど。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 立花次長。

~~~~~○~~~~~

○教育部次長（立花） プロポーザルによって、どういった方式にするかとか、メニューであるとか、また提供、輸送方法、そこら辺をプロポーザルによって業者をこう選定したり、そういったことをしていこうと考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 光本委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（光本） プロポーザルをするに当たっての、もう仕様書的なものは、もう作られていますか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 立花次長。

~~~~~○~~~~~

○教育部次長（立花） 仕様書につきましては、基本的なことについては、今考えておる

んですけど、詳しいものについては、本年度じっくりと作っていきたいと考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 光本委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（光本） 業者選定決定する時期的なものはいつを考えておられますか。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 立花次長。

~~~~~○~~~~~

○教育部次長（立花） なるべく早く決定したいとは思いますが、目安としては7月ぐらいを選定時期と考えております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○委員（光本） 以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） いいですか。

~~~~~○~~~~~

○委員（光本） はい。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 251ページ、講師謝金が96万1,000円ということだったんですけども、これは来られる講師の方がもう決まってて、設定されているのか。そうではなくて、大体何人分という感じで予算計上をされているのか、その辺をちょっとお伺いしたいんですけど。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 穂坂町公民館長。

~~~~~○~~~~~

○町公民館長（穂坂） 講師謝金でございますけども、この人を呼ぶということではない

んですけども、例えばニューヨーク・スタインウェイピアノを活用しましたピアノコンサートとか、バイオリンコンサート、あと人権学習の謝金で、ちょっと額が、ちょっと見えない部分もありましたので、そういった部分も含めて、ちょっと計上をさせていただいておるところでございます。

~~~~~○~~~~~
○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~
○委員（沖田） すみません、もうちょっと具体的に教えてもらえませんか。

~~~~~○~~~~~
○文教福祉分科会進行役（中島） 穂坂館長。

~~~~~○~~~~~
○町公民館長（穂坂） 事業でございますけども、今のところ、5月にニューヨーク・スタインウェイピアノを活用したバイオリンのコンサートを計画しておりますので、その講師の方とは謝金のほうがちょっとまだ当初では折り合いが、ちょっとなかなか、その人が来てくれるかどうかということも含めて、難しかったので、概算で出させていた
だいております。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~
○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~
○委員（沖田） すみません、じゃあ241ページ、すみません、これちょっと小学校も中学校もなんですけど、施設管理のところ、土地の借り上げ料の負担が大きいじゃないですか、そこでちょっとお伺いしたいんですが、学校に来られている教職員の皆様の駐車料金、施設内に駐車されていると思うんですが、行政財産目的外使用料じゃないのかなというふうに思うんですが、駐車料金取られていますか。

~~~~~○~~~~~
○文教福祉分科会進行役（中島） 立花教育部次長。

~~~~~○~~~~~
○教育部次長（立花） 現在のところは、教職員の駐車場については、いただいております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） 近隣市町のほうも確認していただきたいんですけども、せめて借上げ料という負担がかなりうちの町はかかっていますので、せめて役場職員の駐車料金ぐらいは、駐車料金を頂いてもいいのではないかと思うんですが、その辺どうですかね、教育長。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 教育長。

~~~~~○~~~~~

○教育長（平岡） この件については、随分前からいろいろな議論されているところだと思うんですけども、近隣の状況を私が把握する範囲では、そういう形で取って、徴収している市町はないように聞いています。

教職員の勤務の特殊性と言いますか、例えば突然、子供が何かあったときに、こう家庭訪問をしたりとか、出張に行ったりとかということもありますし、実際に今そういう場面で自家用車の公務使用という形で、申請を、届出を出させて、公務に使っている状況がございますので、なかなかその辺、難しいところがあるかと思っておりますけども、状況も、近隣の状況も踏まえて、ちょっと考えさせて、検討させていただこうと思っております。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） ありがとうございます。御検討いただきたいと思っております。

すみません、229ページ、先ほど世良議員も言われたんですが、歯科健診のことなんですが、熊野町の子供たち、虫歯がほかの町に比べて、突出して多いんです。そのことについて、以前ちょっと子供会議のほうでも申し上げたんですけど、学校のお便りだったり、いろんな方法で、保護者の方に周知していただいて、他市町に比べて、こんなに多いんですよということを、やっぱりまず保護者の皆さんに分かっていただかないと、なかなか難しいかなと思うんですが、その辺どうなっていますでしょうか。

てください。これはいいです。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） よろしいですか、答弁。

教育長。

~~~~~○~~~~~

○教育長（平岡） 給食センターと言うか、民間のデリバリー業者に委託しますので、委託契約の中で、そういう地元の食材を使うという形の仕様書を作って、提案をしていこうというふうには思っておりますので、そういう形で対応させていただこうと思います。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） よろしいですか。

そのほかありますか。

世良委員。

~~~~~○~~~~~

○委員（世良） すみません、237ページ、257ページ、273、各施設で土地借り上げ料っていうのが出てると思うんですけども、これ一律でないと思うんですけども、例えば熊野町も長い間見ると、やっぱり土地の上下、坪単価ですよ、起きてると思うんですけども、ずっと一律して、一律の料金なんですか。今までこう見直したとか、そういうこととか、経緯があったかどうか教えていただけますか。よろしく願います。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 西村総務部長。

~~~~~○~~~~~

○総務部長（西村） 毎年これはしよるんですけども、熊野町、学校だけじゃなくて、いろんなところ、お借りしている状況がございます。その分を、例えば物価単価であるとか、そういったのをいろいろ勘案しながら、毎年、今ちょっと検討はしております。

ある一定の率に来ますと、上げさせていただくとか、そういったことはしてきております。ここ近年はずっと同じ状態が続いているというのはございます。

以上でございます。

~~~~~○~~~~~

○委員（世良） ありがとうございます。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） そのほか、あります。

沖田委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（沖田） 243 ページ、中学校施設維持管理事業なんですが、普通教室には空調が設置していただいているんですけども、特別教室には全て設置されていないのではないかと思いますのですが、書道を教えていらっしゃる先生から、熊野町は筆の町ということで、書道を推進しているんですが、教室に設置されていないので、非常に指導するのに難しいと言うか、苦勞されているというお話をお伺いしたんですけれども、特別教室にどこまでついているのかと。書道を教えられているお部屋というのは一体、中学校の場合、どこで教えられているのか、ちょっとお伺いしたいんですが。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 立花教育部次長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○教育部次長（立花） 中学校の書道につきましては、書道教室というところでやっております。残念ながら、書道教室のほうには、まだエアコンのほうは設置されておられません。

以上です。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 沖田委員。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○委員（沖田） すみません、筆の町ですので、ぜひともつけていただきたいんですが、いかがでしょうか。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○文教福祉分科会進行役（中島） 立花次長。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〇〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

○教育部次長（立花） 現在、小学校、中学校とも、普通教室にはエアコンを設置しておるところでございます。

また、特別教室等につきましては、いろいろな補助金でございますとか、そういうもので順次設置をしておりますので、毎年そこら辺をこう情報を入手しながら、設置して、

進めていきたいと考えます。

以上です。

~~~~~○~~~~~

○委員（沖田） よろしく申し上げます。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） よろしいですか。

ほかにありますか。

（「質疑なし」の声あり）

○文教福祉分科会進行役（中島） ないようでしたら、以上で当分科会での審査は全て終了といたします。

それでは、審査報告につきまして、進行役において、報告書を作成したいと思います。報告書作成のため、暫時休憩いたします。5分程度お待ちください。

（休憩 14時33分）

（再開 14時36分）

~~~~~○~~~~~

○文教福祉分科会進行役（中島） 休憩前に引き続き、分科会を再開します。

分科会報告書を作成いたしましたので、朗読をいたします。

案

予算特別委員長 尺田耕平様

文教福祉分科会進行役 中島数宜

令和6年熊野町議会予算特別委員会文教福祉分科会審査状況報告書

本分科会は、令和6年予算特別委員会において付託された次の件について、3月8日に分科会を開催し、慎重に審査した状況を報告する。

1、審査議案

議案第22号、令和6年度熊野町一般会計予算のうち、民生費、衛生費、及び教育費について。

議案第25号、令和6年度熊野町介護保険特別会計予算について。

以上です。

それでは、ただいまの分科会報告書を特別委員会に報告することで異議はありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○文教福祉分科会進行役(中島) それでは、ただいまの分科会報告書を予算特別委員会で報告することに決定いたしました。

皆さん、御協力ありがとうございました。

(散会 14時38分)

令和6年 予算特別委員会

(会議録 第2号)

1. 招集年月日 令和6年3月6日(水)

2. 招集の場所 熊野町議会議場

3. 開会年月日 令和6年3月8日(金)

4. 出席委員(14名)

1番 藤本健太	2番 世良将生
3番 水原耕一	4番 福垣内邦治
5番 光本一也	6番 中島数宜
7番 尺田耕平	8番 竹爪憲吾
9番 沖田ゆかり	10番 片川学
11番 民法正則	12番 荒瀧穂積
13番 大瀬戸宏樹	14番 時光良造

5. 欠席委員(0名)

なし

6. 説明のために出席した者の職氏名

町長	三村裕史
副町長	岩田秀次
教育長	平岡弘資
総務部長	西村隆雄
住民生活部長	西川伸一郎
健康福祉部長	時光良弘
建設農林部長	堂森憲治
教育部長	隼田雅治
総務部次長	西岡隆司
住民生活部次長	福嶋春樹

健康福祉部次長	西 村 ゆ り
建設農林部次長	宗 像 雅 充
建設農林部技術次長	寺垣内 栄 作
教 育 部 次 長	立 花 太 郎
財 務 課 長	多久見 良 数
政策企画課長	須 賀 雅 彦
産業観光課長	近 藤 光 宏
収納管理課長	堀 野 准
防災安全課長	花 岡 秀 城
生活環境課長	熊 野 孝 則
高齢者支援課長	井 原 志保里
子育て支援課長	佛 圓 至 裕
健康推進課長	桐 木 和 義
農林緑地課長	中 原 幸 成
都市整備課長	渡 部 貴 幸
会 計 課 長	福垣内 哲 治

~~~~~○~~~~~

7. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	榎 並 正 和
議会事務局書記	尾 瀆 宏 教

~~~~~○~~~~~

8. 会議に付した事件

- 議案第22号 令和6年度熊野町一般会計予算について
- 議案第23号 令和6年度熊野町国民健康保険事業特別会計予算について
- 議案第24号 令和6年度熊野町後期高齢者医療特別会計予算について
- 議案第25号 令和6年度熊野町介護保険特別会計予算について
- 議案第26号 令和6年度熊野町下水道事業会計予算について

~~~~~○~~~~~

9. 議事の内容

(開会 14時58分)

○予算特別委員長（尺田） 皆さん、おそろいですので、これより再開させていただきたいと思います。

ただいまの出席委員は14名です。定足数に達しておりますので、ただいまから予算特別委員会を再開します。

まず、各分科会での審査について、各分科会進行役から報告を受けたいと思います。2つの分科会におきまして、それぞれ慎重に審査していただきました各分科会の報告をお手元に配付しておりますので、御確認ください。

それでは、総務建設分科会の報告をお願いします。

総務建設委員長。

~~~~~○~~~~~

○総務建設委員長（光本）

令和6年3月8日

予算特別委員長 尺田耕平様

総務建設分科会進行役 光本一也

令和6年熊野町議会予算特別委員会総務建設分科会審査状況報告書

本分科会は、令和6年予算特別委員会において付託された次の件について、3月6日から8日に分科会を開催し、慎重に審査した状況を報告する。

1、審査議案

議案第22号 令和6年度熊野町一般会計予算のうち、議会費、総務費、民生費、衛生費、農林水産費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費及び教育費の一部について。

議案第23号 令和6年度熊野町国民健康保険事業特別会計予算について。

議案第24号 令和6年度熊野町後期高齢者医療特別会計予算について。

議案第26号 令和6年度熊野町下水道事業会計予算について。

~~~~~○~~~~~

○予算特別委員長（尺田） ありがとうございました。

続いて、文教福祉分科会の報告をお願いします。

文教福祉委員長。

~~~~~○~~~~~

○文教福祉委員長（中島）

令和6年3月8日

予算特別委員長 尺田耕平様

令和6年熊野町議会予算特別委員会文教福祉分科会審査状況報告書

本分科会は、令和6年予算特別委員会において付託された次の件について、3月8日に分科会を開催し、慎重に審査した状況を報告する。

1、審査議案

議案第22号 令和6年度熊野町一般会計予算のうち、民生費、衛生費及び教育費について。

議案第25号 令和6年度熊野町介護保険特別会計予算について。

~~~~~〇~~~~~

○予算特別委員長（尺田） ありがとうございました。

以上で2分科会からの報告を終わります。

これより議案第22号、令和6年度熊野町一般会計予算から、議案第26号、令和6年度熊野町下水道事業会計予算までを一括して総括質疑を行いたいと思いますが、異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算特別委員長（尺田） 異議なしと認めます。

よって、議案第22号から議案第26号までを一括して総括質疑を行うことに決定しました。

それでは、質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○予算特別委員長（尺田） ないようでしたら、総括質疑を終了します。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

○予算特別委員長（尺田） これをもって討論を終結します。

これより議案第22号、令和6年度熊野町一般会計予算から、議案第26号、令和6年度熊野町下水道事業会計予算までを一括して採決します。

本案については、原案のとおり可決すべきものと決定することに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算特別委員長（尺田） 異議なしと認めます。

よって、議案第22号から議案第26号までについては、原案のとおり可決すべきものと決定されました。

これより、議案第22号から議案第26号までを原案のとおり決定することとする委員長報告書を作成したいと思います。暫時休憩します。

(休憩 15時05分)

(再開 15時05分)

~~~~~〇~~~~~

○予算特別委員長（尺田） 休憩前に引き続き、委員会を再開します。

報告書を作成しましたので、朗読します。

案

令和6年3月8日

熊野町議会議長 時光良造様

予算特別委員長 尺田耕平

令和6年熊野町議会予算特別委員会審査報告書

本委員会は、令和6年第1回熊野町議会定例会において付託された次の件について、それぞれ慎重に審査した結果、いずれも原案のとおり可決されるべきと決定したので、会議規則第77条の規定により報告します。

議案第22号 令和6年度熊野町一般会計予算について。

議案第23号 令和6年度熊野町国民健康保険事業特別会計予算について。

議案第24号 令和6年度熊野町後期高齢者医療特別会計予算について。

議案第25号 令和6年度熊野町介護保険特別会計予算について。

議案第26号 令和6年度熊野町下水道事業会計予算について。

以上です。

ただいまの委員長報告書について、採決します。

お諮りします。ただいまの委員長報告書を、本会議に報告することに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○予算特別委員長（尺田） 異議なしと認めます。

よって、ただいまの委員長報告書を本会議に報告することに決定しました。

皆さん、ありがとうございました。

(閉会 15時08分)

上記の記録の内容が正確であることを証するため署名する。

熊野町議会予算特別委員長

熊野町議会予算特別副委員長